



学校法人 瓜生山学園  
京都芸術大学  
通信教育部

# 募集要項2025

## 2025年度春入学募集

|     | 出願受付期間                           | 合否通知日          |
|-----|----------------------------------|----------------|
| 第1期 | 2024年9月17日(火)10:00~11月5日(火)17:00 | 2024年11月15日(金) |
| 第2期 | 2025年1月14日(火)10:00~1月31日(金)      | 2025年2月12日(水)  |
| 第3期 | 2025年2月 1日(土) ~2月14日(金)          | 2025年2月26日(水)  |
| 第4期 | 2025年2月15日(土) ~2月28日(金)          | 2025年3月12日(水)  |
| 第5期 | 2025年3月 1日(土) ~3月14日(金)          | 2025年3月26日(水)  |
| 第6期 | 2025年3月15日(土) ~3月25日(火)17:00     | 2025年4月11日(金)  |

**[ 最終書類提出期限 ]** 2025年3月31日(月)

※第1期から第6期までのそれぞれの出願期間内に不備なく提出書類を提出された方が審査対象となります。  
(66~67ページ「出願手続」参照)

# 入学者受け入れ方針

## アドミッション・ポリシー

(求める学生像)

通信教育部芸術学部では、芸術やデザインに関心を持ち、それぞれの生きる場でありながら、柔軟な思考をもって他者と協力して社会に貢献しようとする志と意欲を持つ人を受け入れています。入学志望者には特に以下の点を期待しています。

- 現代の人間・自然・社会の諸現象について問題意識を持つこと
- 他者の理解を得ながら学ぼうとする真摯な姿勢を持つこと
- 必要な知識や技術をみずから学び身につけること

## 入学形態

(出願資格)

### 1年次入学

はじめて大学に入学する方  
最終学歴が高校卒業の方

▶ P4「出願資格」をチェック

### 3年次編入学

大学・短大・専門学校などを卒業されている方

▶ P5「出願資格」をチェック

#### 海外居住の方

▶ P7「海外居住者の入学条件」をチェック

#### 疾患や障がいがある方

▶ P7「障がいや疾患等があり修学上の配慮を希望される方へ」をチェック

### 特修生制度

▶ P6「特修生制度」をチェック

# 学科・コース構成と募集定員

| 学科   | コース  | 定員                                       |
|--|--|--|
|  芸術教養学科 |  | 1,150名<br>1年次入学 500名<br>3年次編入学 650名      |
| ※本学科はコースはなく単一学科です。   |  |  |
| 文化コンテンツ創造学科  |  文芸コース            | 2,500名<br>1年次入学 1,350名<br>3年次編入学 1,150名  |
|  |  アートライティングコース     |  |
|  |  書画コース            |  |
|  |  グラフィックデザインコース    |  |
|  |  イラストレーションコース    |  |
|  |  映像コース          |  |
|  |  食文化デザインコース     |  |
| 芸術学科   |  芸術学コース         | 560名<br>1年次入学 200名<br>3年次編入学 350名        |
|  |  歴史遺産コース        |  |
|  |  和の伝統文化コース      |  |
| 美術科  |  日本画コース         | 710名<br>1年次入学 300名<br>3年次編入学 400名        |
|  |  洋画コース          |  |
|  |  陶芸コース          |  |
|  |  染織コース          |  |
|  |  写真コース          |  |
| 環境デザイン学科   |  建築デザインコース      | 710名<br>1年次入学 200名<br>3年次編入学 500名<br>10名 |
|  |  ランドスケープデザインコース |  |
|  |  空間演出デザインコース    |  |

※別途本学が指定した場合に限り、2年次編入学を行っています。(芸術学科、美術科、環境デザイン学科 各10名)  
 ※各学科定員になり次第、締め切ります。 ※募集期間中に欠員が生じた場合は欠員募集を行います。その際は通信教育部HPにてお知らせいたします。

# 目次

## 3 基本情報

### 4 募集概要

授与される学位、入学選考  
出願資格、取得できる資格  
入学後のコース変更、休学、転籍

## 11 卒業要件

12 1年次入学（はじめて大学に入学する方）

14 3年次編入学（大学・短大・専門学校などを卒業されている方）

## 17 学費

学費早見表  
出願時に必要な費用  
入学後に必要な費用  
（教材・機材・アプリケーション等）

## 33 学び方・履修科目

学習方法  
パソコンスキル・インターネット環境（全学科・コース共通）  
課題提出期間および単位修得試験期間  
履修形態（科目の種類と学び方）  
学習支援体制  
履修科目一覧

## 57 奨学金・助成金等制度、学費ローン

奨学金・助成金等制度  
学費ローン

## 65 出願手続

出願手続の注意事項  
提出書類  
入学選考料／入学金免除について  
学生証・教材等の送付時期  
その他諸注意

77 書式

## 85 博物館学芸員課程

### 87 資格課程

取得できる資格、資格取得に必要な履修単位数、資格取得に必要な履修科目、  
受講登録にあたって、履修モデル、博物館実習、既修得単位の認定、履修についての注意事項

## 91 Q&A

## 104 アクセス

# 基本情報

## 募集概要

- 授与される学位、入学選考
- 出願資格、取得できる資格
- 入学後のコース変更、休学、転籍

通信教育の大切な  
ことをまとめています!



# 募集概要

## 授与される学位

卒業すると学士(芸術)の学位が授与されます。

## 入学選考

本学では入試において学力試験は行いません。アドミッション・ポリシーに基づき、入学希望者の熱意や意欲などを踏まえ、広く入学希望者を受け入れています。

※志望理由は、Web出願手続き時に「志望動機」欄に300字以上600字未満で入力してください。

## 出願資格

入学形態は、1年次入学と3年次編入学があります。大学入学資格をお持ちでない方(ただし、2025年3月31日までに満30歳に達する方)は、6ページ「特修生制度」をご覧ください。

入学にあたってはインターネット接続環境が整ったパソコンの所有と基本操作能力が必要です(36ページ参照)。以下よりそれぞれの出願資格をご確認ください。

### 1年次入学

2025年3月31日までに満18歳に達する方、もしくは18歳未満でも文部科学省の定める大学入学資格を有する方で、次のいずれかに該当する方

|   |   |
|---|---|
| 1 | 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した方、および2025年3月卒業見込の方                               |
| 2 | 通常の課程による12年の学校教育を修了した方、および2025年3月修了見込の方                             |
| 3 | 高等学校卒業程度認定試験(旧大学入学資格検定)の合格者、および2025年3月31日までに合格見込の方                  |
| 4 | 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した方、および2025年3月修了見込の方 |
| 5 | 文部科学大臣の指定した方  |

## 3年次編入学

次のいずれかに該当する方

|   |  |
|---|--|
| 1 | 大学、短期大学、高等専門学校(5年制)を卒業した方、および2025年3月卒業見込の方   |
| 2 | 専修学校専門課程(専門学校)、高等学校の専攻科を修了した方、および2025年3月修了見込の方で、大学編入学資格のある方<br>専修学校専門課程(専門学校)、高等学校の専攻科からの編入学には条件があります。下記の「(1)編入学の対象となる専修学校専門課程(専門学校)・高等学校の専攻科」を参照してください。   |
| 3 | 大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された方、および2025年3月までに授与見込の方  |
| 4 | 大学2年次修了者(ひとつの大学に休学期間を含めずに2年以上在籍し、62単位以上〈建築デザインコースは52単位以上〉修得した方)、および2025年3月修了見込の方<br>●通信制大学退学の場合は、62単位(建築デザインコースは52単位)のうち、6単位以上をスクーリングで修得していること。ただし、芸術教養学科、文芸コース、アトライティングコースを除く(スクーリングの単位数の条件はありません)。<br>●複数の大学の在籍期間を合算して2年以上とすることや、修得単位を合算して62単位以上とすることはできません。<br>●本学通信教育部芸術教養学科または文芸コース、アトライティングコースに1年次入学後、自主退学を出願資格として同コースに入学する場合、学習期間が2年以上、62単位以上を修得した方でも、3年次編入学ができない場合があります。該当する方は、通信教育課程入学課(tsushin@office.kyoto-art.ac.jp)へご連絡ください。なお、同コースに1年次入学として入学する場合はこの限りではありません。 |

未経験の方を前提にしたカリキュラムですので、出願資格をお持ちの方は3年次編入学でご出願ください



### (1) 編入学の対象となる専修学校専門課程(専門学校)・高等学校の専攻科

大学入学資格を有する方で、次のいずれかに該当する方

|   |  |
|---|--|
| 1 | 修業年限が2年以上の課程で修了に必要な総授業時数が1,700時間以上または62単位以上取得の基準を満たす専修学校専門課程(専門学校)を修了した方<br>●専門学校の場合、修了時に「専門士」の称号を付与された方は、この基準を満たしています。ご自身がこの基準を満たしているかどうかは、ご出身の専門学校で確認してください。 |
| 2 | 修業年限が2年以上で、その他文部科学大臣の定める基準を満たす高等学校の専攻科を修了した方<br>●ご自身がこの基準を満たしているかどうかは、ご出身の高等学校で確認してください。   |

- 出願手続の際、本学所定の「編入学基礎資格証明書」を修了した学校にてすべて記入・捺印いただく必要があります(68、79～82ページ「提出書類 B.編入学基礎資格証明書」参照)。
- 大学入学資格を確認する書類の提出を別途求める場合があります。
- 専修学校専門課程(専門学校)の場合、入学した年が「専修学校設置基準施行」の1976年(昭和51年)1月以降の方が対象です。また、修了した課程が専修学校専門課程として設置認可を受ける前に入学した方は対象外です。

## (2) 編入学出願資格に該当しないもの

以下は出願資格に該当しません。

- 大学院
- 高等学校の別科
- 高等専門学校 退学
- 高等学校の専攻科 退学
- 大学校\*
- 大学・短期大学の専攻科、別科
- 短期大学 退学
- 専修学校専門課程(専門学校) 退学
- 海外の大学・短期大学 退学
- 各種学校

\*各省庁設置の大学校卒業で、大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された方は編入学出願資格に該当します。

## 海外の学校教育の課程修了を出願資格とされる方

### 1年次入学

2025年3月31日までに満18歳に達する方、もしくは18歳未満でも文部科学省の定める大学入学資格を有する方で、次のいずれかに該当する方

海外において学校教育における12年の課程を修了した方、および2025年3月までに修了見込の方、IB(国際バカロレア)のDP修了資格を取得した方、および2025年3月までに取得見込の方、または、これに準ずる方で文部科学大臣の指定した方

以下の国際的な評価団体の認定を受けた学校の12年の課程を修了した方、および2025年3月までに修了見込の方を含みます。

- WASC (ウェスタン・アソシエーション・オブ・スクールズ・アンド・カレッジズ)
- ACISI (アソシエーション・オブ・クリスチャン・スクールズ・インターナショナル)
- CIS (カウンセル・オブ・インターナショナル・スクールズ)
- NEASC (ニューイングランド・アソシエーション・オブ・スクールズ・アンド・カレッジズ)
- Cognition (コグニア)

上記の大学入学資格をお持ちでない方は下記「特修生制度」参照

### 3年次編入学

次のいずれかに該当する方

海外において、学校教育における14年以上の課程を修了した方、および2025年3月までに修了見込の方ただし、学士または準学士、短期大学士を取得した方、および2025年3月までに取得見込の方に限る。

## 特修生制度

大学入学資格をお持ちでない方(ただし、2025年3月31日までに満30歳に達する方)が「特修生」として1年間学習(科目等履修)し、16単位以上修得できれば、翌年度の4月に本学通信教育部芸術学部に1年次入学する資格を得ることができます。

「特修生制度」での出願を希望する方は本学通信教育部Webサイト(<https://www.kyoto-art.ac.jp/t/>)の「入学のしかた」ページをご確認ください。なお、旧制学校卒業の方は別途下記までお申し出ください。

- 出願期間：2025年1月14日(火)～2月14日(金)[必着]

京都芸術大学 通信教育課程入学課

☎ 0120-20-9141 E-mail : tsushin@office.kyoto-art.ac.jp



## ！ 出願資格と入学に関する諸注意

### 二重学籍

正科生として学校教育法に定められた大学、短期大学、大学院、高等専門学校、高等学校の専攻科に在籍している方は、二重学籍となるため入学できません。

※専修学校専門課程(専門学校)、大学校、各種学校に在籍中の方や、他大学等の科目等履修生の方は入学できます。なお、本学通信教育部科目等履修との重複出願はできません。

### 退学見込者は退学日付に注意してください

学校教育法に定められた大学、短期大学、大学院、高等専門学校、高等学校の専攻科に在籍中で退学を予定している場合、退学の日付が2025年4月1日以降になると二重学籍となり、入学できません。海外の大学、短期大学、大学院に在籍中の方も同様の扱いです。

## 海外居住者の入学条件

出願にあたっては、日本国内の確実な連絡先を本人現住所として入力または記載してください。本学からのすべての送付物(郵便・宅配便等)の宛先は、日本国内の連絡先(中継先)です。海外の居住地に直接送ることはできません。なお、スクーリング(Web受講を除く)は日本国内で受けなければなりません。また、科目の課題提出時間や各種申請手続等の締切日時は、日本時間を基準にします。

※海外でパソコンをご利用の場合は、日本語版OSのみ利用できます。また、ブラウザの設定も日本語に設定する必要があります。タブレットやスマートフォンの場合は、言語環境を日本語に設定する必要があります。

## 障がいや疾患等があり修学上の配慮を希望される方へ

通信教育課程では、障がいや疾患のある学生が他の学生と同様に学ぶことができるよう対面スクーリング参加を中心に大学生活の支援を行っています。入学後に修学支援を希望される方や、障がい等の状況により配慮が必要になる場合は、学習方法・配慮方法について出願締切の1ヶ月前までにご相談ください。

通信教育課程入学課(tsushin@office.kyoto-art.ac.jp)宛てに、氏名、入学を希望されるコース、障がい等の内容、希望される支援内容を記載の上、ご連絡ください。内容に応じて、面談を提案させていただく可能性がございます。

対応事例)

- ・スクーリング時の介助者の同行許可
- ・スクーリング時の座席配慮
- ・補聴器や音声認識アプリ等、日常的に使用されている機器類の使用許可
- ・配付資料の事前提供(電子版の提供)など

学科・コースによっては実技(技術習得)を伴う科目が卒業認定上の必修科目として設定されている場合がございます。そのためご連絡いただきました内容を確認の上、希望されるコースや関係部署と情報を共有した上で、学習方法・配慮方法についてご相談させていただきます。

なお京都瓜生山キャンパスは、坂道や階段が多いキャンパスとなっています。場所によっては、バリアフリー整備が十分ではない校舎等もございますので、スクーリングを京都で予定されている方は、事前にご見学・ご相談ください。

## 取得できる資格

### 芸術教養学科、芸術学科、美術科、環境デザイン学科

| 資格  | 取得の条件                                 |
|-----|---------------------------------------|
| 学芸員 | 博物館学芸員課程の履修<br>(受講登録料要、受講登録は2年次以上が対象) |

※文化コンテンツ創造学科は受講登録できません。

### 建築デザインコース

| 資格                        | 取得の条件   |
|---------------------------|---|
| 建築士試験(2級/木造)受験資格および免許登録資格 | 卒業  |
| 建築士試験(1級)受験資格             | 卒業<br>※建築士法の改正により、卒業後すぐの受験が可能。ただし、免許登録要件としては、試験合格と2年の実務経験が必要。 |
| 技術検定(2級)第二次検定<br>受験資格**   | 第一次検定の合格、卒業後実務経験1年以上  |
| 建設機械施工管理                  |   |
| 土木施工管理                    |   |
| 建築施工管理                    |   |
| 電気工事施工管理                  |   |
| 電気通信工事施工管理                |   |
| 管工事施工管理                   | 第一次検定の合格、卒業後実務経験3年以上  |
| 造園施工管理                    |   |
| 建設機械施工管理                  |   |
| 土木施工管理                    |   |
| 建築施工管理                    |   |
| 電気工事施工管理                  |   |
| 電気通信工事施工管理                |   |
| 管工事施工管理                   | 第一次検定の合格、卒業後実務経験3年以上  |
| 造園施工管理                    |   |

※\*\*赤枠部分は令和5年度までの旧受験資格になります。

施工管理技術検定の受験資格は、令和6年度より新受験資格に改正されています。

ただし、令和6年度から令和10年度までの間は経過措置期間とし、第二次検定は、旧受験資格と新受験資格の選択が可能です。

詳細は、国土交通省のHPをご確認ください。

(令和6年度以降の施工管理技術検定の受験資格:学歴の制限なし)

改正概要

・1級の第一次検定は、19歳以上(受験年度末時点)であれば受験可能。

・2級の第一次検定は、17歳以上(受験年度末時点)であれば受験可能。(従前から変更なし)

・1級及び2級の第二次検定は、第一次検定合格後の一定期間の実務経験などで受験可能(なお、令和10年度までの間は、制度改正前の受験資格要件による第二次検定受験が可能)

### ランドスケープデザインコース

| 資格                        | 取得の条件                                       |
|---------------------------|---|
| 造園施工管理技術検定(2級)第二次検定受験資格** | 第一次検定の合格、卒業後実務経験1年以上                        |
| 造園施工管理技術検定(1級)第二次検定受験資格** | 第一次検定の合格、卒業後実務経験3年以上                        |
| 登録ランドスケープアーキテクト補(RLA補)    | 卒業<br>※卒業証明資料の提出により資格認定試験免除(2021年度以降の卒業生対象) |
| 登録ランドスケープアーキテクト(RLA)受験資格  | 卒業後実務経験3年以上<br>※ただし「RLA補」有資格者は資格登録後実務経験2年以上 |

※\*\*赤枠部分は令和5年度までの旧受験資格になります。詳細は上記の建築デザインコースの\*\*と同様。

### 空間演出デザインコース

| 資格                        | 取得の条件  |
|---------------------------|--|
| 建築士試験(2級/木造)受験資格および免許登録資格 | 所定の科目を履修し卒業すること(53ページ参照)   |
| インテリアプランナー登録資格            | 卒業   |
| 商業施設士受験資格                 | 卒業後実務経験1年以上<br>※商業施設士補(卒業制作着手年度に講習会を受講)を在学中に得た場合、卒業後実務経験不要かつ学科試験免除 |

## 入学後のコース変更、休学、転籍

### コース変更

学習の目的や志向が変わった場合は、2年目以降にコース変更を認めています。在籍年限内に1回のみ、年度途中の異動はできません。変更料は20,000円（2024年度実績）です。変更後は新しく在籍するコースの卒業要件（必修科目）を改めて修得する必要があります。また、必要となる教材やテキストは新たに購入する必要があります。

### 休学

休学は、入学2年目以降で在籍年限内に通算4年間まで認められます。休学期間は修業年限には含みませんが、在籍年限には含みます。休学期間中は授業料は不要です。休学料は1年間20,000円（2024年度実績）です。また、休学は年度単位（4月1日～翌年3月31日）で、年度途中で休学や復学（休学後の学習再開）はできません。

### 本学通学課程への転籍

転籍の願資格を満たしたうえで試験に合格すれば、本学通学課程へ異動できます。

### 入学前の藝術学舎・アトリエ講座に対する単位認定

大学入学資格を持つ方が、本学入学前に藝術学舎の講座を受講し合格した単位や2016年度以前の本学通信教育部の科目等履修（アトリエ）で修得した単位は、入学後に単位認定の申請ができます（一部の講座を除く）。単位認定を希望する方は、入学後に所定の手続きをしてください。

※藝術学舎で修得した単位の単位認定申請の有効期限は受講年度を含む6年度以内です。



# 卒業要件

**1年次入学** P12 ~

(はじめて大学に入学する方)

**3年次編入学** P14 ~

(大学・短大・専門学校などを卒業されている方)

入学形態は  
4ページ「出願資格」を  
チェックしてください



# 卒業要件 / 1年次入学 《最終学歴が高校卒業の方》

| 学科                  | コース                          | 学部共通<br>専門教育科目       | コース専門教育科目  | 自由選択 <sup>※1</sup> | 卒業要件                                  |
|---------------------|------------------------------|----------------------|--|--------------------|---------------------------------------|
| 芸術教養学科              | -                            | 60単位以上<br>WS科目30単位以上 |  | 64単位以上             | 124単位以上<br>WS科目30単位以上                 |
| 文化<br>コンテンツ<br>創造学科 | 文芸                           | 60単位以上               |  | 64単位以上             | 124単位以上<br>スクーリング科目(WS科目含む)<br>30単位以上 |
|                     | アート<br>ライティング                | 32単位以上               | 28単位以上   |                    |                                       |
|                     | 書画                           | 20単位以上               | 40単位<br>テキスト科目16単位<br>スクーリング科目24単位                     |                    |                                       |
|                     | グラフィック<br>デザイン <sup>※3</sup> | 12単位以上               | 48単位<br>テキスト科目24単位<br>スクーリング科目(WS科目含む) 24単位            |                    |                                       |
|                     | イラスト<br>レーション                |                      |  |                    |                                       |
|                     | 映像                           |                      |  |                    |                                       |
|                     | 食文化<br>デザイン                  |                      |  |                    |                                       |
| 芸術学科                | 芸術学                          | 12単位以上               | 48単位以上 <sup>※2</sup><br>テキスト科目24単位以上<br>スクーリング科目12単位以上 | 64単位以上             | 124単位以上<br>スクーリング科目<br>30単位以上         |
|                     | 歴史遺産                         |                      |  |                    |                                       |
|                     | 和の<br>伝統文化                   |                      |  |                    |                                       |

修業年限(卒業までに必要とする最短年数) …4年 在籍年限(在籍できる最長年数) …9年 休学については9ページ参照。  
卒業要件…124単位以上(スクーリング科目30単位以上)

| 学科           | コース             | 学部共通<br>専門教育科目 | コース専門教育科目                          | 自由選択 <sup>※1</sup>   | 卒業要件                          |
|--------------|-----------------|----------------|------------------------------------|----------------------|-------------------------------|
| 美術科          | 日本画             | 20単位以上         | 40単位<br>テキスト科目16単位<br>スクーリング科目24単位 | 64単位以上               | 124単位以上<br>スクーリング科目<br>30単位以上 |
|              | 洋画              |                |                                    |                      |                               |
|              | 陶芸              |                |                                    |                      |                               |
|              | 染織              |                |                                    |                      |                               |
|              | 写真              |                |                                    |                      |                               |
| 環境<br>デザイン学科 | 建築<br>デザイン      | 22単位以上         | 48単位<br>テキスト科目24単位<br>スクーリング科目24単位 | 54単位以上 <sup>※3</sup> | 124単位以上<br>スクーリング科目<br>30単位以上 |
|              | ランドスケープ<br>デザイン | 12単位以上         |                                    | 64単位以上               |                               |
|              | 空間演出<br>デザイン    |                |                                    |                      |                               |

※履修科目一覧は44～55ページをご確認ください。

※1：自由選択は、総合教育科目、学部共通専門教育科目、コース専門教育科目、学科専門教育科目、資格関連科目(要別途申込)のいずれでも選択できます。

※2：芸術学科は「芸術学科専門教育科目」(48ページ参照)から修得した単位も含まれます。

※3：建築デザインコースは総合教育科目の「情報」が必修です。

### 既修得単位の認定(1年次入学の方のみ対象)

本学通信教育部入学前に大学、短期大学、高等専門学校(専攻科)で修得した単位は、本学通信教育部の単位として認定できます。認定された単位は、卒業に必要な単位数に含めることができます。

#### ① 認定対象となる単位

- ・文部科学省認可の大学・短期大学で修得した単位、および高等専門学校(専攻科)で修得した単位
- ・文部科学省認可の大学・短期大学の科目等履修生として修得した単位

※1つの大学等での修得単位が30単位に満たない場合、30単位を上限として複数の大学等で修得した単位を合算して認定できます。

※本学通信教育部科目等履修(臨床美術士課程)で修得した単位も対象です。該当する方は、入学後、Web上の「airU学習ガイド」をご確認ください。

#### ② 認定方法

「総合教育科目」として一括認定。認定上限は30単位、うちスクーリング上限は6単位。

芸術教養学科の方は、すべてテキスト科目として認定します。

※認定単位については、申請後に学習用Webサイト「airUマイページ」にてご確認ください。「既修得単位認定通知」を出力することも可能です。

※授業内容に関わらず「総合教育科目」として一括認定します。

希望者は、入学後(75ページ参照)に申請してください。

詳しくは入学後、Web上の「airU学習ガイド」をご確認ください。

#### 認定外となる単位

- 高等学校の単位 ● 高等学校の専攻科の単位<sup>※</sup> ● 大学・短期大学の専攻科、および大学院の単位
- 高等専門学校の本科の単位 ● 専修学校専門課程(専門学校)の単位<sup>※</sup> ● 海外の大学や短期大学の単位<sup>※</sup>
- 大学校や各種学校の単位

※専修学校専門課程、高等学校の専攻科、海外の大学や短期大学を卒業・修了した方は編入学が可能な場合があります。5ページの3年次編入学の項目を確認してください。

▶あわせてご確認ください 75ページ「1年次入学の既修得単位認定の申請方法」

# 卒業要件 / 3年次編入学

《大学(退学を含む)・短大・専門学校などを卒業された方》

| 学科                  | コース            | 学部共通<br>専門教育科目   | コース専門教育科目                                  | 自由選択 <sup>※1</sup> | 卒業要件  |
|---------------------|----------------|--|--|--------------------|---|
| 芸術教養学科              | -              | 60単位以上<br>WS科目30単位以上                                   |  | 2単位以上              | 62単位以上<br>WS科目30単位以上<br>(124単位から62単位免除)             |
| 文化<br>コンテンツ<br>創造学科 | 文芸             | 60単位以上   |  | 2単位以上              | 62単位以上<br>スクーリング科目(WS科目含む)<br>24単位以上(124単位から62単位免除) |
|                     | アート<br>ライティング  | 32単位以上   | 28単位以上                                     |                    |   |
|                     | 書画             | 12単位以上   | 40単位<br>テキスト科目16単位<br>スクーリング科目24単位         | 10単位以上             |   |
|                     | グラフィック<br>デザイン |  | 48単位<br>テキスト科目24単位<br>スクーリング科目(WS科目含む)24単位 | 2単位以上              |   |
|                     | イラスト<br>レーション  |  |  |                    |   |
|                     | 映像             |  |  |                    |   |
|                     | 食文化<br>デザイン    |  |  |                    |   |
| 芸術学                 | 12単位以上         | 48単位以上 <sup>※2</sup><br>テキスト科目24単位以上<br>スクーリング科目12単位以上 | 2単位以上                                      |                    |   |
| 歴史遺産                |                |  |  |                    |   |
| 和の<br>伝統文化          |                |  |  |                    |   |



※芸術教養学科のみ、WS科目30単位以上が必要です。履修科目一覧は44～55ページをご確認ください

修業年限(卒業までに必要とする最短年数) …2年 在籍年限(在籍できる最長年数) …7年 休学については9ページ参照。

卒業要件…62単位以上(スクーリング科目24単位以上<sup>※</sup>) ※建築デザインコースは72単位(スクーリング科目24単位)以上。

| 学科           | コース             | 学部共通<br>専門教育科目 | コース専門教育科目                          | 自由選択 <sup>※1</sup>  | 卒業要件  |
|--------------|-----------------|----------------|------------------------------------|---------------------|---|
| 美術科          | 日本画             | 12単位以上         | 40単位<br>テキスト科目16単位<br>スクーリング科目24単位 | 10単位以上              | 62単位以上<br>スクーリング科目24単位以上<br>(124単位から62単位免除) |
|              | 洋画              |                |                                    |                     |   |
|              | 陶芸              |                |                                    |                     |   |
|              | 染織              |                |                                    |                     |   |
|              | 写真              |                |                                    |                     |   |
| 環境<br>デザイン学科 | 建築<br>デザイン      | 22単位以上         | 48単位<br>テキスト科目24単位<br>スクーリング科目24単位 | 2単位以上 <sup>※3</sup> | 72単位以上<br>スクーリング科目24単位以上<br>(124単位から52単位免除) |
|              | ランドスケープ<br>デザイン | 12単位以上         |                                    | 2単位以上               | 62単位以上<br>スクーリング科目24単位以上<br>(124単位から62単位免除) |
|              | 空間演出<br>デザイン    |                |                                    |                     |   |

※1：自由選択は、総合教育科目、学部共通専門教育科目、コース専門教育科目、学科専門教育科目、資格関連科目(要別途申込)のいずれでも選択できます。

※2：芸術学科は「芸術学科専門教育科目」(48ページ参照)から修得した単位も含まれます。

※3：建築デザインコースは総合教育科目の「情報」が必修です。



# 学費

- 学費早見表
- 出願時に必要な費用
- 入学後に必要な費用  
(教材・機材・アプリケーション等)

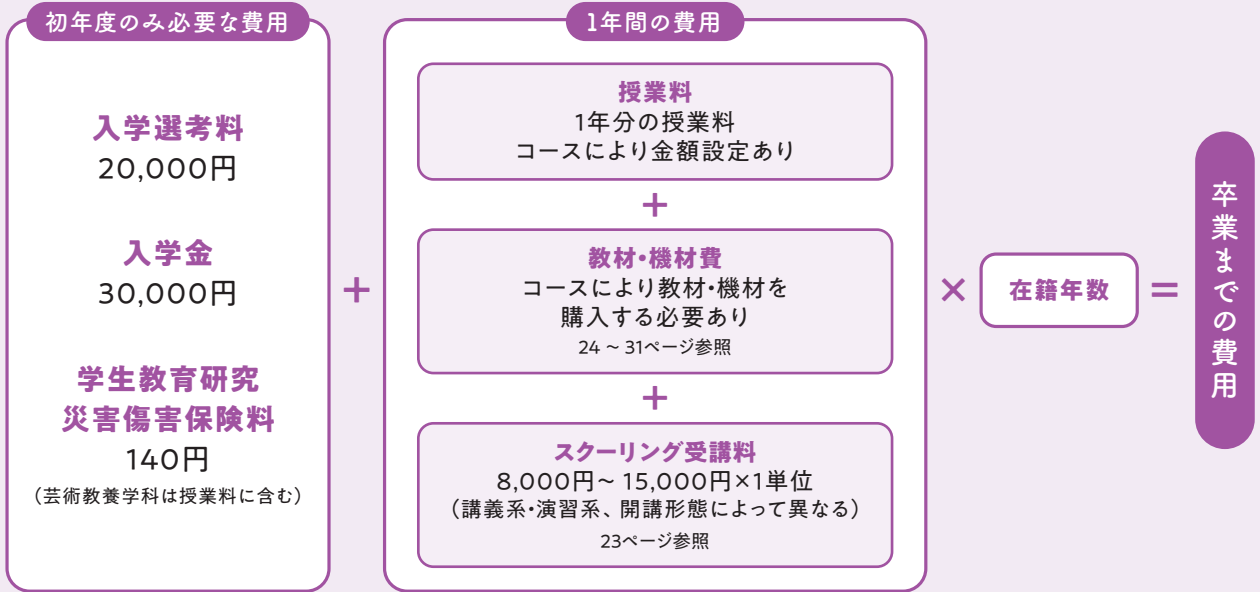
学費の内容を  
チェック  
してください!



# 学費早見表

出願時には1年目の授業料と入学金等が必要です。

※スクーリング受講料は、会場、必修科目以外でのS科目受講数によって合計金額が変わります。卒業までの合計金額には教材・機材費、テキスト代などは含んでいません。



卒業までに必要な費用

## 《 芸術教養学科 》

| 出願時 | 入学選考料   | 入学金     | 授業料(1年目) | 保険料    | 合計              |
|-----|---------|---------|----------|--------|-----------------|
|     | 20,000円 | 30,000円 | 170,000円 | 授業料に含む | <b>220,000円</b> |

→20ページ参照

### 卒業までの合計金額

|             |                 |
|-------------|-----------------|
| 1年次入学(4年間)  | <b>730,000円</b> |
| 3年次編入学(2年間) | <b>390,000円</b> |

卒業までに必要な費用

## 《 文化コンテンツ創造学科 》

| 出願時   | 入学選考料   | 入学金     | 授業料(1年目) | 保険料  | 合計              |
|---|---------|---------|----------|------|-----------------|
| 文芸コース<br>アートライティングコース   | 20,000円 | 30,000円 | 348,000円 | 140円 | <b>398,140円</b> |
| 書画コース<br>グラフィックデザインコース<br>イラストレーションコース<br>映像コース<br>食文化デザインコース |         |         | 355,000円 |      | <b>405,140円</b> |

→20ページ参照

### 卒業までの合計金額(目安)

|   |                           |                                  |
|---|---------------------------|----------------------------------|
| 文芸コース・アートライティングコース                                | 1年次入学(4年間)<br>3年次編入学(2年間) | <b>1,442,140円～<br/>746,140円～</b> |
| 書画コース・グラフィックデザインコース・イラストレーションコース・映像コース・食文化デザインコース | 1年次入学(4年間)<br>3年次編入学(2年間) | <b>1,470,140円<br/>760,140円</b>   |

卒業までに必要な費用

## 《 芸術学科 》

| 出願時 |           | 入学選考料   | 入学金     | 授業料(1年目) | 保険料  | 合計              |
|-----|-----------|---------|---------|----------|------|-----------------|
|     | 芸術学コース    |         |         |          |      |                 |
|     | 歴史遺産コース   | 20,000円 | 30,000円 | 231,000円 | 140円 | <b>281,140円</b> |
|     | 和の伝統文化コース |         |         |          |      |                 |

→20ページ参照

## 卒業までの合計金額(目安)

1年次入学(4年間) **1,070,140円~1,274,140円**3年次編入学(2年間) **608,140円~ 752,140円**

卒業までに必要な費用

## 《 美術科 》

| 出願時 |        | 入学選考料   | 入学金     | 授業料(1年目) | 保険料  | 合計              |
|-----|--------|---------|---------|----------|------|-----------------|
|     | 日本画コース |         |         |          |      |                 |
|     | 洋画コース  |         |         |          |      |                 |
|     | 陶芸コース  | 20,000円 | 30,000円 | 327,000円 | 140円 | <b>377,140円</b> |
|     | 染織コース  |         |         |          |      |                 |
|     | 写真コース  |         |         |          |      |                 |

→20ページ参照

## 卒業までの合計金額(目安)

1年次入学(4年間) **1,646,140円~1,808,140円**3年次編入学(2年間) **992,140円~1,064,140円**

卒業までに必要な費用

## 《 環境デザイン学科 》

| 出願時 |                | 入学選考料   | 入学金     | 授業料(1年目) | 保険料  | 合計              |
|-----|----------------|---------|---------|----------|------|-----------------|
|     | 建築デザインコース      |         |         |          |      |                 |
|     | ランドスケープデザインコース | 20,000円 | 30,000円 | 327,000円 | 140円 | <b>377,140円</b> |
|     | 空間演出デザインコース    |         |         |          |      |                 |

→20ページ参照

## 卒業までの合計金額(目安)

1年次入学(4年間) **1,646,140 ~ 1,808,140円**3年次編入学(2年間) **992,140 ~ 1,064,140円**

# 学費

## 出願時に必要な費用

入学手続金は出願時に全額一括で納入いただきます。分納はできません。なお、入学選考料以外は、オリエンテーションコーポレーションの学費ローンを利用できます(60ページ「学費ローン」参照)。

### ①入学手続金

| 学科                  | コース         | 内訳      |         |           |               | 入学手続金<br>(合計)   |
|---------------------|-------------|---------|---------|-----------|---------------|-----------------|
|                     |             | 入学選考料   | 入学金     | 授業料(1年目分) | 学生教育研究災害傷害保険料 |                 |
| 芸術教養学科              |             | 20,000円 | 30,000円 | 170,000円  | 授業料に含む        | <b>220,000円</b> |
| 文化<br>コンテンツ<br>創造学科 | 文芸          | 20,000円 | 30,000円 | 348,000円  | 140円          | <b>398,140円</b> |
|                     | アーツライティング   |         |         | 355,000円  |               |                 |
|                     | 書画          |         |         |           |               |                 |
|                     | グラフィックデザイン  |         |         |           |               |                 |
|                     | イラストレーション   |         |         |           |               |                 |
|                     | 映像          |         |         |           |               |                 |
| 食文化デザイン             |             |         |         |           |               |                 |
| 芸術学科                | 芸術学         | 20,000円 | 30,000円 | 231,000円  | 140円          | <b>281,140円</b> |
|                     | 歴史遺産        |         |         |           |               |                 |
|                     | 和の伝統文化      |         |         |           |               |                 |
| 美術科                 | 日本画         | 20,000円 | 30,000円 | 327,000円  | 140円          | <b>377,140円</b> |
|                     | 洋画          |         |         |           |               |                 |
|                     | 陶芸          |         |         |           |               |                 |
|                     | 染織          |         |         |           |               |                 |
|                     | 写真          |         |         |           |               |                 |
| 環境<br>デザイン学科        | 建築デザイン      | 20,000円 | 30,000円 | 327,000円  | 140円          | <b>377,140円</b> |
|                     | ランドスケープデザイン |         |         |           |               |                 |
|                     | 空間演出デザイン    |         |         |           |               |                 |

- 入学選考料、入学金は、出願時のみ必要な費用です。2年目以降は必要ありません。
- 出願後の辞退、入学不許可となった場合は、入学選考料を除く入学手続金を返還します。
- 入学後、年度途中で退学しても入学手続金は返還いたしません。

### 授業料に含まれるもの

学科コースごとに必修科目の履修形態が異なるため、授業料に含まれるものが異なります。

|                       |   |
|-----------------------|---|
| 芸術教養学科                | ・テキスト科目のレポート添削指導料<br>・Webスクーリング科目受講料  |
| 文化コンテンツ創造学科           | ・テキスト科目のレポート添削指導料<br>・Webスクーリング科目受講料<br>・作品添削指導料<br>・コース専門教育科目のスクーリング受講料(遠隔S科目) |
| 芸術学科・美術科・<br>環境デザイン学科 | ・テキスト科目のレポート添削指導料<br>・Webスクーリング科目受講料<br>・作品添削指導料                                |

- 学生教育研究災害傷害保険は、入学年度から6年間有効です。7年目以降は対象者に対し大学にて再加入手続を行います(再加入時の保険料は不要)。

- 以下に該当する方は、入学手続きの一部が免除されます(提出書類・手続きは71ページ参照)。

| 免除対象   |                              | 免除金額   |
|--|------------------------------|--|
| 京都芸術大学通信教育課程(学部・大学院)<br>京都芸術大学通学課程(学部・大学院)<br>京都芸術短期大学<br>京都芸術デザイン専門学校(旧校名：京都国際文化専門学校)<br>京都芸術大学附属高等学校<br>藤川学園 | 卒業・修了生<br>(卒業・修了見込含む)        | 入学選考料 20,000円<br>入 学 金 30,000円<br>合 計： 50,000円免除<br><br>【芸術教養学科のみ】<br>入学選考料 20,000円<br>入 学 金 30,000円<br>授業料の内 50,000円減免 <sup>※1※2</sup><br>合 計： 100,000円免除 |
| 京都芸術大学通信教育課程(学部・大学院)<br>京都芸術大学通学課程(学部・大学院)<br>京都芸術短期大学<br>京都芸術デザイン専門学校(旧校名：京都国際文化専門学校)<br>京都芸術大学附属高等学校<br>藤川学園 | 卒業・修了生<br>(卒業・修了見込含む)<br>の子女 | 入 学 金 30,000円免除  |
| 京都芸術大学通学課程(学部・大学院)<br>京都芸術デザイン専門学校<br>京都芸術大学附属高等学校<br>認可保育園こども芸術大学   | 在学生の保護者<br>または学費支弁者          | 入 学 金 30,000円免除<br><br>【芸術教養学科のみ】<br>入 学 金 30,000円<br>授業料の内 50,000円減免 <sup>※2</sup><br>合 計： 80,000円免除  |
| 京都造形芸術大学通学課程<br>芸術学部デザイン科環境デザインコース   | 1991年4月～1999年4月<br>入学生       | 建築デザインコースに入学の場合授業料<br>327,000円から2割減免。<br>減免後授業料：261,600円   |

※1：京都芸術大学附属高等学校の卒業生はこの免除の対象外です(免除金額50,000円)。

※2：2年目以降の授業料についても同額が減免されます。

※退学は免除対象外です。

## ②資格課程受講登録料(編入学生・希望者のみ)

資格課程の受講登録は2年次以上が対象となるため、1年次入学生は出願時には登録できません。

文化コンテンツ創造学科は登録できません。

|        |                                  |
|--------|----------------------------------|
| 芸術教養学科 | +250,000円(在籍期間中有効) <sup>※1</sup> |
|--------|----------------------------------|

- 受講登録料とは別にテキスト代、博物館実習に伴う交通費・宿泊費が必要です。
- 受講登録料には、スクーリング受講料、学外館見学時の入館料(「博物館実習1(事前指導)」、「博物館実習3(事後指導)」)、学研災付帯賠償責任保険料が含まれており、学研災付帯賠償責任保険は「博物館実習2(館園実習)」を受講する年度に加入します。
- 途中で資格課程の学習を取りやめても、受講登録の取り消し、受講料の返金はできません。

※1：受講登録料は在籍期間中有効のため、毎年納付する必要はありません。ただし、関連法規等の改正により、修得すべき科目・単位数が増加した場合や、制度が変更された場合はこの限りではありません。

※資格課程についての詳細は、87～90ページを確認してください。

|                   |                                  |
|-------------------|----------------------------------|
| 芸術学科、美術科、環境デザイン学科 | +160,000円(在籍期間中有効) <sup>※1</sup> |
|-------------------|----------------------------------|

- 受講登録料とは別にテキスト代、スクーリング受講料、博物館実習に伴う交通費・宿泊費、学外館見学時の入館料(「博物館実習1(事前指導)」、「博物館実習3(事後指導)」)が必要です。また、学外館での「博物館実習2(館園実習)」の受講を希望する方は、学外館によっては実習費等が必要となる場合があります。
- 受講登録料には、学研災付帯賠償責任保険料が含まれており、「博物館実習2(館園実習)」を受講する年度に加入します。
- 途中で資格課程の学習を取りやめても、受講登録の取り消し、受講料の返金はできません。

※1：受講登録料は在籍期間中有効のため、毎年納付する必要はありません。ただし、関連法規等の改正により、修得すべき科目・単位数が増加した場合や、制度が変更された場合はこの限りではありません。

※資格課程についての詳細は、87～90ページを確認してください。

### ③支払方法

| 出願時  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・クレジットカード決済</li> <li>・ネットバンキング(銀行ネット)決済</li> <li>・コンビニ決済</li> <li>・郵便振込<sup>※1</sup></li> <li>・ローン利用</li> </ul> |

※1：芸術教養学科は郵便振込不可。

Web出願手続「学費の支払い」の画面にて、以下から支払方法を選択し、支払操作を行います。

#### ●クレジットカード決済

志願者本人、もしくは家族、会社等でご契約されているクレジットカードでお支払いください。

VISA/MASTER/JCB/AMEX（2024年7月現在。JCB/AMEXは一回払いのみ）。

決済代行会社(株式会社ペイジェント)から大学が決済完了報告を受けた後、大学から登録メールアドレス宛に決済完了確認のメールを送信します。

#### ●ネットバンキング(銀行ネット)決済

志願者本人、もしくは家族でご契約されているネットバンキングでお支払いください。

<https://www.pay-easy.jp/>（みずほ銀行、三菱UFJ銀行、三井住友銀行、りそな銀行など1,400行以上。）

決済代行会社(株式会社ペイジェント)から大学が決済完了報告を受けた後、大学から登録メールアドレス宛に決済完了確認のメールを送信します。

#### 【重要】決済の操作期限(クレジットカード決済、ネットバンキング決済)

決済サイトの画面には、支払操作のできる画面有効期限（10日間）が設定されていますので、期限内に支払操作を完了してください。なお、画面有効期限を越えた場合はエラーとなり、支払操作ができなくなります。その場合は、通信教育部芸術学部願書受付係にメールでご連絡ください。

京都芸術大学通信教育部芸術学部 願書受付係 [question@air-u.kyoto-art.ac.jp](mailto:question@air-u.kyoto-art.ac.jp)

#### ●コンビニ決済

「お支払い番号」を以下のコンビニの端末・レジで入力してお支払いください。

ローソン、ファミリーマート、セイコーマート、デイリーヤマザキ、ミニストップ(2024年7月現在)。決済代行会社(株式会社ペイジェント)から大学が決済完了報告を受けた後、大学から登録メールアドレス宛に決済完了確認のメールを送信します。

#### 【重要】

支払期限(10日間)が出願期間を越える場合でも、必ず出願期間内にコンビニの端末・レジでの支払いを完了してください。出願期間後に入金されても受け付けられません。なお、総額30万円を超える場合、コンビニ決済は利用できません。

#### ●郵便振込(※芸術教養学科は不可)

「学費の支払い」画面で大学指定口座への直接振込を選択し、「提出書類について」の画面に表示される振込先口座番号や口座名義等を控え、郵便局・ゆうちょ銀行に備付の振込用紙に必要な事項を記入のうえ、入金してください。(67ページもご参照ください)

#### ●ローン利用

あらかじめローン審査を受け、審査結果が「許可」となってから出願してください。Web出願手続「学費の支払い」の画面で「ローン利用」を選択し、次の画面でローン受付番号と、ローン対象外の入学選考料(20,000円)の支払い方法を入力します。なお、ローン対象外の入学選考料はクレジットカード決済、ネットバンキング決済、コンビニ決済または郵便振替でのお支払いです(60ページ「学費ローン」参照)。なお、入学選考料の支払い方法を選択すると、決済代行会社の決済サイト画面に自動遷移します。



## 入学後に必要な費用

本学では、学生が金融機関に開設している預金口座から、学費等の諸費用を引き落す「預金口座振替制度」を採用しています。入学2年目以降の授業料、在籍中に発生するスクーリング受講料、教材費等の費用は、すべて登録口座から引き落とします。ただし、授業料については下記①の支払い方法が選択可能です。

※口座振替の業務は三井住友カード(株)に委託しています。通帳には「SMBC (キョウトゲイジユツ)」等と表示されます。引き落としの際は、本学より事前に引落明細をお知らせします。

※卒業、退学等により本学の学籍から離れると、口座振替は解除されます。

※以下は2025年度適用金額です。授業料等の諸費用は改定することがあります。

### ①授業料(2年目以降)

| 学科                  | コース         | 授業料(年間)     | 支払い方法  |
|---------------------|-------------|-------------|--|
| 芸術教養学科              |             | 170,000円/年間 | 支払時期：前期入学生は毎年1～2月<br><br>支払方法：登録口座から引き落とし<br>クレジットカード決済 <sup>※1</sup><br>ネットバンキング決済 <sup>※1</sup><br>コンビニ決済 <sup>※1</sup><br>ローン利用 |
| 文化<br>コンテンツ<br>創造学科 | 文芸          | 348,000円/年間 |  |
|                     | アトライティング    |             |  |
|                     | 書画          | 355,000円/年間 |  |
|                     | グラフィックデザイン  |             |  |
|                     | イラストレーション   |             |  |
|                     | 映像          |             |  |
|                     | 食文化デザイン     |             |  |
| 芸術学科                | 芸術学         | 231,000円/年間 |  |
|                     | 歴史遺産        |             |  |
|                     | 和の伝統文化      |             |  |
| 美術科                 | 日本画         | 327,000円/年間 |  |
|                     | 洋画          |             |  |
|                     | 陶芸          |             |  |
|                     | 染織          |             |  |
|                     | 写真          |             |  |
| 環境<br>デザイン学科        | 建築デザイン      | 327,000円/年間 |  |
|                     | ランドスケープデザイン |             |  |
|                     | 空間演出デザイン    |             |  |

※1：授業料(年間)に加えて事務手数料が別途必要です。

### ②スクーリング受講料

|                   | 金額          | 備考   |
|-------------------|-------------|--|
| 講義系(遠隔)           | 8,000円/1単位  | ● <b>芸術学科のスクーリングは主に講義系、美術科・環境デザイン学科・「博物館実習」のスクーリングは主に演習系です(必ずしもすべてがこの限りではありません)。</b> |
| 講義系(京都・東京キャンパス共通) | 10,000円/1単位 |  |
| 演習系(遠隔)           | 12,000円/1単位 | ● スクーリング受講後、登録口座から引き落とします。<br>● 総合教育科目(演習系)のスクーリング受講料は、左記金額に一律1科目につき8,000円加算します。     |
| 演習系(京都・東京キャンパス共通) | 15,000円/1単位 |  |

※芸術教養学科はスクーリング科目を受講できません。

※別途1科目につき1,000円～15,000円程度のスクーリング教材費(テキスト代、入館料、材料費、モデル料等)や20,000円～100,000円程度の研修費(交通費・宿泊費)が必要な科目があります。

### 1年間にかかるスクーリング受講料の概算(最短で卒業する場合)

| 入学形態   | スクーリング受講料        | 備考                      |
|--------|------------------|-------------------------|
| 1年次入学  | 64,000円～120,000円 | 最短4年で卒業する場合：年間8単位取得を目安  |
| 3年次編入学 | 96,000円～180,000円 | 最短2年で卒業する場合：年間12単位取得を目安 |

## ③資格課程受講登録料(希望者のみ)

|        |                                  |
|--------|----------------------------------|
| 芸術教養学科 | +250,000円(在籍期間中有効) <sup>※1</sup> |
|--------|----------------------------------|

- 学籍更新手続期間(1月)に登録手続きをし、2月下旬までにお支払いいただきます。ローンの利用も可能です。
- 受講登録料とは別にテキスト代、博物館実習に伴う交通費・宿泊費が必要です。
- 受講登録料には、スクーリング受講料、学外館見学時の入館料(「博物館実習1(事前指導)」、「博物館実習3(事後指導)」)、学研災付帯賠償責任保険料が含まれており、学研災付帯賠償責任保険は「博物館実習2(館園実習)」を受講する年度に加入します。
- 途中で資格課程の学習を取りやめても、受講登録の取り消し、受講料の返金はできません。

※1：受講登録料は在籍期間中有効のため、毎年納付する必要はありません。ただし、関連法規等の改正により、修得すべき科目・単位数が増加した場合や、制度が変更された場合はこの限りではありません。

資格課程についての詳細は、87～90ページを確認してください。

|                   |                                  |
|-------------------|----------------------------------|
| 芸術学科、美術科、環境デザイン学科 | +160,000円(在籍期間中有効) <sup>※2</sup> |
|-------------------|----------------------------------|

- 学籍更新手続期間(1月)に登録手続きをし、2月下旬までにお支払いいただきます。ローンの利用も可能です。
- 受講登録料とは別にテキスト代、スクーリング受講料、博物館実習に伴う交通費・宿泊費、学外館見学時の入館料(「博物館実習1(事前指導)」、「博物館実習3(事後指導)」)が必要です。また、学外館での「博物館実習2(館園実習)」の受講を希望する方は、学外館によっては実習費等が必要となる場合があります。
- 受講登録料には、学研災付帯賠償責任保険料が含まれており、「博物館実習2(館園実習)」を受講する年度に加入します。
- 途中で資格課程の学習を取りやめても、受講登録の取り消し、受講料の返金はできません。

※2：受講登録料は在籍期間中有効のため、毎年納付する必要はありません。ただし、関連法規等の改正により、修得すべき科目・単位数が増加した場合や、制度が変更された場合はこの限りではありません。

資格課程についての詳細は、87～90ページを確認してください。

## ④テキスト・教材・機材費

所属コースにより、次の教材・機材が必要です。教材費とは別に授業での制作には材料費がかかります。入学時にすべてを揃える必要はありません。新入生ガイダンスや各コースの「コースガイド」「専門教育科目シラバス」等で案内しますので、様子をみながら揃えてください。ただし、入学時より学習用Webサイト「airUマイページ」上で様々な情報を提供しますので、Web閲覧ができる環境はできるだけ早めにご準備ください。

テキストは必修科目を含め有料です(一部コースで入学時に一斉送付されるテキストや、学習用Webサイト「airUマイページ」上で閲覧となるテキストは無料です)。また、一部コースでは大学へ請求(有料)するものもあります。総合教育科目、学部共通専門教育科目(必修除く)、資格関連科目のテキストは、大学へ請求(有料)するものと、各自購入となるものがあります。(1冊750円から4,000円程度)。なお、在学中に指定テキストの変更があれば、新しく指定されるテキストは新たにご購入いただく必要があります。参考価格は2024年度実績のため、変更になることがあります。詳細は入学後にご確認ください。

※無料でテキスト配本した科目を含む。

※表示価格は授業で必要なものを新規購入した場合の参考価格です。学習の進行にともなって追加が必要となるものや、絵具や参考文献等、学習方法により個人差が生じる教材は含んでおりません。

※マシンスペックなどは各コース内で記述している参照ページをご確認ください。

| コース    | テキスト(コース専門教育科目)・教材・機材  | 参考価格   |
|--------|--|--|
| 全コース   | パソコン<br>36ページのシステム要件を満たし、インターネットへの接続環境が整ったものを準備してください(カメラ、マイク付きのノート型パソコン推奨)。<br>※以下コースはノート型パソコンの準備が必須です(ディスプレイ型パソコン不可)。<br>写真コース/グラフィックデザインコース/建築デザインコース<br>ランドスケープデザインコース/空間演出デザインコース | 約100,000円～   |
| 芸術教養学科 | テキスト   | 電子テキストの場合は無料<br>※在学中のみ閲覧可。閲覧にはインターネット環境が必要。一部の選択科目を除く。<br>印刷製本版(市販本)の場合は有料<br>※1冊2,200円～2,800円。標準的な履修(学部共通専門教育科目5科目、学科専門教育科目10科目)において、すべて印刷製本版を購入する場合、合計47,000円程度。 |
| 文芸     | テキスト<br>PDFの作成・閲覧ができる環境<br>※PDFで課題を提出する場合があるため、文書作成ソフト(Microsoft OfficeやGoogleドキュメント、Mac標準のPagesやKeynote等)からPDF作成ができれば問題ありません。   | 電子書籍およびairUマイページ利用の場合：約22,000円<br>印刷製本の場合：約44,000円   |

| コース        | テキスト(コース専門教育科目)・教材・機材  | 参考価格   |
|------------|--|--|
| アートライティング  | テキスト   | 電子書籍およびairUマイページ利用の場合：約7,700円<br>印刷製本の場合：約60,000円                                      |
| 書画         | 基本画材(筆、紙、墨、硯、下敷き、筆巻、絵具皿、筆洗、文鎮等)  | 約15,000円   |
|            | プリンター (A4サイズであれば基本的に可能)  | 約30,000円～  |
|            | カメラ(提出作品を撮影するために必要。スマートフォンのカメラでも可)   | -  |
|            | テキスト   | 約25,000円   |
| グラフィックデザイン | パソコン(ノート型、デスクトップ型いずれも可) 27ページ参照  | 約150,000円～   |
|            | ソフトウェア(Adobe Creative Cloud) 27ページ参照   | 23,760円(年間)(2024年度実績)  |
|            | パソコン用フォント(MORISAWA PASSPORT)   | 13,200円(4年間)(2024年度実績)   |
|            | A3プリンター (A4サイズでも可) ※コンビニプリントなどでも可能   | -  |
|            | カメラ(提出作品を撮影するために必要。スマートフォンのカメラでも可)   | -  |
|            | テキスト   | 約30,000円(予定)   |
| イラストレーション  | ソフトウェア(Adobe Creative Cloud)   | 23,760円(年間)(2024年度実績)  |
|            | イラスト制作ソフト(CLIP STUDIO PAINT PRO / EX)  | 480円～(月額)<br>2,800円～(年額)<br>5,000円～(一括払い)<br>※2024年度実績<br>※アップデートのサポートがあるため月額または年額払い推奨 |
|            | ペンタブレット(スペックは問いません)  | 約6,000円～   |
| 映像         | 動画撮影機材(スマートフォン、タブレット/デジタル一眼レフカメラ、ビデオカメラ等)<br>動画撮影用機材の価格は機材のスペックや市場の状況等により変動します。<br>詳細な価格や仕様については、各メーカーの製品情報サイトをご参照ください。<br>31ページ参照 | 約30,000円～  |
|            | パソコン(ノート型、デスクトップ型いずれも可)<br>31ページ参照   | 約140,000円～   |
|            | ソフトウェア(Adobe Creative Cloud)<br>31ページ参照  | 年間23,760円(2024年度実績)  |
|            | 3DCG制作ソフト(Blender)<br>※3年次科目で使用します。<br>31ページ参照   | 無償   |
| 食文化デザイン    | 調理道具一式<br>※鍋・包丁・コンロなど基本的なキッチン環境があれば問題ありません。  | -  |
|            | カメラ(提出作品を撮影するために必要。スマートフォンのカメラでも可)   | -  |
|            | PDFの作成・閲覧ができる環境<br>※PDFで作品提出をするため、文書作成ソフト等(Microsoft OfficeやMac標準のPagesやKeynote等)からPDF作成ができれば問題ありません。                              | -  |
|            | テキスト   | 約10,000円～  |

| コース    | テキスト(コース専門教育科目)・教材・機材  | 参考価格  |
|--------|--|---|
| 芸術学    | テキスト   | 約5,000円～  |
| 歴史遺産   | テキスト   | 約30,000円～   |
| 和の伝統文化 | テキスト   | 約31,000円～   |
| 日本画    | 基本画材(鉛筆、スケッチブック、麻紙、水干絵具、絵具皿、筆、墨等)<br>※別途、岩絵具が必要です。   | 約60,000円  |
|        | テキスト   | 約12,000円  |
| 洋画     | 油彩道具(油絵具、筆、パレット、ペインティングナイフ等)<br>デッサン用具(鉛筆、木炭等)   | 約30,000円～   |
|        | テキスト   | 約16,000円  |
| 陶芸     | 制作に必要な道具(手ろくろ、へら、乳鉢、乳棒等)   | 約18,000円  |
|        | 陶土(白土、赤土、赤荒土等)   | 各課題につき約500円～1,000円  |
|        | 陶芸作品送付用段ボール<br>※作品を送付する為の段ボールを購入する必要があります(段ボールは繰り返し使用できます)。<br>作品送付には送料が発生します(陶芸作品は第四種郵便は適用されません)。   | 梱包材入り各1,800円  |
|        | 焼成費<br>※電動ろくろや窯を自宅に用意する必要はありませんが、テキスト科目の課題作品を本学で焼成する際に学内焼成費がかかります。素焼き状態で提出する課題作品にも焼成は必要です。<br>スクーリング科目で作成した作品も希望があれば焼成することが可能です。その場合も別途焼成費が必要です。 | 各課題につき<br>1,000円～2,000円(2024年度実績)                           |
|        | テキスト   | 約13,000円  |
| 染織     | 染色用具(浸染用具セット、摺込刷毛セット、媒染剤等)   | 約50,000円  |
|        | 織用具(枠機セット、製織用具)  | 約20,000円  |
|        | 織機<br>※卒業制作で織作品を制作する場合、3年次から自宅制作用の織機が必要です。   | (約200,000円)   |
|        | テキスト   | 約16,000円  |
| 写真     | デジタル一眼カメラ、レンズ、レンズフード、レリーズ、三脚等<br>28ページ参照   | 約150,000円～  |
|        | ノート型パソコン、ソフトウェア 28ページ参照  | 約150,000円～  |
|        | プリンター 28ページ参照<br>※一部の遠隔授業を受講する際に必須   | 約40,000円～   |
|        | その他の遠隔授業用教材・機材<br>(電球、ライトスタンド三脚、ペーパー類など)<br>※手持ちのものがあれば新たに購入の必要なし  | ～約26,000円   |
|        | テキスト   | 約15,000円  |
| 建築デザイン | 製図用具(定規、トレーシングペーパー等)   | 約20,000円  |
|        | 模型制作用具(カッターナイフ、ステンレス定規等)   | 約20,000円  |
|        | スケッチ用具(スケッチブック、鉛筆等)  | 約5,000円   |
|        | ノート型パソコン 29ページ参照<br>※在学中は、CADソフト(Auto CAD)を無償で使用できます。*1  | 約180,000円～  |
|        | 複合機(A3サイズ推奨、カラー印刷推奨)   | 約30,000円～   |
|        | テキスト   | (入学時の基礎教材および1年次科目)<br>約47,000円<br>(2年次科目以降卒業まで)<br>約25,000円 |

| コース             | テキスト(コース専門教育科目)・教材・機材  | 参考価格                  |
|-----------------|--|-----------------------|
| ランドスケープ<br>デザイン | 製図用具(定規、トレーシングペーパー、製図板、色鉛筆等)   | 約30,000円              |
|                 | 庭園実習用具(実習服、剪定はさみ、剪定のこぎり等)  | 約20,000円              |
|                 | ノート型パソコン 29ページ参照<br>※在学中は、CADソフト(Auto CAD)を無償で使用できます。                | 約150,000円～            |
|                 | ソフトウェア(Adobe Creative Cloud)   | 23,760円(年間)(2024年度実績) |
|                 | スケッチ用具(スケッチブック、鉛筆等)  | 約6,000円               |
|                 | テキスト   | 9,680円～13,200円        |
|                 | プリンター(A3サイズ推奨) ※必須ではない   | 約30,000円～             |
| 空間演出<br>デザイン    | 製図用具(シャープペン、三角定規、円定規、三角スケール、A2製図板+T定規セットorA2平行定規等)                   | 約25,000円～             |
|                 | 模型制作用具(カッターナイフ、ステンレス定規等)   | 約12,000円              |
|                 | スケッチ用具(スケッチブック、鉛筆等)  | 約3,000円               |
|                 | ノート型パソコン 30ページ参照<br>※在学中は、CADソフト(Auto CAD) <sup>※1</sup> を無償で使用できます。 | 約150,000円～            |
|                 | プリンター(A3サイズ推奨、A4サイズでも可)  | 約30,000円～             |
|                 | ソフトウェア(Adobe Creative Cloud)   | 23,760円(年間)(2024年度実績) |
|                 | 3Dモデル作成ソフト(SketchUp) <sup>※1</sup><br>※2年次スクーリングで使用します。              | 12,100円(年間)(2024年度実績) |
| テキスト            | ※2   |                       |

※テキストの参考価格に総合教育科目、学部共通専門教育科目等、選択科目のテキスト代は含まれません。

※1：使用するソフトウェアは変更される可能性があります。

※2：コース専門教育科目、必修となる学部共通専門教育科目の指定テキストは初年度のみ無料配布します。なお、無料でテキスト配布した必修科目でも、在学中に指定テキストの変更があれば、新しく指定されるテキストは有料となります。

### ⑤ パソコンスキル・インターネット環境(全学科・コース共通) 36ページ参照

入学するコースによってパソコンや用意していただくアプリケーションソフトの指定があります。

「⑥アプリケーションソフト等」の該当コース箇所をご確認ください。

### ⑥ アプリケーションソフト等(以下該当コースのみ指定あり)

入学後のガイダンスでパソコン、アプリケーションソフトの購入やインストール等に関する説明を行う予定です。

必ずしもすべてを入学前に揃えておく必要はありません。以下は必要となるパソコンのスペックです。

パソコンのシステム要件等は36ページをご確認ください。

### グラフィックデザインコース

学習には、パソコンと指定されたアプリケーションソフト、フォント(書体)が必要です。パソコンは、MacでもWindowsでも、また、デスクトップ型でもノート型でもかまいません。

- パソコンをお持ちでない方は、Macの購入を推奨します。

入学されると学割が利用できますので、学割版を購入してください。入学後のガイダンスでパソコンやアプリケーションソフトに関する説明を行う予定です。購入に不安のある方は、ガイダンスにご参加ください。

- A3プリンター(A4サイズでも可)を推奨します。

以下は必要となるパソコンのスペックとアプリケーションソフトです。

| パソコン  | アプリケーションソフト  |
|---|--|
| <p>MacもしくはWindows</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● システム構成<br/>CPU、OS、メモリはインストールするアプリケーションソフトの必要システム構成<sup>*</sup>に準拠してください。</li> </ul> <p>※必要システム構成は、Adobe社のWeb サイト(<a href="https://www.adobe.com/jp/">https://www.adobe.com/jp/</a>)にてご確認いただけます。<br/>※パソコンのスペックの詳細は、メーカーや販売店等へお問合せください。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● Adobe Creative Cloud (学生・教職員向け割引あり)</li> <li>● MORISAWA PASSPORT (アカデミック版モリサワ認定校用)</li> <li>● セキュリティ対策ソフト(有償版)</li> </ul> |

## 写真コース

パソコンを利用する対面スクーリング（1年次科目～）では、各自使用するカメラのメーカーが指定する動作環境以上の機能を備えたノート型パソコン（Mac推奨）の持参が必要となり、科目によって事前にRAW現像ソフトや画像編集ソフトのインストールが必要です。パソコンやカメラは、入学前に揃えておく必要はありません。入学後のガイダンスで説明を行う予定です。以下は必要となるパソコンのスペック、デジタル一眼カメラ、その他機材です。

| パソコン  | アプリケーションソフト   |
|---|---|
| <p><b>【Mac】推奨</b><br/>ノート型パソコン<br/>(対面スクーリングはノート型パソコンの持参が必要となります)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● OS<br/>Mac OS（インストールするアプリケーションソフトの最新バージョンに対応したもの）</li> <li>● 機種<br/>MacBook Pro（5年以内に発売されたシリーズを推奨）<br/>MacBook Air（M1チップ搭載以降を推奨）</li> <li>● メモリ<br/>最小：8GB（16GB以上推奨）</li> <li>● 内蔵ストレージ<br/>256GB以上推奨</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● Adobe Creative Cloud フォトプラン推奨<br/>(Photoshop、Bridge、Lightroom Classic)の最新バージョン(学生・教職員向けソフトあり)</li> <li>● セキュリティ対策ソフト(有償版)</li> </ul> |

※遠隔授業の受講時には、大容量のデータを送受信することのできる通信環境が必要です(光回線推奨)。

ダウンロード：250Mbps以上

アップロード：100Mbps以上

- デジタル一眼カメラ(ミラーレスを含む) / 次の機能をすべて満たすものがが必要です。  
レンズを外した状態でシャッターが切れる(撮影ができる)もの / マニュアル機能がついているもの(絞りとシャッタースピードが個別に設定できること) / マニュアルフォーカスがついているもの(オートフォーカスだけでなく、自分でピントを設定できる機能がついているもの) / 撮像素子(CMOSやCCD)のサイズがマイクロフォーサーズ以上のもの / レンズ交換ができるもの / 画素数が1,000万画素程度以上のもの / RAWデータの撮影ができるもの / シンクロ接点もしくはホットシューがついているもの(ストロボの接点がついていること) / 三脚をとりつけるねじ穴のついているもの ※主なメーカー：キヤノン、ニコン、ソニー、オリンパス、ペンタックス、パナソニック、ライカ、富士フイルム等

※スクーリング(3年次科目～)では、テザー撮影が可能な一眼カメラが必要です。

- レンズ / 標準ズームレンズ(広角、標準、望遠域をカバーしていれば、ズームレンズでなく複数のレンズの組み合わせでも可)
- レンズフード / 各自のレンズの付属品または専用のもの
- レリーズ / 各自のカメラ対応のもの(リモコン / アプリでも可)
- 三脚
- プリンター / 一部の遠隔授業では、インクジェットプリンターを各自でご準備いただきます。高画質写真印刷に対応する機種(A4サイズ以上プリント可能な機種) / インク色数が6色以上 / エプソンもしくはキヤノンのインクジェットプリンター

※キヤノンのプリンターの場合、A3ノビサイズ対応以外の機種について、Mac OSで印刷設定に問題が起きる場合があります。

※上記の条件のインクジェットプリンターのご準備が難しい場合は、該当科目のみ対面授業での受講をご検討ください。

## 建築デザインコース

パソコンを利用するCADのスクーリング（2年次科目）ではノート型パソコンとCADソフト（AutoCAD）が必要ですが、2年次スクーリング科目のため入学前に揃えておく必要はありません。入学後のガイダンスでパソコン、アプリケーションソフトに関する説明を行う予定です。以下は必要なパソコンのスペックです。

また、Web教材や事前課題の出力、課題提出等のために、複合機（A3サイズ推奨、カラー印刷推奨）が必要です。

| パソコン  | アプリケーションソフト   |
|---|---|
| <p><b>【Windows】</b><br/>ノート型パソコン<br/>(CADの対面スクーリングはノート型パソコンの持参が必要です)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● システム構成<br/>CPU、OS、メモリ、表示解像度、ディスプレイカード、ディスク空き容量等ともにインストールするアプリケーションソフトの動作環境に準拠してください。</li> </ul> <p><b>【Mac】</b><br/>ノート型パソコン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 機種<br/>MacBook ProまたはMacBook Air</li> <li>● システム構成<br/>CPU、OS、メモリ、表示解像度、ディスプレイカード、ディスク空き容量等ともにインストールするアプリケーションソフトの動作環境に準拠してください。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● AutoCAD（CADソフト）の最新バージョン</li> <li>● セキュリティ対策ソフト（有償版）</li> </ul> |

- 必要なシステム構成はAUTODESK社のWebサイト(<https://www.autodesk.co.jp/>)にてご確認ください。
  - ・AutoCADのバージョンおよび必要なスペックは、メーカーの都合により変更になることがあります。
  - ・パソコンスペックの詳細はパソコンメーカー、販売店等へお問合せください。
  - ・使用するソフトウェアは変更される可能性があります。

※CADソフトの使い方を学ぶ科目を遠隔受講する場合はデュアルディスプレイ環境が必要です。

## ランドスケープデザインコース

パソコンを利用する対面スクーリング（1年次科目～）ではノート型パソコンの持参が必要です。パソコンは必ずしも入学前に揃えておく必要はありません。入学後のガイダンスでパソコン、アプリケーションソフトの購入やインストール等に関する説明を行う予定です。以下は必要となるパソコンのスペックです。またWeb教材や事前課題出力のためにプリンター（A3サイズ推奨、A4サイズでも可）、また遠隔授業受講の際にはスキャナー（A3サイズ推奨）があるとよいです。

| パソコン  | アプリケーションソフト  |
|---|--|
| <p><b>【Windows】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● システム構成<br/>CPU、OS、メモリ、すべてインストールするアプリケーションソフトの動作環境に準拠してください。</li> </ul> <p><b>【Mac】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 機種<br/>MacBook ProまたはMacBook Air</li> <li>● システム構成<br/>CPU、OS、メモリ、すべてインストールするアプリケーションソフトの動作環境に準拠してください。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● AutoCAD（CADソフト）の最新バージョン</li> <li>● Adobe Creative Cloudの最新バージョン（学生・教職員向けソフトあり）</li> <li>● セキュリティ対策ソフト（有償版）</li> </ul> |

- 必要なシステム構成は以下よりご確認ください。
  - ・Adobe Creative Cloud：Adobe社のWebサイト(<https://www.adobe.com/jp>)
  - ・AutoCAD：Autodesk社のWebサイト(<https://www.autodesk.co.jp>)

※各種アプリケーションソフトのバージョンおよび必要なスペックは、メーカーの都合により変更になることがあります。

※パソコンスペックの詳細はパソコンメーカー、販売店等へお問合せください。

## 空間演出デザインコース

パソコンを利用するスクーリング（1年次科目～）ではノート型パソコンが必要です\*。パソコンは必ずしも入学前に揃えておく必要はありません。入学後のガイダンスでパソコン、アプリケーションソフトの購入やインストール等に関する説明を行う予定です。なお、まだパソコンをお持ちでない方には、Macの購入を推奨しています。以下は必要となるパソコンのスペックです。

またWeb教材や事前課題出力のためにプリンター（A3サイズ推奨、A4サイズでも可）も必要です。

\*遠隔スクーリングのみで卒業される方はその限りではありません。

| パソコン  | アプリケーションソフト  |
|---|--|
| <p><b>【Mac】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 機種<br/>MacBook ProまたはMacBook Air</li> <li>● システム構成<br/>CPU、OS、メモリ、すべてインストールするアプリケーションソフトの動作環境に準拠してください。</li> </ul> <p><b>【Windows】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● システム構成<br/>CPU、OS、メモリ、すべてインストールするアプリケーションソフトの動作環境に準拠してください。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● AutoCAD（CADソフト）の最新バージョン</li> <li>● Adobe Creative Cloudの最新バージョン（学生・教職員向けソフトあり）</li> <li>● SketchUp（3Dモデル作成ソフト）の最新バージョン（教育用ライセンスあり）</li> <li>● セキュリティ対策ソフト（有償版）</li> </ul> |

● 必要なシステム構成は以下よりご確認ください。

- ・Adobe Creative Cloud：Adobe社のWebサイト(<https://www.adobe.com/jp>)
- ・SketchUp：アルファコックス社のWebサイト(<https://www.alphacox.com>)
- ・AutoCAD：Autodesk社のWebサイト(<https://www.autodesk.co.jp>)

\*各種アプリケーションソフトのバージョンおよび必要なスペックは、メーカーの都合により変更になることがあります。

\*パソコンスペックの詳細はパソコンメーカー、販売店等へお問合せください。

\*使用するソフトウェアは変更される可能性があります。

## イラストレーションコース

| パソコン   | アプリケーションソフト   |
|--|---|
| <p><b>【Windows / Mac】</b><br/>ノート型、デスクトップ型いずれも可。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● メモリ<br/>推奨：8GB以上</li> <li>● システム構成<br/>CPU、OS、メモリ、すべてインストールするアプリケーションソフトの必要システム構成に準拠してください。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● Adobe Creative Cloudの最新バージョン（学生・教職員向けソフトあり）</li> <li>● CLIP STUDIO PAINT PROまたはEX</li> <li>● セキュリティ対策ソフト（有償版）</li> </ul> |

\*必要システム構成はAdobe社のWebサイト(<https://www.adobe.com/jp/>)、CELSYS社のWebサイト(<https://www.clipstudio.net/ja/>)にてご確認ください。



## 映像コース

入学後のガイダンスでパソコン、アプリケーションソフトの購入やインストール等に関する説明を行う予定です。必ずしも入学前に揃えておく必要はありません。以下は必要となるパソコンや機材のスペックです。

撮影や編集を伴う科目では、各自カメラ機材（スマートフォン、タブレット、デジタル一眼カメラ、ビデオカメラ等）と動画編集ソフトをパソコンやスマートフォンにインストールしてください。

| パソコン   | アプリケーションソフト  |
|--|--|
| <p><b>【Windows / Mac】</b><br/>ノート型、デスクトップ型いずれも可。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● メモリ<br/>推奨：16GB以上</li> <li>● システム構成<br/>CPU、OS、メモリ、すべてインストールするアプリケーションソフトの動作環境に準拠してください</li> </ul> | <p>以下①～③の最新バージョンを準備してください。</p> <p>① Adobe Creative Cloudコンプリートプラン（Premiere Pro、After Effects、Photoshop、Illustrator）（学生・教職員向け価格での販売あり）</p> <p>② Blender（無償）</p> <p>③ セキュリティ対策ソフト（有償版）</p> |

- 必要なシステム構成は以下よりご確認ください。
  - ・Adobe社のWebサイト(<https://www.adobe.com/jp>)
  - ・Blender (<https://www.blender.org/>)

※各種アプリケーションソフトのバージョンおよび必要なスペックは、メーカーの都合により変更になることがあります。  
※パソコンスペックの詳細はパソコンメーカー、販売店等へお問合せください。

- 動画撮影用機材とデータの取り扱い  
スマートフォン、タブレット、デジタル一眼カメラ、ビデオカメラ等

動画編集に用いる素材を撮影する [ 1 ] もしくは [ 2 ] の機材が必要となります。いずれの場合も、動画のサイズがフルHD（1920×1080）以上、フレームレートが60fpsまで撮影可能でMP4もしくはMOV形式でデータを書き出し可能な機材を準備してください。

### [ 1 ] スマートフォン、タブレット

スマートフォンやタブレットで撮影する場合は、そのままそのデバイスで編集する、もしくは撮影データをパソコンに取り込んで編集することになります。前者の場合は完成したデータを、後者の場合は撮影したデータをパソコンに取り込めるようにしておいてください。

※機材によってパソコンとの接続ケーブルが必要となることがあります。

### [ 2 ] デジタル一眼カメラ、ビデオカメラ

カメラ機材で撮影する場合は、撮影したデータをパソコンもしくはスマートフォンへ取り込み編集することになります。記録メディアの使用やケーブルを用いた機材との接続が必要となることがありますので、自身でデータを取り込む方法を調べておいてください。

※機材によってパソコンとの接続ケーブルが必要となることがあります。

## ⑦ その他の費用

|         | 備考   |
|---------|--|
| 郵便・宅配便代 | 課題提出・返却時に郵便・宅配便代がかかります。<br>レポート（100g以内）の場合、第四種郵便の適用で、1通15円です。<br>※日本画コース・洋画コース・陶芸コースの作品の宅配便代は、作品サイズによって大型商品扱いとなる場合があります。 |
| 交通費・宿泊費 | 居住地やコース、受講科目によっては、スクーリング会場までの交通費や宿泊費がかかります。  |



# 学び方・履修科目

- 学習方法
- パソコンスキル・インターネット環境  
(全学科・コース共通)
- 課題提出期間および  
単位修得試験期間
- 履修形態(科目の種類と学び方)
- 学習支援体制
- 履修科目一覧

こんなふうに  
学んでいきます!



# 学習方法

本学通信教育課程では「履修登録」がありません。通学制と異なり、まず自分で履修プランを立て学習をすすめることが重要です。各科目の「開講期」や「課題提出期間(37ページ参照)」に従って各自が学習計画を立て、それぞれのペースで学習します。そのため、自身の履修状況や学習環境の変化によって、都度卒業までの履修プランを立て直すことができます。入学許可後は、Web上の「airU学習ガイド」やシラバス(授業や課題内容)を確認して履修計画を立てましょう。学習用Webサイト「airUマイページ」では履修プランを作成できます。

## ① 4月1日から 学習スタート

学習用Webサイト「airUマイページ」にログイン。  
シラバスを確認し、必要なテキストや教材を準備しましょう。

## ② 卒業要件・必修科目の確認

卒業までに修得が必要な科目や単位数を確認しましょう。

- 卒業要件  
12～15ページ
- 履修科目  
芸術教養学科 44ページ  
全学科・コース(芸術教養学科以外) 45～55ページ

## 学習用Webサイト「airU(エア・ユー)マイページ」でできること

「airUマイページ」は本学通信教育課程独自の学習用Webサイトです。

### airUマイページ



#### テキスト科目

- ・ レポートや作品の提出
- ・ 単位修得試験の受験

#### Webスクーリング科目

- ・ 動画教材の視聴
- ・ レポートや作品の提出

#### スクーリングの申し込み

#### 課題の成績、評価内容の確認

#### 学費の確認、大学登録情報の確認・変更

くわしくは  
YouTubeで  
紹介中!



airUマイページは、学生一人一人の学習をサポートする様々な機能を備えた個人ページです。

### その他サポート

#### 履修計画サポート(履修プラン)

学習スケジュールの作成や、履修状況、修得単位数を確認できます。

#### 大学からの情報閲覧

定期的に配信される大学やコースからのお知らせを随時確認できます。

#### 学習サポート

学習の進め方などをわかりやすく説明する「学習ガイド」や、シラバス(科目概要)の確認、本学で提供する電子テキストの閲覧ができます。

#### 学生生活サポート

わからないことはコンシェルジュ(質問フォーム)での問い合わせを随時受け付けています。また証明書発行の申請もWeb上でできます。

### ③ 履修プランを立て、履修開始

配当年次等を確認し、取り組みやすいものから履修しましょう。定期的に履修プランを見直して調整しましょう。

#### テキスト科目

- TR (テキストレポート科目)  
くわしくは38ページ
- TW (テキスト作品科目)  
くわしくは38ページ
- TX (テキスト特別科目)  
くわしくは39ページ

#### スクーリング科目

- S (スクーリング科目)  
くわしくは40ページ
- WS (Webスクーリング科目)  
くわしくは39ページ
- GS (藝術学舎科目)  
くわしくは42ページ

### ④ 合格・単位修得

テキスト科目は不合格の場合も、年度内であれば何度でも再提出・再受験できます。教員からの添削講評をふまえて再チャレンジしましょう。

くわしくは37ページ

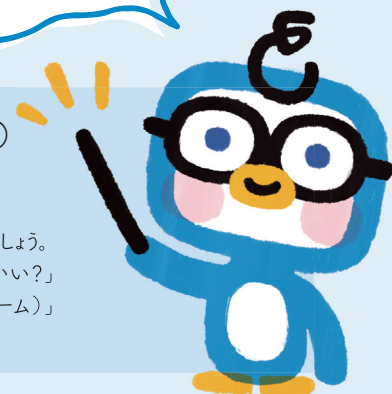
### ⑤ 卒業

卒業要件を満たせば卒業です。在籍年限内であれば、卒業までにかかる年数は自分で決められます。

自宅学習では  
この二つを  
うまく活用しましょう

### チャットボット (AIによる自動応答) コンシェルジュ (質問フォーム)

わからないことがあればまず「チャットボット」に入力してみましょう。「スクーリングの申込み方法は?」「何から始めればよい?」など気軽に質問できます。「コンシェルジュ (質問フォーム)」では詳細な相談や質問が可能です。



## パソコンスキル・インターネット環境（全学科・コース共通）

学習を進めるには、インターネットへの接続環境が整ったパソコンが必要です(4ページ「出願資格」参照)。

### スキルレベル

文字入力や作成したファイルのアップロード、インターネット閲覧、メールの送受信等、基本的なパソコンやWebの操作ができれば問題ありません。文字のコピー & ペースト、作成した文書や資料をPDFに変換（ファイル形式を指定して保存）、Zoom（オンライン会議システム）でのファイル共有もできると良いですが、学習を進める中で慣れていっていただければ結構です。

入学後、新入生ガイダンス等でも本学学習システム利用に関する基本的な操作方法等について説明する機会を設けます。その他ご不明な点がありましたら事務局までお問い合わせください。

### 推奨機材

画面の見やすさ(画面サイズ)や文字入力のしやすさ(キーボードの有無)を考慮してご自身に合った端末を選んでください。カメラ・マイクが使用できるパソコンを推奨します。基本的には事務作業向けのパソコンで十分です。パソコン等については4月中をめどにご準備いただければ結構です。

※一部コースではパソコン機材の指定あり(27ページ「アプリケーションソフト等」参照)。

### システム要件

| デバイス        | 対象OS                | ブラウザ                                |
|-------------|---------------------|-------------------------------------|
| Windows PC  | Windows 11以降        | Google Chrome(推奨)<br>Microsoft Edge |
| Mac PC      | macOS 13 Ventura 以降 | Google Chrome(推奨)<br>Safari         |
| iPhone・iPad | iOS 14 以降           | Google Chrome(推奨)<br>Safari         |
| Android端末   | Android 13以降        | Google Chrome(推奨)                   |

※ブラウザはいずれも最新版を使用してください。

※ブラウザの設定で、Cookieを有効にする必要があります。Cookieが無効の場合、airUの一部が正常に動作しないことがあります。

※今後のOSやブラウザ、本学システムのバージョンアップに伴い、システム要件も変更となる場合があります。

※セキュリティの観点から、できるだけ最新のOSにアップデートするようにしてください。

### アプリケーション

レポート作成にあたってはそれなりの長文を執筆しますので、Microsoft Word等のテキストエディタを使用できると良いでしょう。遠隔スクーリングではオンライン会議システムの「Zoom」を使用します。最新のシステム要件については以下ZoomのWebサイトをご確認ください。

なお、コースによっては特殊なアプリケーションを使用するなど、別途要件を指定しています(27～31ページ参照)。

・Zoom サポート(<https://support.zoom.com/hc/ja>)

### インターネット環境

Web利用にあたっては別途通信料がかかります。定額の高速光回線を推奨します。

### システムの言語環境

海外でパソコンをご利用の場合は、日本語版OSのみご利用いただけます。また、ブラウザの設定も日本語に設定していただく必要があります。タブレットやスマートフォンの場合は、言語環境を日本語に設定していただく必要があります。

## 課題提出期間および単位修得試験期間

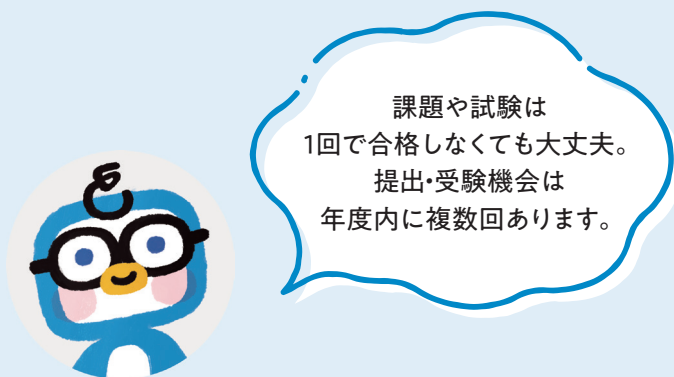
科目はそれぞれ春夏秋冬3ヶ月ごとに提出期間が設定されています。期間中はいつでも提出可能です。

|    |                     | 春期                   |                   |                | 夏期             |                   |                | 秋期               |                   |                  | 冬期             |                   |                |
|----|---------------------|----------------------|-------------------|----------------|----------------|-------------------|----------------|------------------|-------------------|------------------|----------------|-------------------|----------------|
|    |                     | 4月                   | 5月                | 6月             | 7月             | 8月                | 9月             | 10月              | 11月               | 12月              | 1月             | 2月                | 3月             |
| TR | テキスト<br>レポート<br>科目  | レポート                 |                   | 試験             | レポート           |                   | 試験             | レポート             |                   | 試験               | レポート           |                   | 試験             |
|    |                     | 4/21 ~<br>4/30       |                   | 6/1 ~<br>6/8   | 7/21 ~<br>7/30 |                   | 9/1 ~<br>9/8   | 10/21 ~<br>10/30 |                   | 12/1 ~<br>12/8   | 1/21 ~<br>1/30 |                   | 3/1 ~<br>3/8   |
| TW | テキスト<br>作品科目        | 作品                   | 作品                |                | 作品             | 作品                |                | 作品               | 作品                |                  | 作品             | 作品                |                |
|    |                     | 4/11 ~<br>4/20       | 5/11 ~<br>5/20    |                | 7/11 ~<br>7/20 | 8/11 ~<br>8/20    |                | 10/11 ~<br>10/20 | 11/11 ~<br>11/20  |                  | 1/11 ~<br>1/20 | 2/11 ~<br>2/20    |                |
| TX | テキスト<br>特別科目        | 課題の提出期間は科目により設定されます。 |                   |                |                |                   |                |                  |                   |                  |                |                   |                |
| WS | Web<br>スクーリング<br>科目 |                      | レポート<br>または<br>作品 | 全体<br>講評       |                | レポート<br>または<br>作品 | 全体<br>講評       |                  | レポート<br>または<br>作品 | 全体<br>講評         |                | レポート<br>または<br>作品 | 全体<br>講評       |
|    |                     |                      | 5/21 ~<br>5/28    | 6/13 ~<br>6/20 |                | 8/21 ~<br>8/28    | 9/13 ~<br>9/20 |                  | 11/21 ~<br>11/28  | 12/13 ~<br>12/20 |                | 2/21 ~<br>2/28    | 3/13 ~<br>3/20 |

※基本日程を記載しています。暦の関係等で一部前後する場合があります。

※単位修得試験は、Web受験のみです。

※WS科目は科目により、「春期・秋期」または「夏期・冬期」の開講です。



課題や試験は  
1回で合格しなくても大丈夫。  
提出・受験機会は  
年度内に複数回あります。

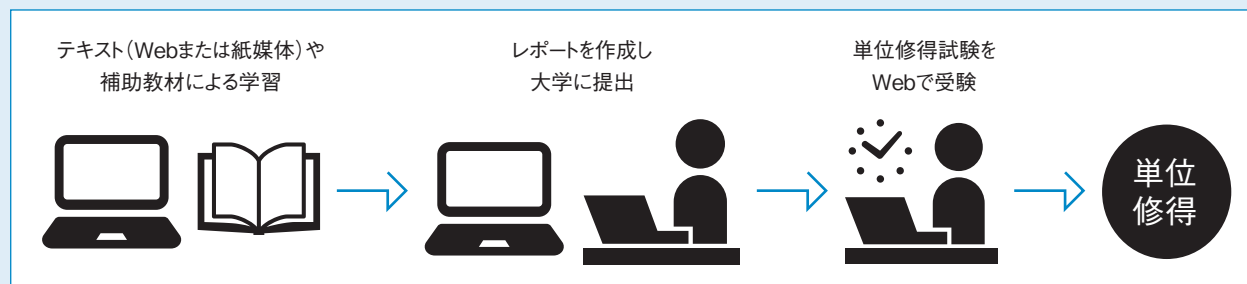
## 履修形態（科目の種類と学び方）

通信教育における開講科目は、「テキスト科目」と「スクーリング科目」に大きく分けられます。

本学通信教育課程では自宅学習や対面授業、レポートや作品など課題によって科目の形態が6種類あります。

|          |                 |         |                        |
|----------|-----------------|---------|------------------------|
| テキスト科目   | TR（テキストレポート科目）  | 自宅学習    | レポート課題と単位修得試験がある科目     |
|          | TW（テキスト作品科目）    |         | 作品課題の科目                |
|          | TX（テキスト特別科目）    |         | 卒業関連科目、論文研究など特別な科目     |
| スクーリング科目 | WS（Webスクーリング科目） | 対面/遠隔授業 | Web上での動画学習と課題提出がある科目   |
|          | S（スクーリング科目）     |         | 対面/遠隔授業のある科目           |
|          | GS（藝術学舎科目）      |         | 本学が開講する公開講座藝術学舎を受講する科目 |

## TR（テキストレポート科目）



テキストや補助教材をもとに自宅で学習します。テキストを読み、あたえられた課題についてレポート（3,200文字程度／2単位科目）を作成。レポートは教員からの添削講評文とともに返却されます。レポート合格後に単位修得試験を受験できます。レポート、単位修得試験に合格すれば単位修得です。

課題の提出方法は原則「Webのみ」ですが、一部「郵送等のみ」の科目があります。郵送等は京都瓜生山キャンパスでの窓口提出も含まれます。

### 単位修得試験

レポート合格後、単位修得試験が受験可能です。単位修得試験はWebでのみ受験できます。1科目につき、60分間の論述形式（あたえられた課題について自らの考えを述べる形式）の試験が中心です。本人認証を経て学習用Webサイト「airUマイページ」で受験します。

## TW（テキスト作品科目）

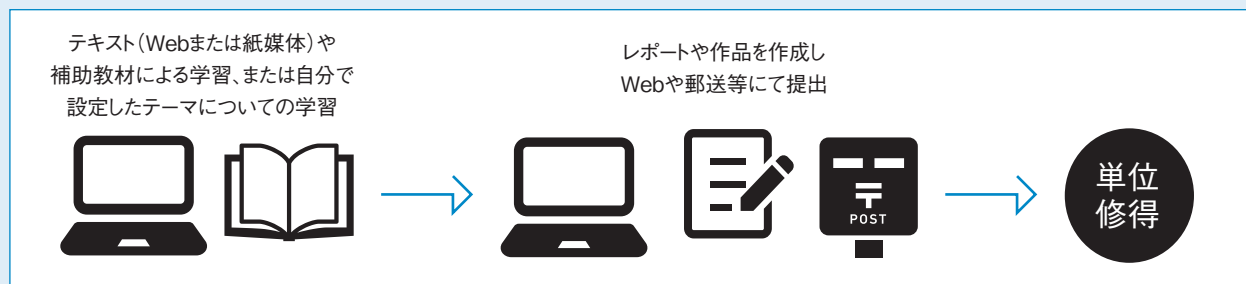


テキストや補助教材をもとに自宅で学習します。テキストを読み、あたえられた課題について作品を作成。添削講評文と、課題によっては作品のコピーやデータに教員のコメントが書き込まれたものとともに返却されます。

課題の提出方法は科目により、「Webのみ」「Webと郵送等」「郵送等のみ」があります。郵送等は京都瓜生山キャンパスでの窓口提出も含まれます。



## TX（テキスト特別科目）



テキストや補助教材をもとに自宅学習、または自分で設定したテーマについて学習します。あたえられた課題についてレポートや作品を作成。レポートや作品は教員からの添削講評文とともに返却されます。科目によって、開講スケジュールや課題の提出期間が異なるなど、取り組み方はさまざまです。卒業関連科目、論文研究などの特別な科目が該当します。

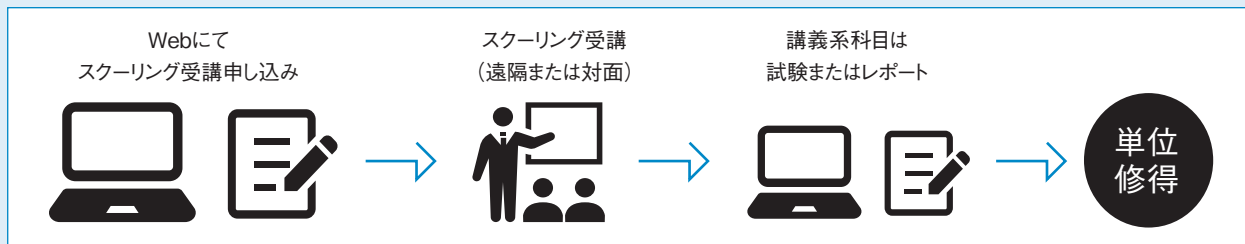
課題の提出方法は科目により、「Webのみ」「Webと郵送等」「郵送等のみ」があります。郵送等は京都瓜生山キャンパスでの窓口提出も含まれます。芸術教養学科、文化コンテンツ創造学科はすべて「Webのみ」です。

## WS（Webスクーリング科目）



動画教材とテキストを組み合わせる学習します。動画教材を視聴し終えたら、科目によってレポート試験または作品課題を提出し、「全体講評」動画を視聴することですべての授業が終了します。レポート試験のボリュームは科目により異なりますが、800～1,600字程度です。

## S（スクーリング科目）



科目ごとに指定された開講日・開講形態を各自選択するリアルタイム授業です。事前にスクーリング受講申し込みをした上で履修します。開講形態は遠隔もしくは対面（京都、東京）のいずれかを科目ごとに選択して受講します。<sup>※1</sup>スクーリング科目の一部には事前課題や事前学習がありますので、受講前までに取り組んでください。また、講義系科目はスクーリング最終日の筆記試験または授業後のレポート提出（原則Web提出）が必要な科目があります。

※芸術教養学科の方は受講できません。

※1：文化コンテンツ創造学科所属コースの「コース専門教育科目スクーリング（遠隔）」は履修形態が異なり、受講申し込みも不要です。

41ページ「文化コンテンツ創造学科 各コース専門教育科目 | スクーリング科目（遠隔）」をご参照ください。



◀ 2025年度スクーリング  
日程表(PDF)は  
12月下旬に  
WEBサイトに掲載します。

### スクーリングの申し込み方法

3ヶ月に1回、年4回の申込期間を設けています。定員を超える受講申込みがあった場合には、抽選になる場合があります。また、申込者が少ない場合、日程変更をお願いする場合や開講を取りやめることがあります。定員に空きのある科目については開講日のおおよそ40～5日前まで追加募集を行います。

### スクーリングのキャンセル料

申し込みをしたスクーリングを受講許可後にキャンセルする場合、キャンセル料（スクーリング受講料の10～100%）が発生します。なお、キャンセル時期によってはスクーリング受講料を一旦引落後に、後日キャンセル料を差し引いた金額を返金する場合があります（振込手数料本人負担）。

### スクーリングの成績

講義系スクーリングの場合、成績評価のため、スクーリング終了後に筆記試験やレポート提出を求められます。演習系スクーリングでは、スクーリング中に制作した成果物の提出や、プレゼンテーションが求められます。スクーリングの成績は、受講態度や課題、試験、提出物、プレゼンテーションの総合評価です。

### スクーリングの日数

1科目あたり基本土日2日間セットの受講です。講義系スクーリングは1単位7.5講時（スクーリングにより+0.5講時の授業後試験あり）、演習系スクーリングは1単位10講時を基準にしています。

以下を基本のパターンとしています。

- 講義系スクーリング（1単位）＝ 3講時（Ⅲ～Ⅴ講時）＋ 5講時（Ⅰ～Ⅴ講時）＝ 2日間<sup>※1</sup>
- 演習系スクーリング（1単位）＝ 5講時（Ⅰ～Ⅴ講時）＋ 5講時（Ⅰ～Ⅴ講時）＝ 2日間<sup>※2</sup>

※1：講義系スクーリングでは事後にレポートに取り組む科目があります。

※2：スクーリングの受講前または事後に5講時相当の事前または事後課題などに取り組む必要があります。

科目により開講の形態が違いますので、「2025年度スクーリング日程表(PDF)」で開講日程を確認してください。

## スクーリング開講時間

| 講時    | 開講時間        |
|-------|-------------|
| I講時   | 9:30～10:50  |
| II講時  | 11:00～12:20 |
| III講時 | 13:20～14:40 |
| IV講時  | 14:50～16:10 |
| V講時   | 16:20～17:40 |

## スクーリング開講形態／会場

選択した日時・開講形態によるリアルタイム授業です。遠隔(オンラインリアルタイム)、京都、東京のいずれかをメインに会場と日程を選択します。1科目あたり土日2日間セットの受講になります。

|     |                                    |
|-----|------------------------------------|
| 遠隔* | Zoom (オンライン会議システム)等を利用したリアルタイムでの受講 |
| 京都  | 「瓜生山キャンパス」等、京都市内の本学施設を中心に開講。       |
| 東京  | 「東京外苑キャンパス」 ※他会場で開講する場合があります。      |

※遠隔授業の場合も対面授業と同じく申し込みが必要です。

※受講許可者にZoomのIDやパスワード等をお知らせしますので、スクーリング開講日に指定のURLに接続またはミーティングルームに入室して受講します。

※遠隔授業受講時は、対面授業と同様に出席・受講状況確認のため、原則カメラをオンにして受講していただきます。

### 文化コンテンツ創造学科 各コース専門教育科目 | スクーリング科目(遠隔)

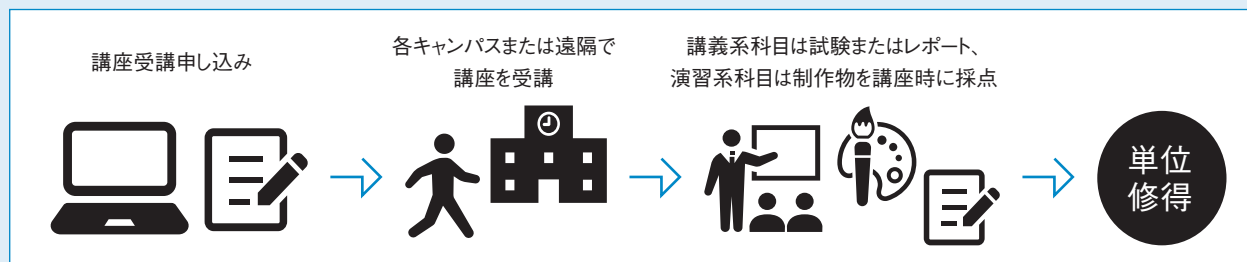
文化コンテンツ創造学科の各コース(文芸、アートライティング、書画、グラフィックデザイン、イラストレーション、映像、食文化デザイン)のコース専門教育科目にある「スクーリング(遠隔)」科目は履修形態が異なっているのでご注意ください。

オンデマンドの動画教材視聴と課題提出をベースに一部リアルタイムによる全体講評などが設けられています。詳細は通信教育部のコースページにてご確認ください。

## 対面スクーリング時の宿泊施設

京都については、各自で手配をお願いします。東京については、本学学生用の特別宿泊料金を設定している東京外苑キャンパス周辺のホテル等を入学後の資料で紹介します。京都や東京以外の一部の地方スクーリングでは、事務局が直接宿泊施設の斡旋を行う場合があります。なお、大学には宿泊施設はありません。

## GS（藝術学舎科目）



藝術学舎は本学が開講している一般公開講座です。隔週（全5回）または2日間集中の開講を基本として、講義やデッサン、美術・デザイン系の制作演習など、年間300講座以上の多彩なプログラムを開講しています。

藝術学舎の講座は本学通信教育部のスクーリング科目として開講しており、これらの講座に合格することで単位を修得できます（単位の認定には上限があり、一部、単位認定の対象外となる講座もあります。詳細は、『藝術学舎講座案内』をご確認ください）。

なお、本学通信教育部の在学学生は講座料が10%割引ですので、単位修得の場として有効に活用してください。

### 藝術学舎

月～土 10：00～16：00（日・祝・学内行事日・年末年始は除く）

URL：https://air-u.kyoto-art.ac.jp/gakusha/ Tel：075-791-9124 E-mail：gakusha@office.kyoto-art.ac.jp

## 学習支援体制

### 入学式

下記の日程で行います。出席は任意ですが、第5期（2025年3月14日（金））までに出席し、合格した方が対象となります。

※入学式はLIVE配信を予定していますので、当日参加が難しい方はLIVE配信を視聴してください。

※入学式・対面ガイダンスは、参加予定者数の把握のため事前申込制にて実施を予定しています。詳細は、学生証と一緒に送付する「入学式・新入生ガイダンスのご案内」、またはairUマイページのお知らせにて内容確認のうえお申し込みください（airUマイページのお知らせには3月下旬掲載予定）。出願時期により、お申込をお受けできない場合もありますので、出席を希望される場合はお早めにご出願ください。

| 開催日     | 開催地／会場      | 学科・コース  |
|---------|-------------|---------|
| 4月5日（土） | 京都／瓜生山キャンパス | 全学科・コース |

### 新入生ガイダンス

学習方法やカリキュラムについて説明を行う「新入生ガイダンス」を下記の日程で行います。いずれも出席は任意ですが、積極的に出席してください。

詳しくは学生証に同封の案内資料にてご確認ください。

#### [2025年度4月入学]

| 開催日   | 開催地／会場      | 学科・コース  |
|---|-------------|---------|
| 4月5日（土）[入学式]                                  | 京都／瓜生山キャンパス | 全学科・コース |
| 4月13日（日）                                      | 東京／外苑キャンパス  |         |
| 5月にオンラインでのガイダンスを予定<br>日程など詳細は入学後の案内資料をご確認ください |             |         |

※当日ガイダンスに参加できない方向けに、別途学習用Webサイト「airUマイページ」にガイダンス資料を掲載予定です。

## 学習用Webサイト「airUマイページ」

- 学習スケジュールの作成・管理
- テキスト科目、Webスクーリング科目、スクーリング科目の学習
- 履修状況の確認
- シラバス(科目概要)の閲覧
- 各種手続きのための書式ダウンロード
- スクーリングの申込、情報閲覧
- チャットボット(AIによる自動応答)

※4月1日に、出願用から学習用に表示が変わります。ただし、第6期合格者は4月12日以降となります。

くわしくは  
YouTubeで  
紹介中!



## 学習相談会

Zoomをつかったオンラインや対面(京都・東京キャンパス)などで学習計画の立て方や、学習の進め方、科目の履修についてなどの質問や相談に教職員が直接応える場を随時設けています。学生同士の交流なども兼ねて実施することもあり、実施形態や頻度はコースによって異なります。

## airUコミュニティ (通信教育課程専用SNSアプリ)

本学通信教育課程の在学学生、卒業生、教職員専用のソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)です。事務局や学科・コースからのお知らせやイベント情報の確認ができ、コース内のコミュニティで教員や在学学生と意見交換をしたり、学生同士や卒業生と自由にコミュニティを立ち上げ情報交換や交流ができます。スマートフォンにアプリをダウンロードしPUSH通知を有効にすると、必要な情報が通知されます。

※airUでコミュニティにおける交流・学習は実名です。あらかじめご了承ください。

※4月1日より利用可能となります。ただし、第6期合格者は、4月12日以降となります。

## 『雲母(きらら)』

年4回発行の補助教材です。各研究室教員からのメッセージやアドバイスをお届けします。

## 学習会のサポート

テキスト課題と一緒に取り組んだり、デッサン会やグループ展を催したり等、学生が集まって自主的に行う勉強や発表の機会、「学習会」が全国各地で盛んに行われています。一層の学習効果が高まると判断される等いくつかの条件を満たした場合、大学の費用で教職員を派遣する制度もあります。また、学習会の会場として、京都・東京の両キャンパスの教室の一部を無料で貸し出しています(要申込)。

## 芸術文化情報センター (大学図書館)

図書貸出は10冊を上限に2週間まで行っています。相互利用サービスとして、他大学の図書館や研究機関、国立国会図書館等の蔵書を利用できるサービスもあります。また、東京外苑キャンパス内で本学所蔵の図書資料(一部)を閲覧・複写することも可能です。

# 芸術教養学科 履修科目一覧

芸術教養学科は学部共通専門教育科目、総合教育科目もこのページに記載している科目から選択し履修します(45～55ページに掲載している科目は履修できません)。

履修形態：TR：テキストレポート科目 TX：テキスト特別科目 WS：Webスクーリング科目 GS：藝術学舎科目 (37～42ページ参照)  
配当年次：その年次以上になれば履修できます。

※履修科目一覧は開講を予定している科目です。変更となる場合があります。  
※科目内容については、以下をご確認ください。

<https://www.kyoto-art.ac.jp/t/course/tenohira/curriculum>

## 芸術教養学科専門教育科目

| 履修形態 | 科目名       | 科目紹介   | 単位数 | 配当年次 | 備考 |
|------|-----------|--|-----|------|----|
| TR   | 芸術教養入門    | 芸術教養学科で学ぶ学びとは何か、学習の体系と求められる基本的態度を学びます。             | 1   | 1    |    |
| WS   | 芸術教養講義 1  | 芸術活動の今を端的に示すデザインのありかたとその基本的な思考法を学びます。              | 2   | 1    |    |
| WS   | 芸術教養講義 2  | 私たちの暮らしのリズムを刻むイベントや行事のもつ意義を考察する視点を学びます。            | 2   | 1    |    |
| WS   | 芸術教養講義 3  | 空間から日本の文化の本質を考え、理解するための授業です。                       | 2   | 1    |    |
| WS   | 芸術教養講義 4  | モノや出来事を情報として捉え、俯瞰し整理する編集の考え方を学びます。                 | 2   | 1    |    |
| WS   | 芸術教養講義 5  | 人と人のコミュニケーションの方法や共同作業のデザインについて考えます。                | 2   | 1    |    |
| WS   | 芸術教養講義 6  | 日本や東アジアの暮らしの基層にある伝統文化の成り立ちを反省します。                  | 2   | 1    |    |
| WS   | 芸術教養講義 7  | 伝統的な暮らしのリズムを作る年中行事や通過儀礼について考えます。                   | 2   | 1    |    |
| WS   | 芸術教養講義 8  | 私たちの風土にあわせた暮らしのなかで培われた空間のありかたを学びます。                | 2   | 1    |    |
| WS   | 芸術教養講義 9  | 文物の蒐集と展示を伝統的な編集的思考法として捉えて考察します。                    | 2   | 1    |    |
| WS   | 芸術教養講義 10 | 人や地域をつなぐ文化的交流のさまざまなありかたやその歴史について学びます。              | 2   | 1    |    |
| WS   | 芸術教養講義 11 | 「対話」を通じて、他者・自己・対象との関係を編み直していく考え方や実践について、多面的に学びます。* | 2   | 1    |    |
| WS   | 芸術教養講義 12 | 日本のさまざまな文化における「対話による創造」について、その歴史や特徴を学びます。*         | 2   | 1    |    |
| TR   | 芸術教養研究 1  | 人やグループに焦点をあてて、今日のデザイン・芸術活動の個別例を研究します。              | 2   | 1    |    |
| TR   | 芸術教養研究 2  | 技術に焦点をあてて、今日のデザイン・芸術活動の個別例を研究します。                  | 2   | 1    |    |
| TR   | 芸術教養研究 3  | 特定の人物や集団をとりあげ、その活動や歴史的な影響を考察します。                   | 2   | 1    |    |
| TR   | 芸術教養研究 4  | 特定の技術や産業をとりあげて、その成立や歴史的な推移を考察します。                  | 2   | 1    |    |
| TX   | 芸術教養演習 1  | 指定のカテゴリに沿って地域文化を作る芸術デザイン活動の調査報告を行います。              | 2   | 3    |    |
| TX   | 芸術教養演習 2  | 景観やプロダクト、食文化など皆さんの選択した今日的な芸術環境を調査報告します。            | 2   | 3    |    |
| TX   | 卒業研究      | 地域の特色ある文化資産をプレゼンテーションするレポートを作成、発表します。              | 2   | 4    | 必修 |

※2025年度開講予定

## 学部共通専門教育科目

| 履修形態 | 科目名          | 単位数 | 配当年次 | 備考 | 履修形態 | 科目名            | 単位数 | 配当年次 | 備考 |
|------|--------------|-----|------|----|------|----------------|-----|------|----|
| TR   | 美学概論         | 2   | 1    |    | WS   | 芸術史講義(ヨーロッパ) 1 | 2   | 1    |    |
| TR   | 芸術理論 1       | 2   | 1    |    | WS   | 芸術史講義(ヨーロッパ) 2 | 2   | 1    |    |
| TR   | 芸術理論 2       | 2   | 1    |    | WS   | 芸術史講義(ヨーロッパ) 3 | 2   | 1    |    |
| TX   | 知的財産権研究      | 2   | 1    |    | WS   | 芸術史講義(ヨーロッパ) 4 | 2   | 1    |    |
| TR   | 美術史基礎        | 2   | 1    |    | WS   | 芸術史講義(近現代) 1   | 2   | 1    |    |
| WS   | 芸術史講義(日本) 1  | 2   | 1    |    | WS   | 芸術史講義(近現代) 2   | 2   | 1    |    |
| WS   | 芸術史講義(日本) 2  | 2   | 1    |    | WS   | 芸術史講義(近現代) 3   | 2   | 1    |    |
| WS   | 芸術史講義(日本) 3  | 2   | 1    |    | WS   | 芸術史講義(近現代) 4   | 2   | 1    |    |
| WS   | 芸術史講義(日本) 4  | 2   | 1    |    | TX   | 地域芸術実践 1       | 2   | 1    |    |
| WS   | 芸術史講義(アジア) 1 | 2   | 1    |    | TX   | 地域芸術実践 2       | 2   | 1    |    |
| WS   | 芸術史講義(アジア) 2 | 2   | 1    |    | GS   | 学芸専門講義 1～10*   | 各1  | 1    |    |
| WS   | 芸術史講義(アジア) 3 | 2   | 1    |    | GS   | 学芸専門演習 1～10*   | 各1  | 1    |    |
| WS   | 芸術史講義(アジア) 4 | 2   | 1    |    |      |                |     |      |    |

※「学芸専門講義1～10」「学芸専門演習1～10」は藝術学舎の単位連携科目です。  
※開講科目は予定です。入学後に改めてご確認ください。

## 総合教育科目

| 履修形態 | 科目名     | 単位数 | 配当年次 | 備考 | 履修形態 | 科目名          | 単位数 | 配当年次 | 備考 |
|------|---------|-----|------|----|------|--------------|-----|------|----|
| TR   | ことばと表現  | 1   | 1    |    | TR   | アジア史         | 2   | 1    |    |
| TR   | 論述基礎    | 2   | 1    |    | TR   | 西洋史          | 2   | 1    |    |
| TR   | 外国語 1   | 2   | 1    |    | TR   | 文化研究 1       | 2   | 1    |    |
| TR   | 古典日本語   | 2   | 1    |    | TR   | 文化研究 2       | 2   | 1    |    |
| TR   | 情報      | 2   | 1    |    | TR   | 文化研究 3       | 2   | 1    |    |
| TR   | 音楽      | 2   | 1    |    | TR   | 京都を学ぶ        | 2   | 1    |    |
| TR   | 地域環境論   | 2   | 1    |    | TR   | 地域を探る        | 2   | 1    |    |
| TR   | 生態学     | 2   | 1    |    | TR   | 詩学への案内       | 2   | 1    |    |
| TR   | 都市デザイン論 | 2   | 1    |    | TR   | 哲学への案内       | 2   | 1    |    |
| TR   | 色彩と形    | 2   | 1    |    | TR   | 学際的な知への案内    | 2   | 1    |    |
| TR   | 心理学     | 2   | 1    |    | TR   | 日本の憲法        | 2   | 1    |    |
| TR   | 政治学     | 2   | 1    |    | TX   | 地域環境学演習      | 2   | 1    |    |
| TR   | 経済学     | 2   | 1    |    | TX   | 地域文化学演習      | 2   | 1    |    |
| TR   | 社会学     | 2   | 1    |    | GS   | 学芸基礎講義 1～10* | 各1  | 1    |    |
| TR   | 宗教学     | 2   | 1    |    | GS   | 学芸基礎演習 1～10* | 各1  | 1    |    |
| TR   | 列島考古学   | 2   | 1    |    |      |              |     |      |    |
| TR   | 日本史     | 2   | 1    |    |      |              |     |      |    |

※「学芸基礎講義1～10」「学芸基礎演習1～10」は藝術学舎の単位連携科目です。  
※開講科目は予定です。入学後に改めてご確認ください。

## 履修科目一覧（文化コンテンツ創造学科・芸術学科・美術科・環境デザイン学科）

入学した学科・コースの専門教育科目と学部共通専門教育科目、総合教育科目を履修できます（他学科・コースの専門教育科目は履修できません<sup>※1</sup>）。

履修形態：TR：テキストレポート科目 TW：テキスト作品科目 TX：テキスト特別科目  
S：スクーリング科目 WS：Webスクーリング科目 GS：藝術学舎科目 （37～42ページ参照）

配当年次：その年次以上になれば履修できます。

必修・選択科目：必修：必修科目、選必：選択必修科目

コース：芸：芸術学コース、歴：歴史遺産コース、文：文芸コース、和：和の伝統文化コース、ア：アートライティングコース  
日：日本画コース、洋：洋画コース、陶：陶芸コース、染：染織コース、写：写真コース、書：書画コース  
グ：グラフィックデザインコース、建：建築デザインコース、ラ：ランドスケープデザインコース  
空：空間演出デザインコース、イ：イラストレーションコース、映：映像コース、食：食文化デザインコース

※科目内容については、通信教育部Webサイト(https://www.kyoto-art.ac.jp/t/)の「授業一覧」をご確認ください(2024年12月上旬公開)。

※履修科目一覧は開講を予定している科目です。変更となる場合があります。

※芸術教養学科の履修科目一覧は44ページをご確認ください。

※1：文芸コース、アートライティングコースではそれぞれのコース専門教育科目を一部履修することができます。



◀ 2025年度科目一覧 (PDF)は2024年12月下旬にWEBサイトに掲載します

### 〈文化コンテンツ創造学科〉

#### 文芸コース専門教育科目

| 履修形態  | 科目名      | サブタイトル      | 単位数 | 配当年次 | 備考  |
|-------|----------|-------------|-----|------|-----|
| S(遠隔) | 文芸特講 1   | 文章表現の構造と技法  | 2   | 1    | 文必修 |
| S(遠隔) | 文芸特講 2   | 文脈を読む       | 2   | 1    | 文必修 |
| S(遠隔) | 文芸特講 3   | 古典を読む       | 2   | 1    | 文必修 |
| S(遠隔) | 文芸特講 4   | 小説の構造と技法    | 2   | 1    | 文必修 |
| S(遠隔) | 文芸特講 5   | 編集の構造と技法    | 2   | 1    | 文必修 |
| S(遠隔) | 文芸特講 6   | 小説を読む       | 2   | 1    | 文必修 |
| S(遠隔) | 文芸演習 1   | 対象を観察して書く   | 2   | 1    | 文必修 |
| S(遠隔) | 文芸演習 2   | 小説を書く       | 2   | 1    | 文必修 |
| S(遠隔) | 文芸演習 3   | 文芸批評を書く     | 2   | 1    | 文必修 |
| S(遠隔) | 文芸演習 4   | エッセイを書く     | 2   | 1    | 文必修 |
| S(遠隔) | 文芸演習 5   | 自分の主張を交えて書く | 2   | 1    | 文必修 |
| S(遠隔) | 卒業制作準備   |             | 2   | 4    | 文必修 |
| S(遠隔) | 卒業制作(文芸) |             | 4   | 4    | 文必修 |

#### アートライティングコース専門教育科目

| 履修形態  | 科目名             | サブタイトル         | 単位数 | 配当年次 | 備考  |
|-------|-----------------|----------------|-----|------|-----|
| S(遠隔) | アートライティング特講 1   | アートを書く・文化を編む   | 2   | 1    | ア必修 |
| S(遠隔) | アートライティング特講 2   | 芸術研究の方法論       | 2   | 1    | ア必修 |
| S(遠隔) | アートライティング特講 3   | 現代批評論 歴史・理論・実践 | 2   | 1    | ア必修 |
| S(遠隔) | アートライティング特講 4   | まちを描く          | 2   | 1    | ア必修 |
| S(遠隔) | アートライティング特講 5   | 記録資料と芸術表現      | 2   | 1    | ア必修 |
| S(遠隔) | アートライティング特講 6   | アートパブリッシング     | 2   | 1    | ア必修 |
| S(遠隔) | アートライティング演習 1   | ディスクリプション      | 2   | 1    | ア必修 |
| S(遠隔) | アートライティング演習 2   | クリティカル・エッセイ    | 2   | 1    | ア必修 |
| S(遠隔) | アートライティング演習 4   | インタビューの方法論     | 2   | 1    | ア必修 |
| S(遠隔) | アートライティング演習 5   | 書評を書く          | 2   | 1    | ア必修 |
| S(遠隔) | アートライティング演習 6   | ノンフィクションライティング | 2   | 1    | ア必修 |
| S(遠隔) | 卒業制作準備          |                | 2   | 4    | ア必修 |
| S(遠隔) | 卒業制作(アートライティング) |                | 4   | 4    | ア必修 |

#### 書画コース専門教育科目

| 履修形態  | 科目名       | サブタイトル            | 単位数 | 配当年次 | 備考  |
|-------|-----------|-------------------|-----|------|-----|
| TR    | 書画講義 1    | 書画同源              | 2   | 1    | 書必修 |
| TR    | 書画講義 2    | 書画論               | 2   | 1    | 書必修 |
| TR    | 書画講義 3    | 素材と表現             | 2   | 1    | 書必修 |
| TR    | 書画講義 4    | 余白論               | 2   | 1    | 書必修 |
| TW    | 書画演習I - 1 | 書法1               | 2   | 1    | 書必修 |
| TW    | 書画演習I - 2 | 画法1               | 2   | 1    | 書必修 |
| S(遠隔) | 書画I - 1   | 篆書法・隸書法           | 2   | 1    | 書必修 |
| S(遠隔) | 書画I - 2   | 構図と空間             | 2   | 1    | 書必修 |
| S(遠隔) | 書画II - 1  | 行書法・草書法           | 2   | 1    | 書必修 |
| S(遠隔) | 書画II - 2  | 素材と表現/紙・墨の特性と筆墨表現 | 2   | 1    | 書必修 |

| 履修形態  | 科目名      | サブタイトル   | 単位数 | 配当年次 | 備考        |
|-------|----------|----------|-----|------|-----------|
| TW    | 書画演習Ⅱ-1  | 書法2      | 2   | 2    | 書必修       |
| TW    | 書画演習Ⅱ-2  | 画法2      | 2   | 2    | 書必修       |
| S(遠隔) | 書画Ⅲ-1    | 楷書法・創作法  | 2   | 2    | 書必修       |
| S(遠隔) | 書画Ⅲ-2    | 画稿と創作    | 2   | 2    | 書必修       |
| S(遠隔) | 書画Ⅳ-1    | 書と絵画     | 2   | 2    | 書必修       |
| S(遠隔) | 書画Ⅳ-2    | 古典表現     | 2   | 2    | 書必修       |
| S(遠隔) | 書画Ⅴ-1(書) | 書とデザイン   | 2   | 3    | 書選必(4単位)* |
| S(遠隔) | 書画Ⅴ-2(書) | 書と美術     | 2   | 3    |           |
| S(遠隔) | 書画Ⅴ-3(画) | 抽象表現     | 2   | 3    |           |
| S(遠隔) | 書画Ⅴ-4(画) | 水墨表現と現代性 | 2   | 3    |           |
| S(遠隔) | 卒業制作(書)  |          | 4   | 4    | 書選必(4単位)* |
| S(遠隔) | 卒業制作(画)  |          | 4   | 4    |           |

※「卒業制作(書)」または「卒業制作(画)」いずれかを選択必修。

## グラフィックデザインコース専門教育科目 ※開講予定の科目です。変更となる場合があります。

| 履修形態  | 科目名                 | サブタイトル                   | 単位数 | 配当年次 | 備考  |
|-------|---------------------|--------------------------|-----|------|-----|
| S(遠隔) | グラフィックデザイン概論        | スターター                    | 1   | 1    |     |
| TW    | デザイン基礎1(グラフィックデザイン) | ビジュアル表現基礎1               | 2   | 1    | グ必修 |
| TW    | デザイン基礎2(グラフィックデザイン) | ビジュアル表現基礎2               | 2   | 1    | グ必修 |
| TW    | グラフィックデザイン演習I-1     | タイポグラフィ1                 | 2   | 1    | グ必修 |
| TW    | グラフィックデザイン演習I-2     | フォトディレクション               | 2   | 1    | グ必修 |
| WS    | グラフィックデザインI-1       | タイポグラフィ1                 | 1   | 1    | グ必修 |
| WS    | グラフィックデザインI-2       | タイポグラフィ2                 | 1   | 1    | グ必修 |
| WS    | グラフィックデザインI-3       | ピクトグラム                   | 1   | 1    | グ必修 |
| WS    | グラフィックデザインI-4       | アイデアの基礎                  | 1   | 1    | グ必修 |
| WS    | グラフィックデザインII-1      | CG基礎1—Illustrator        | 1   | 1    | グ必修 |
| WS    | グラフィックデザインII-2      | CG基礎2—PhotoShop          | 1   | 1    | グ必修 |
| TW    | グラフィックデザイン基礎1       | 印刷の基本                    | 2   | 2    | グ必修 |
| TW    | グラフィックデザイン基礎2       | デジタル&Web                 | 2   | 2    | グ必修 |
| TW    | グラフィックデザイン演習II-1    | ロゴデザイン                   | 2   | 2    | グ必修 |
| TW    | グラフィックデザイン演習II-2    | グラフィックデザインの系譜            | 2   | 2    | グ必修 |
| WS    | グラフィックデザインIII-1     | レイアウトデザインと文字組            | 1   | 2    | グ必修 |
| WS    | グラフィックデザインIII-2     | コピーライティングと広告             | 1   | 2    | グ必修 |
| WS    | グラフィックデザインIII-3     | モーショングラフィックス             | 1   | 2    | グ必修 |
| WS    | グラフィックデザインIII-4     | インフォメーショングラフィックス         | 1   | 2    | グ必修 |
| WS    | グラフィックデザインIV-1      | 観察発想アイデアの応用              | 1   | 2    | グ必修 |
| WS    | グラフィックデザインIV-2      | ブランディングデザイン              | 1   | 2    | グ必修 |
| TW    | グラフィックデザイン演習III-1   | 情報編集                     | 2   | 3    | グ必修 |
| TW    | グラフィックデザイン演習III-2   | ブランディング・ディレクション          | 2   | 3    | グ必修 |
| WS    | グラフィックデザインV-1       | パッケージとプロモーションデザイン        | 1   | 3    | グ必修 |
| WS    | グラフィックデザインV-2       | アドバタイジングデザイン             | 1   | 3    | グ必修 |
| WS    | グラフィックデザインV-3       | エディトリアルデザイン              | 1   | 3    | グ必修 |
| WS    | グラフィックデザインV-4       | デジタルコンテンツ                | 1   | 3    | グ必修 |
| WS    | グラフィックデザインV-5       | 映像表現                     | 1   | 3    | グ必修 |
| WS    | グラフィックデザインV-6       | サインデザイン                  | 1   | 3    | グ必修 |
| TX    | グラフィックデザイン演習IV      | 卒業制作プレゼンテーションブック/ポートフォリオ | 4   | 4    | グ必修 |
| S(遠隔) | 卒業制作(グラフィックデザイン)    |                          | 6   | 4    | グ必修 |

## イラストレーションコース専門教育科目

| 履修形態 | 科目名                | サブタイトル         | 単位数 | 配当年次 | 備考  |
|------|--------------------|----------------|-----|------|-----|
| TW   | デザイン基礎1(イラストレーション) | 美術解剖学          | 2   | 1    | イ必修 |
| TW   | デザイン基礎2(イラストレーション) | レイアウト・構図       | 2   | 1    | イ必修 |
| TW   | イラストレーション演習I-1     | メインビジュアル       | 2   | 1    | イ必修 |
| TW   | イラストレーション演習I-2     | キャリア論          | 2   | 1    | イ必修 |
| WS   | イラストレーションI-1       | デジタル演習AI       | 1   | 1    | イ必修 |
| WS   | イラストレーションI-2       | クロッキーI(ヌード)    | 1   | 1    | イ必修 |
| WS   | イラストレーションI-3       | 色彩基礎           | 1   | 1    | イ必修 |
| WS   | イラストレーションII-1      | デジタル演習BI       | 1   | 1    | イ必修 |
| WS   | イラストレーションII-2      | 人物キャラクター基礎I    | 1   | 1    | イ必修 |
| WS   | イラストレーションII-3      | イラスト実習I        | 1   | 1    | イ必修 |
| TW   | イラストレーション基礎1       | アニメーション        | 2   | 2    | イ必修 |
| TW   | イラストレーション基礎2       | 書籍イラスト         | 2   | 2    | イ必修 |
| TW   | イラストレーション演習II-1    | 世界観表現・コンセプトアート | 2   | 2    | イ必修 |
| TW   | イラストレーション演習II-2    | アートディレクション     | 2   | 2    | イ必修 |
| WS   | イラストレーションIII-1     | デジタル演習AII      | 1   | 2    | イ必修 |



| 履修形態  | 科目名             | サブタイトル         | 単位数 | 配当年次 | 備考  |
|-------|-----------------|----------------|-----|------|-----|
| WS    | イラストレーションⅢ- 2   | クロッカーⅡ(着衣)     | 1   | 2    | イ必修 |
| WS    | イラストレーションⅢ- 3   | 背景画            | 1   | 2    | イ必修 |
| WS    | イラストレーションⅣ- 1   | デジタル演習BⅡ       | 1   | 2    | イ必修 |
| WS    | イラストレーションⅣ- 2   | 人物キャラクター基礎Ⅱ    | 1   | 2    | イ必修 |
| WS    | イラストレーションⅣ- 3   | イラスト実習Ⅱ        | 1   | 2    | イ必修 |
| TW    | イラストレーション演習Ⅲ- 1 | ビジュアルストーリーテリング | 2   | 3    | イ必修 |
| TW    | イラストレーション演習Ⅲ- 2 | ゲームイラスト        | 2   | 3    | イ必修 |
| WS    | イラストレーションⅤ- 1   | 業界知識・情報発信      | 1   | 3    | イ必修 |
| WS    | イラストレーションⅤ- 2   | デジタル着彩         | 1   | 3    | イ必修 |
| WS    | イラストレーションⅤ- 3   | デフォルメ表現        | 1   | 3    | イ必修 |
| WS    | イラストレーションⅤ- 4   | コンテンツプロデュース    | 1   | 3    | イ必修 |
| WS    | イラストレーションⅤ- 5   | キャラクターデザイン     | 1   | 3    | イ必修 |
| WS    | イラストレーションⅤ- 6   | イラスト実習Ⅲ        | 1   | 3    | イ必修 |
| TX    | イラストレーション演習Ⅳ    | ポートフォリオ        | 4   | 4    | イ必修 |
| S(遠隔) | 卒業制作(イラストレーション) |                | 6   | 4    | イ必修 |

## 映像コース専門教育科目

| 履修形態  | 科目名      | サブタイトル                   | 単位数 | 配当年次 | 備考  |
|-------|----------|--------------------------|-----|------|-----|
| TR    | 映像講義 1   | コンテンツビジネス論               | 2   | 1    | 映必修 |
| TR    | 映像講義 2   | 映像と向き合う                  | 2   | 1    | 映必修 |
| TW    | 映像基礎 1   | 映像思考概論 1                 | 2   | 1    | 映必修 |
| TW    | 映像演習Ⅰ- 1 | 企画のつくり方                  | 2   | 1    | 映必修 |
| TW    | 映像演習Ⅰ- 2 | 技術を知る(撮影・照明)             | 2   | 1    | 映必修 |
| WS    | 映像Ⅰ- 1   | 映像学入門                    | 2   | 1    | 映必修 |
| WS    | 映像Ⅰ- 2   | 企画の方程式                   | 2   | 1    | 映必修 |
| WS    | 映像Ⅱ- 1   | 映像制作概論 1(ミュージックビデオ・広告)   | 2   | 1    | 映必修 |
| WS    | 映像Ⅱ- 2   | 映像制作概論 2(エンターテイメント・コメディ) | 2   | 1    | 映必修 |
| TW    | 映像基礎 2   | 映像思考概論 2                 | 2   | 2    | 映必修 |
| TW    | 映像演習Ⅱ- 1 | シナリオライティング演習             | 2   | 2    | 映必修 |
| TW    | 映像演習Ⅱ- 2 | 技術を知る(編集・サウンド)           | 2   | 2    | 映必修 |
| WS    | 映像Ⅲ- 1   | シナリオライティング               | 2   | 2    | 映必修 |
| WS    | 映像Ⅳ- 1   | ドラマ・映画                   | 2   | 2    | 映必修 |
| WS    | 映像Ⅳ- 2   | アニメーション                  | 2   | 2    | 映必修 |
| TW    | 映像演習Ⅲ- 1 | アイデアをデザインする              | 2   | 3    | 映必修 |
| TW    | 映像演習Ⅲ- 2 | 技術を知る(モーショングラフィックスと応用)   | 2   | 3    | 映必修 |
| WS    | 映像Ⅴ- 1   | 社会を変える企画                 | 2   | 3    | 映必修 |
| WS    | 映像Ⅴ- 2   | ノンフィクション                 | 2   | 3    | 映必修 |
| WS    | 映像Ⅴ- 3   | メディアとアート                 | 2   | 3    | 映必修 |
| TX    | 映像演習Ⅳ    | プレゼンテーション                | 4   | 4    | 映必修 |
| S(遠隔) | 卒業制作(映像) | 卒業制作                     | 4   | 4    | 映必修 |

## 食文化デザインコース専門教育科目

| 履修形態  | 科目名           | サブタイトル       | 単位数 | 配当年次 | 備考  |
|-------|---------------|--------------|-----|------|-----|
| TW    | 食文化デザイン基礎 1   | おいしさの科学      | 2   | 1    | 食必修 |
| TW    | 食文化デザイン基礎 2   | 味覚の科学        | 2   | 1    | 食必修 |
| TW    | 食文化デザイン演習Ⅰ- 1 | フードデザイン基礎    | 2   | 1    | 食必修 |
| TW    | 食文化デザイン演習Ⅰ- 2 | 食卓の民俗学       | 2   | 1    | 食必修 |
| WS    | 食文化デザインⅠ- 1   | 食文化デザイン入門    | 2   | 1    | 食必修 |
| WS    | 食文化デザインⅠ- 2   | 食べるということ     | 2   | 1    | 食必修 |
| WS    | 食文化デザインⅡ- 1   | 日本の食らしさとは    | 2   | 1    | 食必修 |
| WS    | 食文化デザインⅡ- 2   | 世界の食探究       | 2   | 1    | 食必修 |
| TW    | 食文化デザイン基礎 3   | 食の鑑賞法        | 2   | 2    | 食必修 |
| TW    | 食文化デザイン基礎 4   | 持続可能な食との関係   | 2   | 2    | 食必修 |
| TW    | 食文化デザイン演習Ⅱ- 1 | フードデザイン実践    | 2   | 2    | 食必修 |
| TW    | 食文化デザイン演習Ⅱ- 2 | おいしさの食体験デザイン | 2   | 2    | 食必修 |
| WS    | 食文化デザインⅢ- 1   | 日本の食と知恵      | 2   | 2    | 食必修 |
| WS    | 食文化デザインⅣ- 1   | 食の器と道具       | 2   | 2    | 食必修 |
| WS    | 食文化デザインⅣ- 2   | 食美学          | 2   | 2    | 食必修 |
| TW    | 食文化デザイン演習Ⅲ- 1 | フードメディア      | 2   | 3    | 食必修 |
| TW    | 食文化デザイン演習Ⅲ- 2 | 食の地域価値共創     | 2   | 3    | 食必修 |
| WS    | 食文化デザインⅤ- 1   | 食の未来ビジョン     | 2   | 3    | 食必修 |
| WS    | 食文化デザインⅤ- 2   | フードビジネス構築    | 2   | 3    | 食必修 |
| WS    | 食文化デザインⅤ- 3   | ガストロノミー・リズム  | 2   | 3    | 食必修 |
| TX    | 食文化デザイン演習Ⅳ    | プレゼンテーション    | 4   | 4    | 食必修 |
| S(遠隔) | 卒業制作(食文化デザイン) |              | 4   | 4    | 食必修 |

## 〈芸術学科〉

## 芸術学科専門教育科目 ※芸術学・歴史遺産・和の伝統文化のみ履修可能。

| 履修形態 | 科目名     | 単位数 | 配当年次 | 備考  |
|------|---------|-----|------|-----|
| TR   | 芸術学基礎   | 2   | 1    | 芸必修 |
| TR   | 美術史学基礎  | 2   | 1    | 芸必修 |
| TR   | 地域芸術理論  | 2   | 1    |     |
| S    | 芸術学概論   | 1   | 1    | 芸必修 |
| S    | 日本美術論   | 1   | 1    |     |
| S    | 西洋美術論   | 1   | 1    |     |
| S    | アジア美術論  | 1   | 1    |     |
| S    | 美術史学概論  | 1   | 1    | 芸必修 |
| S    | 音楽文化論   | 1   | 1    |     |
| TR   | 京都学入門   | 2   | 1    | 歴必修 |
| TR   | 史料学基礎   | 2   | 1    | 歴必修 |
| TR   | 史料講読基礎  | 2   | 1    | 歴必修 |
| S    | 京都の歴史   | 1   | 1    | 歴必修 |
| S    | 文献資料講読  | 1   | 1    | 歴必修 |
| S    | 京都学研修1  | 1   | 1    |     |
| S    | 京都学研修2  | 1   | 1    |     |
| S    | 江戸の歴史   | 1   | 1    |     |
| TR   | 日本文化の源流 | 2   | 1    |     |

| 履修形態 | 科目名         | 単位数 | 配当年次 | 備考    |
|------|-------------|-----|------|-------|
| TR   | 日本文化と東アジア   | 2   | 1    |       |
| TR   | 日本の生活文化     | 2   | 1    |       |
| S    | 詩歌と日本文化     | 1   | 1    | 和必修   |
| S    | 伝統芸能と工芸     | 1   | 1    | 和必修   |
| S    | 室礼ともてなし     | 1   | 1    | 和必修   |
| S    | 伝統芸能の諸相     | 1   | 1    | 和必修   |
| S    | 花道文化の展開     | 1   | 1    | 和必修   |
| S    | 伝統文化の空間     | 1   | 1    | 和必修   |
| S    | アカデミックスキル入門 | 1   | 1    |       |
| TX   | 論文研究基礎演習    | 2   | 2    |       |
| S    | 論文研究基礎      | 1   | 2    | 歴必須   |
| TX   | 論文研究I-2     | 1   | 3    | 芸歴和必修 |
| TX   | 論文研究II-2    | 1   | 3    | 芸歴和必修 |
| S    | 論文研究I-1     | 1   | 3    | 芸歴和必修 |
| S    | 論文研究II-1    | 1   | 3    | 芸歴和必修 |
| S    | 論文研究特論      | 1   | 3    | 歴必修   |
| TX   | 論文研究III     | 2   | 4    |       |
| TX   | 卒業研究        | 8   | 4    | 芸歴和必修 |

## 芸術学コース専門教育科目

| 履修形態 | 科目名       | サブタイトル            | 単位数 | 配当年次 | 備考       |
|------|-----------|-------------------|-----|------|----------|
| TR   | 芸術論I-1    | 芸術学入門             | 2   | 1    | 芸必修      |
| TR   | 芸術論I-3    | 芸術鑑賞1:日本・東洋       | 2   | 1    | 芸必修      |
| TR   | 芸術論I-4    | 芸術鑑賞2:西洋          | 2   | 1    | 芸必修      |
| TR   | 芸術論I-5    | 美術館・博物館の教育普及      | 2   | 1    |          |
| TR   | 芸術学演習I-2  | 美術批評              | 2   | 1    | 芸必修      |
| TR   | 芸術学資料論I-1 | 資料の講読:日本・東洋       | 2   | 1    |          |
| TR   | 芸術学資料論I-2 | 資料の講読:西洋          | 2   | 1    | 芸選必(2単位) |
| S    | 芸術学研修     |                   | 1   | 1    | 芸必修      |
| S    | 芸術学実践     |                   | 1   | 1    | 芸必修      |
| S    | 芸術学III-1  | 美術資料の読み方:日本・東洋    | 1   | 1    | 芸必修      |
| S    | 芸術学III-2  | 美術資料の読み方:西洋       | 1   | 1    | 芸必修      |
| S    | 芸術学I-1    | 芸術理論:芸術環境を巡る諸問題   | 1   | 1    |          |
| S    | 芸術学I-2    | 芸術理論:芸術学原論(祭礼と感性) | 1   | 1    |          |
| S    | 芸術学I-3    | 芸術理論:舞踊論          | 1   | 1    | 芸選必(2単位) |
| S    | 芸術学I-4    | 芸術理論:表象行為論        | 1   | 1    |          |
| S    | 芸術学I-5    | 芸術理論:視覚文化論        | 1   | 1    |          |
| S    | 芸術学II-1   | 芸術史:写真の諸相         | 1   | 1    |          |
| S    | 芸術学II-2   | 芸術史:西洋芸術史の諸問題     | 1   | 1    |          |
| S    | 芸術学II-3   | 芸術史:日本芸術史の諸問題     | 1   | 1    | 芸選必(2単位) |
| S    | 芸術学II-4   | 芸術史:東洋芸術史の諸問題     | 1   | 1    |          |
| S    | 芸術学II-5   | 芸術史:西洋音楽の諸相       | 1   | 1    |          |

## 歴史遺産コース専門教育科目

| 履修形態 | 科目名           | サブタイトル        | 単位数 | 配当年次 | 備考       |
|------|---------------|---------------|-----|------|----------|
| TR   | 歴史遺産学基礎講義     | 京都学           | 2   | 1    | 歴必修      |
| TR   | 歴史遺産学I-1      | 信仰と文化の歴史      | 2   | 1    | 歴必修      |
| TR   | 歴史遺産学I-3      | 考古学研究         | 2   | 1    |          |
| TR   | 歴史遺産学II-1     | 文化財保存修復概論     | 2   | 1    | 歴必修      |
| TR   | 歴史遺産学II-3     | 世界遺産学         | 2   | 1    | 歴必修      |
| TR   | 史料講読応用        | 返り点のない活字史料の読解 | 2   | 1    |          |
| TR   | 古文書入門         | 文献史料に慣れ親しむ    | 2   | 1    |          |
| S    | 歴史遺産フィールドワーク1 | 中世鎌倉を歩く       | 1   | 1    |          |
| S    | 歴史遺産フィールドワーク2 | 京都大原を訪ねて      | 1   | 1    | 歴選必(1単位) |
| S    | 歴史遺産学概論       | ものところの歴史遺産    | 1   | 1    | 歴必修      |
| S    | 歴史遺産II-1      | 文化財の保存と活用     | 1   | 1    | 歴必修      |
| S    | 歴史遺産II-2      | 文化財と保存修理      | 1   | 1    | 歴必修      |
| S    | 歴史遺産II-4      | 世界遺産 比叡山延暦寺   | 1   | 1    |          |

| 履修形態 | 科目名     | サブタイトル        | 単位数 | 配当年次 | 備考       |
|------|---------|---------------|-----|------|----------|
| S    | 歴史遺産Ⅲ-1 | 美術品の調査方法      | 1   | 1    | 歴選必(1単位) |
| S    | 歴史遺産Ⅲ-2 | 民俗文化の調査方法     | 1   | 1    |          |
| S    | 歴史遺産Ⅲ-3 | 中世～近世 活字史料の読解 | 1   | 1    | 歴必修      |
| S    | 歴史遺産Ⅲ-5 | くずし字史料の読解     | 1   | 1    |          |

## 和の伝統文化コース専門教育科目

| 履修形態 | 科目名        | サブタイトル   | 単位数 | 配当年次 | 備考  |
|------|------------|----------|-----|------|-----|
| TR   | 伝統文化基礎講義   | 伝統文化の考え方 | 2   | 1    | 和必修 |
| TR   | 伝統文化論I-1   | 和歌連歌     | 2   | 1    | 和必修 |
| TR   | 伝統文化論I-2   | 中世芸能     | 2   | 1    | 和必修 |
| TR   | 伝統文化論I-3   | 近世芸能     | 2   | 1    | 和必修 |
| TR   | 伝統文化論II-2  | 茶道       | 2   | 1    | 和必修 |
| TR   | 伝統文化論II-3  | 煎茶道      | 2   | 1    | 和必修 |
| TR   | 伝統文化論II-4  | 花道       | 2   | 1    | 和必修 |
| S    | 伝統文化入門     | 伝統文化の学び方 | 1   | 1    | 和必修 |
| S    | 伝統文化研修     |          | 1   | 1    | 和必修 |
| S    | 伝統文化実践I-1  | 鑑賞と批評    | 1   | 1    | 和必修 |
| S    | 伝統文化実践I-4  | 室礼と道具    | 1   | 1    | 和必修 |
| S    | 伝統文化実践II-1 | 伝統邦楽     | 1   | 1    |     |
| S    | 伝統文化実践II-3 | 伝統芸能     | 1   | 1    |     |
| S    | 伝統文化実践II-4 | 茶の文化     | 1   | 1    |     |
| S    | 伝統文化I-2    | 日本の芸能    | 1   | 1    |     |
| S    | 伝統文化I-4    | ことばと文化   | 1   | 1    |     |
| S    | 伝統文化II-2   | 煎茶の世界    | 1   | 1    |     |
| S    | 伝統文化II-4   | 伝統文化の諸問題 | 1   | 1    |     |

## 〈美術科〉

### 日本画コース専門教育科目

| 履修形態 | 科目名                    | サブタイトル                        | 単位数 | 配当年次 | 備考       |
|------|------------------------|-------------------------------|-----|------|----------|
| TW   | 日本画演習I-1               | 鉛筆による細密描写／色鉛筆による細密描写(1)       | 2   | 1    | 日必修      |
| TW   | 日本画演習I-2               | 色鉛筆による細密描写(2)／色鉛筆と水干・岩絵具による制作 | 2   | 1    | 日必修      |
| S    | 日本画I-1                 | 鉛筆写生                          | 1   | 1    | 日必修      |
| S    | 日本画I-2                 | 色鉛筆写生                         | 1   | 1    | 日必修      |
| S    | 日本画I-3                 | 制作の基本                         | 1   | 1    | 日必修      |
| S    | 日本画II-1                | 水干・岩絵具併用による制作                 | 2   | 1    | 日必修      |
| S    | 日本画II-3                | 模写制作                          | 1   | 1    | 日必修      |
| TW   | 日本画演習II-1              | 静物制作のための写生／水干・岩絵具による静物制作      | 2   | 2    | 日必修      |
| TW   | 日本画演習II-2              | 樹木の写生／花か実のある植物写生              | 2   | 2    | 日必修      |
| S    | 日本画III-1               | 植物写生                          | 1   | 2    | 日必修      |
| S    | 日本画III-2               | 植物制作                          | 2   | 2    | 日必修      |
| S    | 日本画IV-1                | 剥製写生                          | 1   | 2    | 日必修      |
| S    | 日本画IV-2                | 剥製制作                          | 2   | 2    | 日必修      |
| TW   | 日本画演習III-1             | 自画像素描および写生／上半身自画像制作           | 2   | 3    | 日必修      |
| TW   | 日本画演習III-2             | 身近な風景の写生／身近な風景の制作             | 2   | 3    | 日必修      |
| S    | 日本画V-1                 | 人物写生                          | 2   | 3    | 日選必(6単位) |
| S    | 日本画V-2                 | 人物制作1                         | 2   | 3    |          |
| S    | 日本画V-3                 | 人物制作2                         | 2   | 3    |          |
| S    | 日本画V-4                 | 風景写生                          | 2   | 3    |          |
| S    | 日本画V-5                 | 風景制作1                         | 2   | 3    |          |
| S    | 日本画V-6                 | 風景制作2                         | 2   | 3    |          |
| TX   | 日本画演習IV                | 40号自由制作レポート／卒業制作レポート、ポートフォリオ  | 4   | 4    | 日必修      |
| S    | 卒業制作(日本画) <sup>*</sup> |                               | 6   | 4    | 日必修      |

<sup>\*</sup>卒業制作(日本画)は全6回のスクーリングです。第2回目～第5回目は対面受講を推奨します。第6回目のスクーリングは原則対面受講です(遠隔受講を希望の場合要相談)。

### 洋画コース専門教育科目

| 履修形態 | 科目名     | サブタイトル                   | 単位数 | 配当年次 | 備考  |
|------|---------|--------------------------|-----|------|-----|
| TW   | 洋画演習I-1 | 鉛筆デッサン「塊を描く」／鉛筆デッサン「私の靴」 | 2   | 1    | 洋必修 |
| TW   | 洋画演習I-2 | 人物油彩「自画像」／静物油彩「野菜・果物」    | 2   | 1    | 洋必修 |
| S    | 洋画I-1   | 鉛筆デッサン                   | 1   | 1    | 洋必修 |
| S    | 洋画I-2   | 木炭デッサン1                  | 1   | 1    | 洋必修 |
| S    | 洋画I-3   | 木炭デッサン2                  | 1   | 1    | 洋必修 |

| 履修形態 | 科目名       | サブタイトル                            | 単位数 | 配当年次 | 備考  |
|------|-----------|-----------------------------------|-----|------|-----|
| S    | 洋画Ⅱ-1     | 静物油彩1                             | 1   | 1    | 洋必修 |
| S    | 洋画Ⅱ-2     | 人体油彩1                             | 2   | 1    | 洋必修 |
| TW   | 洋画演習Ⅱ-1   | ドローイング「手」／鉛筆デッサン「囲まれた空間を描く」       | 2   | 2    | 洋必修 |
| TW   | 洋画演習Ⅱ-2   | 人物油彩「鏡面に映る自画像と室内風景」／風景油彩「建物のある風景」 | 2   | 2    | 洋必修 |
| S    | 洋画Ⅲ-1     | 人体油彩2— 塑造と油彩                      | 2   | 2    | 洋必修 |
| S    | 洋画Ⅲ-2     | 風景を描く                             | 1   | 2    | 洋必修 |
| S    | 洋画Ⅳ-1     | 静物油彩2— 構成                         | 2   | 2    | 洋必修 |
| S    | 洋画Ⅳ-2     | コンポジション                           | 1   | 2    | 洋必修 |
| TW   | 洋画演習Ⅲ-1   | 自由制作Ⅰ「発想」                         | 2   | 3    | 洋必修 |
| TW   | 洋画演習Ⅲ-2   | 自由制作Ⅱ「表現」                         | 2   | 3    | 洋必修 |
| S    | 洋画Ⅴ-1     | 花                                 | 2   | 3    | 洋必修 |
| S    | 洋画Ⅴ-2     | 人                                 | 2   | 3    | 洋必修 |
| S    | 洋画Ⅴ-9     | 抽象                                | 2   | 3    | 洋必修 |
| TX   | 洋画演習Ⅳ     | 50号自由課題／副論・ポートフォリオ                | 4   | 4    | 洋必修 |
| S    | 卒業制作(洋画)※ |                                   | 6   | 4    | 洋必修 |

※卒業制作(洋画)は全6回のスクーリングです。第6回目のスクーリングのみ原則対面受講です(遠隔受講を希望の場合要相談)。

## 陶芸コース専門教育科目

| 履修形態 | 科目名      | サブタイトル                  | 単位数 | 配当年次 | 備考  |
|------|----------|-------------------------|-----|------|-----|
| TX   | 陶芸演習Ⅰ-1  | 土による立体デッサン              | 2   | 1    | 陶必修 |
| TX   | 陶芸演習Ⅰ-2  | 五客揃の碗                   | 2   | 1    | 陶必修 |
| S    | 陶芸Ⅰ-1    | ロクロ1                    | 1   | 1    | 陶必修 |
| S    | 陶芸Ⅰ-2    | ロクロ2                    | 2   | 1    | 陶必修 |
| S    | 陶芸Ⅱ-1    | 石膏型1                    | 1   | 1    | 陶必修 |
| S    | 陶芸Ⅱ-2    | 石膏型2                    | 2   | 1    | 陶必修 |
| TX   | 陶芸演習Ⅱ-1  | 花の器                     | 2   | 2    | 陶必修 |
| TX   | 陶芸演習Ⅱ-2  | ハレの日の器                  | 2   | 2    | 陶必修 |
| S    | 陶芸Ⅲ-1    | 手びねり1                   | 1   | 2    | 陶必修 |
| S    | 陶芸Ⅲ-2    | 手びねり2                   | 2   | 2    | 陶必修 |
| S    | 陶芸Ⅳ-1    | タタラ1                    | 1   | 2    | 陶必修 |
| S    | 陶芸Ⅳ-2    | タタラ2                    | 2   | 2    | 陶必修 |
| TX   | 陶芸演習Ⅲ-1  | 空間を造形する                 | 2   | 3    | 陶必修 |
| TX   | 陶芸演習Ⅲ-2  | 不均衡の中のバランス              | 2   | 3    | 陶必修 |
| S    | 陶芸Ⅴ-1    | 土と表現                    | 2   | 3    | 陶必修 |
| S    | 陶芸Ⅴ-2    | 絵付                      | 2   | 3    | 陶必修 |
| S    | 陶芸Ⅴ-4    | ロクロ応用                   | 1   | 3    | 陶必修 |
| S    | 陶芸Ⅴ-5    | 釉薬研究                    | 1   | 3    | 陶必修 |
| TX   | 陶芸演習Ⅳ    | 自己表現の確立 制作構想／ポートフォリオの作成 | 4   | 4    | 陶必修 |
| S    | 卒業制作(陶芸) |                         | 6   | 4    | 陶必修 |

## 染織コース専門教育科目

| 履修形態 | 科目名     | サブタイトル                   | 単位数 | 配当年次 | 備考       |
|------|---------|--------------------------|-----|------|----------|
| TW   | 染織演習Ⅰ-1 | 植物染料の色を知る／テキスタイルリサーチ     | 2   | 1    | 染必修      |
| TW   | 染織演習Ⅰ-2 | 描写—植物・体の一部を描く／絞り染小作品     | 2   | 1    | 染必修      |
| S    | 染織Ⅰ-1   | 描写の基礎                    | 1   | 1    | 染必修      |
| S    | 染織Ⅰ-2   | 藍色絞りの浴衣をデザインする           | 1   | 1    | 染必修      |
| S    | 染織Ⅰ-3   | 藍色絞りの浴衣を染める              | 1   | 1    | 染必修      |
| S    | 染織Ⅱ-1   | 染色実験                     | 1   | 1    | 染必修      |
| S    | 染織Ⅱ-2   | 織物の基本を知る                 | 1   | 1    | 染必修      |
| S    | 染織Ⅱ-3   | 織物の表現を知る                 | 1   | 1    | 染必修      |
| TW   | 染織演習Ⅱ-1 | 幾何形態のステンシル／連続するプリント図案    | 2   | 2    | 染必修      |
| TW   | 染織演習Ⅱ-2 | 緯緋                       | 2   | 2    | 染必修      |
| S    | 染織Ⅲ-1   | 色彩を知る                    | 1   | 2    | 染必修      |
| S    | 染織Ⅲ-2   | 型染のハンカチと誕生月のカレンダーをデザインする | 1   | 2    | 染必修      |
| S    | 染織Ⅲ-3   | 型染のハンカチと誕生月のカレンダーを染める    | 1   | 2    | 染必修      |
| S    | 染織Ⅳ-1   | 緋の基本を知る                  | 1   | 2    | 染必修      |
| S    | 染織Ⅳ-2   | 緋の工程を知る                  | 1   | 2    | 染必修      |
| S    | 染織Ⅳ-3   | 緋の布を織る                   | 1   | 2    | 染必修      |
| TW   | 染織演習Ⅲ-1 | 下図を描く／自由作品               | 2   | 3    | 染必修      |
| TW   | 染織演習Ⅲ-2 | 立体小作品／染織産地研究             | 2   | 3    | 染必修      |
| S    | 染織Ⅴ-1   | 蠟染                       | 2   | 3    | 染選必(4単位) |
| S    | 染織Ⅴ-2   | 友禪のふくさを染める               | 2   | 3    |          |
| S    | 染織Ⅴ-3   | 綴織の壁掛を織る                 | 2   | 3    |          |

| 履修形態 | 科目名       | 履修形態               | 科目名 | 履修形態 | 科目名      |
|------|-----------|--------------------|-----|------|----------|
| S    | 染織V-4     | 絹を知る               | 2   | 3    | 染選必(4単位) |
| S    | 染織V-7     | フェルトメイキング          | 1   | 3    | 染選必(2単位) |
| S    | 染織V-8     | スクリーンプリントの手ぬぐいを染める | 1   | 3    |          |
| S    | 染織V-15    | 絹を織る               | 1   | 3    | 染必修      |
| TX   | 染織演習IV    | 卒業制作計画書/ポートフォリオ    | 4   | 4    |          |
| S    | 卒業制作(染織)* |                    | 6   | 4    |          |

\*卒業制作(染織)全6回のスクーリングです。第3回と第6回は対面受講を推奨します。

## 写真コース専門教育科目

| 履修形態 | 科目名       | サブタイトル                 | 単位数 | 配当年次 | 備考  |
|------|-----------|------------------------|-----|------|-----|
| TW   | 写真演習I-1   | 写真日記/セルフポートレート         | 2   | 1    | 写必修 |
| TW   | 写真演習I-2   | 絞りとシャッター/露出補正          | 2   | 1    | 写必修 |
| S    | 写真I-1     | クリエイティブ                | 1   | 1    | 写必修 |
| S    | 写真I-2     | デジタル基礎                 | 1   | 1    | 写必修 |
| S    | 写真I-3     | 写真原理/ピンホール             | 1   | 1    | 写必修 |
| S    | 写真II-1    | 撮影基礎1                  | 1   | 1    | 写必修 |
| S    | 写真II-2    | 撮影基礎2                  | 1   | 1    | 写必修 |
| S    | 写真II-3    | ライティング基礎               | 1   | 1    | 写必修 |
| TW   | 写真演習II-1  | コラージュ/作品制作 a           | 2   | 2    | 写必修 |
| TW   | 写真演習II-2  | アザースポートレート/作品制作 b      | 2   | 2    | 写必修 |
| S    | 写真III-3   | 写真知見                   | 1   | 2    | 写必修 |
| S    | 写真III-4   | スナップ                   | 1   | 2    | 写必修 |
| S    | 写真III-5   | フォト・コラージュ              | 1   | 2    | 写必修 |
| S    | 写真IV-1    | デジタルフォト1               | 1   | 2    | 写必修 |
| S    | 写真IV-2    | 視る                     | 1   | 2    | 写必修 |
| S    | 写真IV-3    | ポートフォリオ                | 1   | 2    | 写必修 |
| TW   | 写真演習III-1 | 作品ポートフォリオ1/作品ポートフォリオ2  | 2   | 3    | 写必修 |
| TW   | 写真演習III-2 | スタイル・ライフ/コンストラクティッドフォト | 2   | 3    | 写必修 |
| S    | 写真V-2     | プレゼンテーション              | 1   | 3    | 写必修 |
| S    | 写真V-3     | ワークショップ・ゼミナール          | 1   | 3    | 写必修 |
| S    | 写真V-6     | デジタルフォト2               | 1   | 3    | 写必修 |
| S    | 写真V-7     | ライティング・アドバンス           | 1   | 3    | 写必修 |
| S    | 写真V-12    | 作品批評                   | 1   | 3    | 写必修 |
| S    | 写真V-14    | デジタル・プレゼンテーション         | 1   | 3    | 写必修 |
| TX   | 写真演習IV    | 事例研究/プレゼンテーション・ポートフォリオ | 4   | 4    | 写必修 |
| S    | 卒業制作(写真)  |                        | 6   | 4    | 写必修 |

## 〈環境デザイン学科〉

### 建築デザインコース専門教育科目

| 履修形態 | 科目名               | サブタイトル    | 単位数 | 配当年次 | 備考  |
|------|-------------------|-----------|-----|------|-----|
| S    | 環境デザイン概論[建築]      | スターター     | 1   | 1    |     |
| TW   | デザイン基礎1(建築)       | 作図基礎      | 2   | 1    | 建必修 |
| TW   | デザイン基礎2(建築)       | 立体構成と模型   | 2   | 1    | 建必修 |
| TW   | 環境デザイン演習[建築]I-1   | 空間特性と表現   | 2   | 1    | 建必修 |
| TW   | 環境デザイン演習[建築]I-2   | トレース      | 2   | 1    | 建必修 |
| S    | 環境デザイン[建築]I-1     | フィールドワーク  | 1   | 1    | 建必修 |
| S    | 環境デザイン[建築]I-2     | ドローイング    | 1   | 1    | 建必修 |
| S    | 環境デザイン[建築]I-3     | 立体表現      | 1   | 1    | 建必修 |
| S    | 環境デザイン[建築]II-1    | 空間表現1     | 1   | 1    | 建必修 |
| S    | 環境デザイン[建築]II-2    | 平面表現      | 1   | 1    | 建必修 |
| S    | 環境デザイン[建築]II-3    | 空間表現2     | 1   | 1    | 建必修 |
| TW   | 環境デザイン基礎1(建築)     | 住宅設計2     | 2   | 2    | 建必修 |
| TW   | 環境デザイン基礎2(建築)     | 一般構造      | 2   | 2    | 建必修 |
| TW   | 環境デザイン演習[建築]II-1  | 住宅設計1     | 2   | 2    | 建必修 |
| TW   | 環境デザイン演習[建築]II-2  | 住宅設計3     | 2   | 2    | 建必修 |
| S    | 環境デザイン[建築]III-1   | 寸法1       | 1   | 2    | 建必修 |
| S    | 環境デザイン[建築]III-2   | 環境1       | 1   | 2    | 建必修 |
| S    | 環境デザイン[建築]III-3   | 集住        | 1   | 2    | 建必修 |
| S    | 環境デザイン[建築]IV-1    | 住宅架構      | 1   | 2    | 建必修 |
| S    | 環境デザイン[建築]IV-2    | 表現        | 1   | 2    | 建必修 |
| S    | 環境デザイン[建築]IV-3    | CAD       | 1   | 2    | 建必修 |
| TW   | 環境デザイン演習[建築]III-1 | フィールドスタディ | 2   | 3    | 建必修 |
| TW   | 環境デザイン演習[建築]III-2 | 複合施設      | 2   | 3    | 建必修 |

| 履修形態 | 科目名            | サブタイトル | 単位数 | 配当年次 | 備考  |
|------|----------------|--------|-----|------|-----|
| S    | 環境デザイン[建築]V-1  | 風景     | 1   | 3    | 建必修 |
| S    | 環境デザイン[建築]V-2  | 環境2    | 1   | 3    | 建必修 |
| S    | 環境デザイン[建築]V-3  | 場のかたち  | 1   | 3    | 建必修 |
| S    | 環境デザイン[建築]V-4  | 風景と構成  | 1   | 3    | 建必修 |
| S    | 環境デザイン[建築]V-5  | 寸法2    | 1   | 3    | 建必修 |
| S    | 環境デザイン[建築]V-6  | 架構     | 1   | 3    | 建必修 |
| TX   | 環境デザイン演習[建築]IV | 卒業制作   | 4   | 4    | 建必修 |
| S    | 卒業制作(建築デザイン)   | ディプロマ  | 6   | 4    | 建必修 |

## ランドスケープデザインコース専門教育科目

| 履修形態 | 科目名                        | サブタイトル                     | 単位数 | 配当年次 | 備考  |
|------|----------------------------|----------------------------|-----|------|-----|
| S    | 環境デザイン概論[ランドスケープデザイン]      | スターター                      | 1   | 1    |     |
| TW   | デザイン基礎1(ランドスケープデザイン)       | 設計製図基礎                     | 2   | 1    | ラ必修 |
| TW   | デザイン基礎2(ランドスケープデザイン)       | 植物ファイル制作                   | 2   | 1    | ラ必修 |
| TW   | 環境デザイン演習[ランドスケープデザイン]I-1   | ランドスケープデザインファイル            | 2   | 1    | ラ必修 |
| TW   | 環境デザイン演習[ランドスケープデザイン]I-2   | ランドスケープデザイン表現基礎            | 2   | 1    | ラ必修 |
| S    | 環境デザイン[ランドスケープデザイン]I-1     | ランドスケープデザイン総説              | 1   | 1    | ラ必修 |
| S    | 環境デザイン[ランドスケープデザイン]I-2     | 日本庭園1 管理から日本庭園を学ぶ          | 1   | 1    | ラ必修 |
| S    | 環境デザイン[ランドスケープデザイン]I-3     | ランドスケープデザインへの視点            | 1   | 1    | ラ必修 |
| S    | 環境デザイン[ランドスケープデザイン]II-1    | 設計1 製図基礎                   | 1   | 1    | ラ必修 |
| S    | 環境デザイン[ランドスケープデザイン]II-2    | 設計2 ガーデンデザイン基礎             | 1   | 1    | ラ必修 |
| S    | 環境デザイン[ランドスケープデザイン]II-3    | 模型基礎                       | 1   | 1    | ラ必修 |
| TW   | 環境デザイン基礎1(ランドスケープデザイン)     | 日本庭園と意匠                    | 2   | 2    | ラ必修 |
| TW   | 環境デザイン基礎2(ランドスケープデザイン)     | 大地の創出                      | 2   | 2    | ラ必修 |
| TW   | 環境デザイン演習[ランドスケープデザイン]II-1  | 住宅庭園設計                     | 2   | 2    | ラ必修 |
| TW   | 環境デザイン演習[ランドスケープデザイン]II-2  | 街区公園リサーチ                   | 2   | 2    | ラ必修 |
| S    | 環境デザイン[ランドスケープデザイン]III-1   | プレゼンテーション基礎                | 1   | 2    | ラ必修 |
| S    | 環境デザイン[ランドスケープデザイン]III-2   | 美しい大地の創出                   | 1   | 2    | ラ必修 |
| S    | 環境デザイン[ランドスケープデザイン]III-3   | 日本庭園2 作庭から日本庭園を学ぶ          | 1   | 2    | ラ必修 |
| S    | 環境デザイン[ランドスケープデザイン]IV-1    | 設計3 すまいと庭のデザイン             | 1   | 2    | ラ必修 |
| S    | 環境デザイン[ランドスケープデザイン]IV-2    | 都市と地方を結ぶ風景デザイン1            | 1   | 2    | ラ必修 |
| S    | 環境デザイン[ランドスケープデザイン]IV-3    | 設計4 町並み景観とポケットパーク          | 1   | 2    | ラ必修 |
| TW   | 環境デザイン演習[ランドスケープデザイン]III-1 | 都市のランドスケープデザイン             | 2   | 3    | ラ必修 |
| TW   | 環境デザイン演習[ランドスケープデザイン]III-2 | 都市・地方の再生提案                 | 2   | 3    | ラ必修 |
| S    | 環境デザイン[ランドスケープデザイン]V-1     | プレゼンテーション発展                | 1   | 3    | ラ必修 |
| S    | 環境デザイン[ランドスケープデザイン]V-2     | 日本庭園3 日本庭園からランドスケープデザインを学ぶ | 1   | 3    | ラ必修 |
| S    | 環境デザイン[ランドスケープデザイン]V-3     | 設計5 都市広場                   | 1   | 3    | ラ必修 |
| S    | 環境デザイン[ランドスケープデザイン]V-4     | 設計6 都市公園                   | 1   | 3    | ラ必修 |
| S    | 環境デザイン[ランドスケープデザイン]V-5     | 総合的造景                      | 1   | 3    | ラ必修 |
| S    | 環境デザイン[ランドスケープデザイン]V-6     | 都市と地方を結ぶ風景デザイン2            | 1   | 3    | ラ必修 |
| TX   | 環境デザイン演習[ランドスケープデザイン]IV    | 卒業制作中間報告/卒業制作最終報告          | 4   | 4    | ラ必修 |
| S    | 卒業制作(ランドスケープデザイン)          |                            | 6   | 4    | ラ必修 |

## 空間演出デザインコース専門教育科目

| 履修形態 | 科目名                | サブタイトル                   | 単位数 | 配当年次 | 備考       |
|------|--------------------|--------------------------|-----|------|----------|
| S    | 空間演出デザイン概論         | スターター                    | 1   | 1    |          |
| TW   | デザイン基礎 1(空間演出デザイン) | 平面での思考 二次元ドリル            | 2   | 1    | 空必修      |
| TW   | デザイン基礎 2(空間演出デザイン) | 空間の観察 空間ファイル             | 2   | 1    | 空必修      |
| TW   | 空間演出デザイン演習I- 1     | 立体での構想 三次元ドリル            | 2   | 1    | 空必修      |
| TW   | 空間演出デザイン演習I- 2     | デザインの観察 デザインファイル         | 2   | 1    | 空必修      |
| S    | 空間演出デザインI- 1       | デザインリテラシー                | 1   | 1    | 空必修      |
| S    | 空間演出デザインI- 2       | ドラフティング                  | 1   | 1    | 空必修      |
| S    | 空間演出デザインI- 3       | モデル・メイキング                | 1   | 1    | 空必修      |
| S    | 空間演出デザインII- 1      | デジタル表現基礎                 | 1   | 1    | 空必修      |
| S    | 空間演出デザインII- 2      | 造形表現基礎                   | 1   | 1    | 空必修      |
| S    | 空間演出デザインII- 3      | CAD表現基礎2D                | 1   | 1    | 空必修      |
| TW   | 空間演出デザイン基礎1        | 図面と空間表現 空間ドリル            | 2   | 2    | 空必修      |
| TW   | 空間演出デザイン基礎2        | 企画構想 ローカルデザイン            | 2   | 2    | 空必修      |
| TW   | 空間演出デザイン演習II- 1    | 空間構想 すまいのリノベーション         | 2   | 2    | 空必修      |
| TW   | 空間演出デザイン演習II- 2    | 空間構想 小さなショップ             | 2   | 2    | 空必修      |
| S    | 空間演出デザインIII- 1     | 空間構想・エスキス                | 1   | 2    | 空必修      |
| S    | 空間演出デザインIII- 2     | 空間構想・デザインプロセス            | 1   | 2    | 空必修      |
| S    | 空間演出デザインIII- 3     | 空間構想・実空間の想像と創造           | 1   | 2    | 空必修      |
| S    | 空間演出デザインIV- 1      | メディア表現と空間演出              | 1   | 2    | 空必修      |
| S    | 空間演出デザインIV- 2      | 素材表現とデザイン                | 1   | 2    | 空必修      |
| S    | 空間演出デザインIV- 3      | CAD表現基礎3D                | 1   | 2    | 空必修      |
| TW   | 空間演出デザイン演習III- 1   | 五感の空間デザイン                | 2   | 3    | 空必修      |
| TW   | 空間演出デザイン演習III- 2   | おもてなしのデザイン               | 2   | 3    | 空必修      |
| S    | 空間演出デザインV- 1       | すまいの空間構想                 | 1   | 3    | 空選必(6単位) |
| S    | 空間演出デザインV- 2       | ショップデザイン                 | 1   | 3    |          |
| S    | 空間演出デザインV- 3       | ライティングデザイン               | 1   | 3    |          |
| S    | 空間演出デザインV- 4       | エキシビジョンデザイン              | 1   | 3    |          |
| S    | 空間演出デザインV- 5       | デザインマネジメント               | 1   | 3    |          |
| S    | 空間演出デザインV- 6       | 空間体験のデザイン                | 1   | 3    |          |
| S    | 空間演出デザインV- 7       | 伝統とプロダクトデザイン             | 1   | 3    |          |
| S    | 空間演出デザインV- 8       | コンテンポラリー・ジュエリー           | 1   | 3    |          |
| S    | 空間演出デザインV- 9       | コンパクトデザイン                | 1   | 3    |          |
| S    | 空間演出デザインV-10       | あかりのデザイン                 | 1   | 3    |          |
| TX   | 空間演出デザイン演習IV       | 卒業制作研究ノート/ファイナルプレゼンテーション | 4   | 4    | 空必修      |
| S    | 卒業制作(空間演出デザイン)     |                          | 6   | 4    | 空必修      |

### 二級建築士試験受験資格及び免許登録資格取得のために単位修得が必要な科目(空間演出デザインコースのみ対象)

空間演出デザインコースに所属する学生が、コース専門演習科目以外に二級建築士試験受験資格及び免許登録資格取得のために、卒業要件以外に卒業までに単位修得が必要な科目は下表の通りです。

| 科目区分       | 本学開講授業科目名 | 履修形態 | 単位数  | 受験資格と免許登録資格をともに取得するための必修区分 | 受験資格のみを取得するための必修区分* |
|------------|-----------|------|------|----------------------------|---------------------|
| 学部共通専門教育科目 | 構造力学 1    | TR   | 2    | 必修                         | いずれか選択必修            |
|            | 構造力学 2    | TR   | 2    |                            |                     |
|            | 建築法規      | TR   | 2    |                            |                     |
|            | 建築生産      | TR   | 2    | いずれか選択必修                   | 任意                  |
|            | 建築環境工学    | TR   | 2    |                            |                     |
|            | 建築設備      | TR   | 2    |                            |                     |
| 必修単位数合計    |           |      | 10単位 | 6単位以上                      |                     |

\*受験資格のみ取得の場合、免許登録するには1年間の実務経験が必要です。

- 卒業要件の必修科目以外の科目の履修は、テキスト代金が別途必要となります(2024年度実績:14,740円[本体価格])。
- 建築デザインコースは卒業要件を満たすことで、二級建築士試験受験資格および免許登録資格(実務経験0年)、一級建築士試験受験資格(実務経験0年、免許登録時の要件として実務経験2年が必要)を得ることができます。

## 学部共通専門教育科目

| 履修形態 | 科目名                      | 単位数 | 配当年次 | 備考                                    |
|------|--------------------------|-----|------|---------------------------------------|
| TR   | 美学概論                     | 2   | 1    | ア必修                                   |
| TR   | 写真論1                     | 2   | 1    |                                       |
| TR   | 写真論2                     | 2   | 1    |                                       |
| TR   | 芸術理論1                    | 2   | 1    | ア必修                                   |
| TR   | 芸術理論2                    | 2   | 1    | ア必修                                   |
| TX   | 知的財産権研究                  | 2   | 1    | ア必修、文必修                               |
| TR   | 美術史基礎                    | 2   | 1    |                                       |
| WS   | 芸術史講義(日本)1               | 2   | 1    | ア選必                                   |
| WS   | 芸術史講義(日本)2               | 2   | 1    | ア選必                                   |
| WS   | 芸術史講義(日本)3               | 2   | 1    | ア選必、文必修                               |
| WS   | 芸術史講義(日本)4               | 2   | 1    | ア選必、文必修                               |
| WS   | 芸術史講義(アジア)1              | 2   | 1    | ア選必                                   |
| WS   | 芸術史講義(アジア)2              | 2   | 1    | ア選必                                   |
| WS   | 芸術史講義(アジア)3              | 2   | 1    | ア選必、文必修                               |
| WS   | 芸術史講義(アジア)4              | 2   | 1    | ア選必、文必修                               |
| WS   | 芸術史講義(ヨーロッパ)1            | 2   | 1    | ア選必                                   |
| WS   | 芸術史講義(ヨーロッパ)2            | 2   | 1    | ア選必                                   |
| WS   | 芸術史講義(ヨーロッパ)3            | 2   | 1    | ア選必、文必修                               |
| WS   | 芸術史講義(ヨーロッパ)4            | 2   | 1    | ア選必、文必修                               |
| WS   | 芸術史講義(近現代)1              | 2   | 1    | ア選必                                   |
| WS   | 芸術史講義(近現代)2              | 2   | 1    | ア選必                                   |
| WS   | 芸術史講義(近現代)3              | 2   | 1    | ア選必、文必修                               |
| WS   | 芸術史講義(近現代)4              | 2   | 1    | ア選必、文必修                               |
| TX   | 地域芸術実践1                  | 2   | 1    |                                       |
| TX   | 地域芸術実践2                  | 2   | 1    |                                       |
| GS   | 学芸専門講義1~10 <sup>※1</sup> | 各1  | 1    |                                       |
| GS   | 学芸専門演習1~10 <sup>※1</sup> | 各1  | 1    |                                       |
| TW   | コラージュ・デッサン               | 2   | 1    |                                       |
| TW   | 立体造形演習1                  | 2   | 1    |                                       |
| TW   | 立体造形演習2                  | 2   | 1    |                                       |
| TW   | 色彩表現基礎                   | 2   | 1    |                                       |
| TW   | 形態表現基礎                   | 2   | 1    |                                       |
| TR   | 都市概論                     | 2   | 1    | 建必修、文化コンテンツ創造学科不可                     |
| TR   | 住宅概論                     | 2   | 1    | 建必修、文化コンテンツ創造学科不可                     |
| TR   | 建築史1(近代)                 | 2   | 1    | 建必修、文化コンテンツ創造学科不可                     |
| TR   | 建築史2(西洋)                 | 2   | 1    | 建選必(2単位) <sup>※2</sup> 、文化コンテンツ創造学科不可 |
| TR   | 建築史3(日本)                 | 2   | 1    | 建選必(2単位) <sup>※2</sup> 、文化コンテンツ創造学科不可 |
| TR   | 建築環境工学                   | 2   | 1    | 建必修、文化コンテンツ創造学科不可                     |
| TR   | 建築設備                     | 2   | 1    | 建必修、文化コンテンツ創造学科不可                     |
| TR   | 建築材料                     | 2   | 1    | 建必修、文化コンテンツ創造学科不可                     |
| TR   | 建築生産                     | 2   | 1    | 建必修、文化コンテンツ創造学科不可                     |
| TR   | 建築法規                     | 2   | 1    | 建必修、文化コンテンツ創造学科不可                     |
| TR   | 構造力学1                    | 2   | 1    | 建必修、文化コンテンツ創造学科不可                     |
| TR   | 構造力学2                    | 2   | 1    | 建必修、文化コンテンツ創造学科不可                     |
| TR   | 造園史1(日本)                 | 2   | 1    | ラ必修、文化コンテンツ創造学科不可                     |
| TR   | 造園史2(西洋)                 | 2   | 1    | ラ必修、文化コンテンツ創造学科不可                     |
| TR   | 環境の保全と計画1                | 2   | 1    | ラ必修、文化コンテンツ創造学科不可                     |
| TR   | 環境の保全と計画2                | 2   | 1    | ラ必修、文化コンテンツ創造学科不可                     |
| TR   | ランドスケープデザイン原論1           | 2   | 1    | ラ必修、文化コンテンツ創造学科不可                     |
| TR   | ランドスケープデザイン原論2           | 2   | 1    | ラ必修、文化コンテンツ創造学科不可                     |
| TR   | マーケティング概論                | 2   | 1    | 空必修、文化コンテンツ創造学科不可                     |
| TR   | ブランディングデザイン論             | 2   | 1    | 空必修、文化コンテンツ創造学科不可                     |
| TR   | インテリア計画論1                | 2   | 1    | 空必修、文化コンテンツ創造学科不可                     |
| TR   | インテリア計画論2                | 2   | 1    | 空必修、文化コンテンツ創造学科不可                     |
| TR   | 空間構成材料                   | 2   | 1    | 空必修、文化コンテンツ創造学科不可                     |
| TR   | 生活空間デザイン史                | 2   | 1    | 空必修、文化コンテンツ創造学科不可                     |
| S    | 芸術教養基礎                   | 1   | 1    |                                       |
| S    | 著作権を学ぶ                   | 1   | 1    |                                       |
| S    | 美学と芸術学への大きな階段            | 1   | 1    |                                       |

※1:「学芸専門講義1~10」「学芸専門演習1~10」は芸術学舎の単位連携科目です。

※2:「建築史2(西洋)」、「建築史3(日本)」いずれかを選択必修。

※開講科目は予定です。入学後に改めてご確認ください。



## 総合教育科目

| 履修形態 | 科目名                      | 単位数 | 配当年次 | 備考  |
|------|--------------------------|-----|------|-----|
| TR   | ことばと表現                   | 1   | 1    |     |
| TR   | 論述基礎                     | 2   | 1    |     |
| TR   | 情報                       | 2   | 1    | 建必修 |
| TR   | 外国語1                     | 2   | 1    |     |
| TR   | 古典日本語                    | 2   | 1    |     |
| TR   | 音楽                       | 2   | 1    |     |
| TR   | 日本の憲法                    | 2   | 1    |     |
| TR   | 地域環境論                    | 2   | 1    |     |
| TR   | 都市デザイン論                  | 2   | 1    |     |
| TR   | 詩学への案内                   | 2   | 1    |     |
| TR   | 哲学への案内                   | 2   | 1    |     |
| TR   | 学際的な知への案内                | 2   | 1    |     |
| TR   | 心理学                      | 2   | 1    |     |
| TR   | 政治学                      | 2   | 1    |     |
| TR   | 経済学                      | 2   | 1    |     |
| TR   | 社会学                      | 2   | 1    |     |
| TR   | 宗教学                      | 2   | 1    |     |
| TR   | 日本史                      | 2   | 1    |     |
| TR   | アジア史                     | 2   | 1    |     |
| TR   | 西洋史                      | 2   | 1    |     |
| TR   | 生態学                      | 2   | 1    |     |
| TR   | 列島考古学                    | 2   | 1    |     |
| TR   | 文化研究1                    | 2   | 1    |     |
| TR   | 文化研究2                    | 2   | 1    |     |
| TR   | 文化研究3                    | 2   | 1    |     |
| TR   | 色彩と形                     | 2   | 1    |     |
| TR   | 地域を探る                    | 2   | 1    |     |
| TR   | 京都を学ぶ                    | 2   | 1    |     |
| TR   | 日本文化論                    | 2   | 1    |     |
| TX   | 地域環境学演習                  | 2   | 1    |     |
| TX   | 地域文化学演習                  | 2   | 1    |     |
| TW   | デッサン                     | 2   | 1    |     |
| GS   | 学芸基礎講義1~10 <sup>**</sup> | 各1  | 1    |     |
| GS   | 学芸基礎演習1~10 <sup>**</sup> | 各1  | 1    |     |

※「学芸基礎講義1~10」「学芸基礎演習1~10」は藝術学舎の単位連携科目です。

※開講科目は予定です。入学後に改めてご確認ください。

| 履修形態 | 科目名           | 単位数 | 配当年次 | 備考 |
|------|---------------|-----|------|----|
| S    | 英語1A          | 1   | 1    |    |
| S    | 体育実技          | 1   | 1    |    |
| S    | メディア論への階段     | 1   | 1    |    |
| S    | 哲学への階段        | 1   | 1    |    |
| S    | 考古学への階段       | 1   | 1    |    |
| S    | 民俗学への階段       | 1   | 1    |    |
| S    | 自然学への階段       | 1   | 1    |    |
| S    | 都市環境への階段      | 1   | 1    |    |
| S    | 文学研究への階段      | 1   | 1    |    |
| S    | 映画研究への階段      | 1   | 1    |    |
| S    | 日本史への階段       | 1   | 1    |    |
| S    | 社会学への階段       | 1   | 1    |    |
| S    | オンライン授業入門     | 1   | 1    |    |
| S    | 人間科学への階段      | 1   | 1    |    |
| S    | はじめての共通科目     | 1   | 1    |    |
| S    | 身体と表現         | 1   | 1    |    |
| S    | 数と世界          | 1   | 1    |    |
| S    | 名著を読む         | 1   | 1    |    |
| S    | 入門デッサン1       | 1   | 1    |    |
| S    | 入門デッサン2       | 1   | 1    |    |
| S    | 入門デッサン3       | 1   | 1    |    |
| S    | 入門デッサン4       | 1   | 1    |    |
| S    | 入門デッサン5       | 1   | 1    |    |
| S    | 基礎デッサン1       | 1   | 2    |    |
| S    | 基礎デッサン2       | 1   | 2    |    |
| S    | 基礎デッサン3       | 1   | 2    |    |
| S    | 基礎デッサン4       | 1   | 2    |    |
| S    | 基礎デッサン5       | 1   | 2    |    |
| S    | 基礎デッサン6       | 1   | 2    |    |
| S    | 伝統芸術基礎(伝統芸能)  | 1   | 1    |    |
| S    | 伝統芸術基礎(文楽)    | 1   | 1    |    |
| S    | 伝統芸術基礎(茶の湯)   | 1   | 1    |    |
| S    | 伝統芸術基礎(煎茶)    | 1   | 1    |    |
| S    | 伝統芸術基礎(落語)    | 1   | 1    |    |
| S    | 自然史フィールドワーク入門 | 1   | 1    |    |
| S    | キャリアデザインI     | 2   | 1    |    |
| S    | キャリアデザインII    | 2   | 1    |    |



# 奨学金・ 助成金等制度・ 学費ローン

奨学金・ローン等  
について  
説明しています



# 奨学金・助成金等制度

入学後に申請できる奨学金制度があります。ただし、毎月決められた金額の奨学金が貸与される奨学金制度はありません。申請手続きは入学後のため、出願時は入学手続金の全額を支払い、後日還付を受けていただきます。申請方法はすべて入学後にお知らせします。入学後に学習用Webサイト「airUマイページ」のお知らせ、Web上の「airU学習ガイド」で確認してください。

## 日本学生支援機構通信教育課程奨学金（貸与型奨学金）

文化コンテンツ創造学科  
芸術学科  
美術科  
環境デザイン学科

夏期または冬期スクーリング期間中のスクーリング受講を前提として、年1回、在籍中に1年次入学の場合4回、3年次編入学の場合2回まで申請が可能です。成績や所得をもとに審査を行います。

| 奨学金種類         | 貸与額(金額は2024年度実績)                         |
|---------------|--|
| 第一種奨学金(無利子貸与) | 年額 88,000円                               |
| 第二種奨学金(有利子貸与) | 20,000円から120,000円までの1万円単位の金額から選択 ※年利上限3% |

- ・毎月貸与されるのではなく、年1回一時金として貸与される制度です。入学後に還付を受けるため、出願時には入学手続金全額をお支払いいただく必要があります。
- ・芸術教養学科はスクーリング科目の受講がないため対象外ですが、博物館学芸員課程に登録する方（「博物館実習」を夏期または冬期スクーリング期間中に受講する場合のみ）は申請が可能ですので、入学手続前にお問い合わせください。
- ・入学前に他大学で受けた貸与型奨学金を継続して受けることはできません。改めて申請する場合も、日本学生支援機構奨学金を借りたことのある方は貸与期間短縮や申請不可となることがあります。
- ・通信教育部在学中は入学前に貸与を受けた日本学生支援機構奨学金の返還猶予ができます（在学猶予）。希望者は入学後に手続きをしてください。

## 高等教育の修学支援新制度（給付型奨学金／授業料減免／入学金減免）

全コース

学業、人物ともに優れ、かつ、健康であって、経済的理由により学費の支払いが困難と認められる者に適用される制度です。本学は、「大学等における修学の支援に関する法律」による高等教育の修学支援新制度の対象機関に選定されています。

給付型奨学金の採用者となった場合、奨学金の給付に加え、授業料等の減免が適用されます。

|                |                       |                    |
|----------------|-----------------------|--------------------|
| 1. 給付型奨学金      | 年1回支給                 | 最大51,000円          |
| 2. 授業料減免／入学金減免 | 年1回還付、入学金減免は採用年度納付者のみ | 最大130,000円／30,000円 |

※世帯の所得基準により区分Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳと判定され、それぞれ支給額が上記の3/3・2/3・1/3・1/4となります。

※区分は10月に見直され、区分変更により減免額が変更となる場合があります。

※減免費の還付は10月頃の予定です。入学時は入学手続金の全額をお支払いいただきます。

※区分Ⅳについては、所得基準の他に多子世帯(大学生以下の子ども3人以上扶養する世帯)であることが条件です。

### 予約採用と在学採用

高校在籍時に申請し受給が決定している「予約採用」と、大学に進学してから申請する「在学採用」があります。各手続きの詳細は、4月1日に学習用Webサイト「airUマイページ」のお知らせ欄でご案内します<sup>\*</sup>。必ずご確認ください。

|      |   |
|------|---|
| 予約採用 | 高校在籍時に給付奨学金受給申請を行い、候補者決定通知を受け取っている方<br>※入学後に自身で必要手続きを行わないと奨学生に認定されません |
| 在学採用 | 大学入学後に奨学金を申請する方   |

※予約採用は給付型奨学金のみが対象です。通信教育課程の場合、貸与型奨学金は対象外です。

## 認定要件

下記の要件をすべて満たす必要があります。詳細は下記のサイトからご確認ください。

1. 収入基準・資産基準：住民税非課税世帯の学生、及びそれに準ずる世帯の学生であること
2. 学業成績基準：高校評定平均値3.5以上、GPA等が上位2分の1の範囲、等
3. 国籍・在留資格：日本国籍を有する者、等
4. 大学進学までの期間：高校卒業から本学入学までの期間が3年未満の者、等

※他大学を退学し入学される方で、現在給付型奨学金を受給している方は、継続採用となる場合がありますので、入学後に通信学務課へお問合せください。

※他大学を卒業した後に学士入学や学士編入学をされた場合は、要件上申請できません。

※科目等履修生、大学院生は申請できません。

詳しくは、以下をご参照ください。

- ・文部科学省Webサイト ([https://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/hutankeigen/](https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/hutankeigen/))
- ・日本学生支援機構Webサイト (<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/kyufu/shikaku/zaigaku.html>)
- ・進学資金シミュレーター (<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/oyakudachi/shogakukin-simulator.html>)

## 京都芸術大学通信教育課程 学習支援奨学金

文化コンテンツ創造学科  
芸術学科  
美術科  
環境デザイン学科

同一コースにおける学習が通算5年目以上となる場合(休学期間を除く)、授業料の20%を奨学金として減免します。

## 京都芸術大学通信教育課程 学生創作研究助成金

全コース

地域社会における芸術文化の活性化をめざす学生(グループも可)の創作、研究およびその成果発表、普及活動に対し、選考のうえ200,000円(2024年度実績)を上限に支援します。

※販売や営利目的として行う活動、所属する企業や団体の活動の直接延長にある企画や、評価を伴う科目に直接関連する活動は対象外です。

## 勤労学生の所得控除

全コース

納税者が所得税法上の「勤労学生」に当てはまる場合に受けられる所得控除です。独立した生計者で、給与所得が年間130万円以下であること等が条件です。詳細は所轄の税務署にお問い合わせください。

## 学割

全コース

美術館・映画館等の料金が学割対象となる場合があります。その都度各自で確認してください。

また、スクーリング等に出席する際、JRの学生割引を利用できます(運賃2割引、片道101km以上)。JRの学割は入学式や新入生ガイダンスも発行対象ですが、1週間前までに大学へ発行申請し、返送された学割証と学生証をJR等に提出し、乗車券を購入する必要があります。発行申請のためには学生証がお手元に届いている必要があります。出願時期によっては申請できないことがありますのでご了承ください。

## 教育訓練給付制度

科目等履修生のみ

厚生労働省が実施している雇用対策事業の一つです。本学通信教育部では、「科目等履修生(博物館学芸員課程)」が指定講座です。詳細は2024年秋ごろに通信教育部Webサイトで公開される「2025年度科目等履修募集要項(PDF)」をご確認ください。

※学部生(=学科・コース在籍者)が履修する「博物館学芸員課程(資格課程)」は適用外です。

# 学費ローン

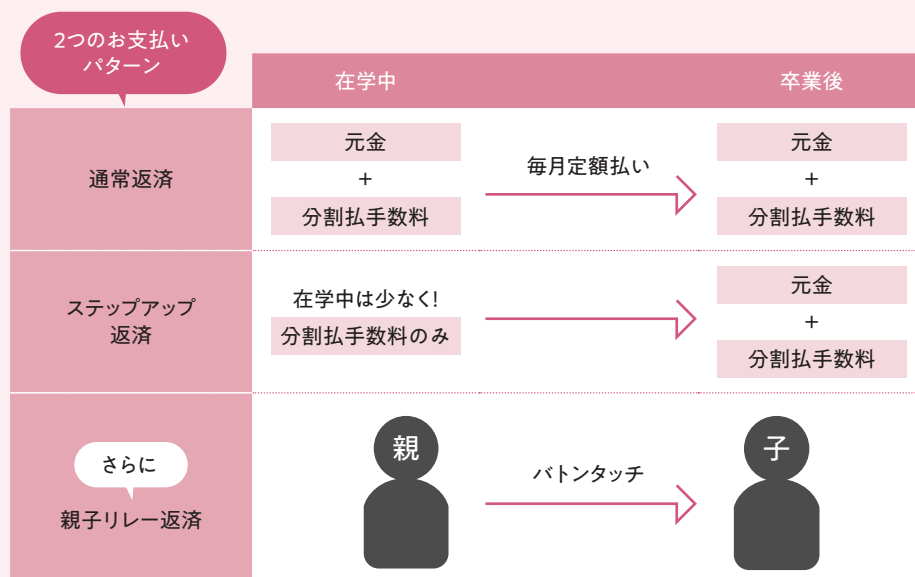
本学通信教育課程では、オリエントコーポレーション(以下オリコ)と提携した「学費サポートプラン」をご利用いただけます。

## ポイント

- 出願手続き前にオリコへ申込みください(ローン審査結果を受けた後に本学の出願手続きへお進みください)。
- 入学選考料以外の入学手続き金をローン利用できます。
- ローン契約は1年ごとです(2年目以降は学籍更新時に手続き)。

## 概要

|         |   |
|---------|---|
| 分割手数料   | 3.0% (実質年率・固定)《2024年7月現在》                 |
| 返済プラン   | 通常返済、ステップアップ返済、親子リレー返済                    |
| 毎月の返済金額 | 6,000円～ (ご利用金額に応じて選択)                     |
| 連帯保証人   | 原則不要                                      |
| 申込方法    | ・Web申込<br>・電話で申込書を依頼し、提出 (☎ 0120-517-325) |



商品概要の詳細は下記オリコのWebサイト「学費サポートプラン」をご確認ください。

## オリコお問い合わせ先・申込先

### ● オリコ学費ローンのWeb申込

本学通信教育部のWebサイトからアクセス[URL] [https://www.kyoto-art.ac.jp/t/admission/通信教育部Webサイト>入学のしかた・学費>ローン\(Oricoのロゴをクリック\)](https://www.kyoto-art.ac.jp/t/admission/通信教育部Webサイト>入学のしかた・学費>ローン(Oricoのロゴをクリック))

※出願期間中は出願画面「出願前の注意事項」からもアクセスできます。

※必ず本学Webサイトまたは出願画面「出願前の注意事項」からアクセスしてください。検索サイト等の別画面から申込を行うと正しく手続きできない場合があります。



### ● オリコ学費ローンの郵送申込

オリコ学費サポートデスクに電話の上、申込書をご請求ください。

☎ 0120-517-325 受付時間 9:30～17:30 (土日祝休)

E-mail : gakuhi-desk@p.onet.orico.co.jp

## ローン対象内容

入学選考料を除く入学手続き金の総額がローン対象です。資格課程（博物館学芸員課程）の受講登録をする方は登録料を加えた総額を申し込んでください。入学手続き金の一部のみをローンで支払うことはできません。

| 入学手続き金(全員)   |          | 該当者のみ   |           |
|--|----------|---|-----------|
| 芸術教養学科   | 200,000円 | 博物館学芸員課程 受講登録料<br>(芸術教養学科)                            | +250,000円 |
| 芸術学・歴史遺産・和の伝統文化コース                                     | 261,140円 | 博物館学芸員課程 受講登録料<br>(芸術学科・美術科・環境デザイン学科)                 | +160,000円 |
| 日本画・洋画・陶芸・染織・写真・<br>建築デザイン・<br>ランドスケープデザイン・空間演出デザインコース | 357,140円 | 入学金免除・授業料減免<br>(芸術教養学科 21ページ該当者)                      | - 80,000円 |
| 文芸・アトライティング  | 378,140円 | 入学金免除<br>(文化コンテンツ創造学科・芸術学科・美術科・<br>環境デザイン学科 21ページ該当者) | - 30,000円 |
| 書画・グラフィックデザイン・イラストレーション・<br>映像・食文化デザインコース              | 385,140円 |   |           |

ローン対象外の入学選考料20,000円は出願手続「学費の支払い」画面で支払方法を選択のうえお支払いください。

## ローン契約から出願手続まで

### オリコの学費サポートプランを申し込み、ローン受付番号(16桁)を取得

#### 申し込み受付開始日:

前期(4月)入学:2024年9月17日(火)

科目等履修:2024年秋ごろに通信教育部HPで公開される

「2025年度科目等履修 募集要項(PDF)」をご確認ください。

#### オリコ申し込み画面での入力内容:

| 入力欄      | 前期(4月)入学      | 科目等履修         |
|----------|---------------|---------------|
| 学納金の納付期日 | 2025年3月31日(月) | 2025年2月14日(金) |
| 在学区分     | 新入生           |               |
| 学籍(受験)番号 | 2025          |               |

### オリコからの審査結果通知メールを確認

### 記入済みの「学費ローン利用届」を準備し、オリコからの確認(電話・メール)を受ける

契約内容確認のための電話またはメールがありますので、「ローン対象金額」欄を記入した「学費ローン利用届」をお手元に準備してください。メール確認の場合は必ず内容承諾の操作をしてください。

電話またはメールでの内容確認を経てローン手続が完了となります。

なお、この際オリコが案内する「納付書等」とは本学の「学費ローン利用届」のことです。

※「学費ローン利用届」は63ページ参照。

### オリコとのローン手続完了

受付完了メールにある16桁の受付番号がローン受付番号です。

### 本学の出願手続

出願手続「学費の支払い」画面で「ローンのご利用」を選択し、ローン受付番号を入力。



## ローン利用届

書式「学費ローン利用届」

### 学費ローン利用届

オリコの案内する「納付書等」と同じ扱いです。

本利用届は、学費ローンを申込された方がオリコから確認(電話・メール)を受ける際に必要です。  
あらかじめ以下すべてを記入してください。

(60 ページ参照)

|                     |  |  |     |
|---------------------|--|--|-----|
| 氏名                  |  |  |     |
| ローン受付番号             |  |  |     |
| 入学年度                | 2025年度 前期                                |  |     |
| 出願先<br>(□に✓/コース名記入) | <input type="checkbox"/> 芸術教養学科          |  |     |
|                     | <input type="checkbox"/> 文化コンテンツ創造学科     |  | コース |
|                     | <input type="checkbox"/> 芸術学科            |  | コース |
|                     | <input type="checkbox"/> 美術科             |  | コース |
|                     | <input type="checkbox"/> 環境デザイン学科        |  | コース |
|                     | <input type="checkbox"/> 科目等履修(博物館学芸員課程) |  |     |
| ローン対象金額<br>(授業料等)   |  |  | 円   |

京都芸術大学 通信教育部芸術学部  
学費ローン取扱(株)オリエントコーポレーション

## ローン申込に関する注意点

### 入学選考料

入学選考料はローン対象外です。学費ローンを申し込む方も入学選考料20,000円は、出願手続「学費の支払い」画面で支払い方法を選択し、お支払いください。なお本学卒業(見込)者等、入学選考料が免除となる方はお支払い不要です。

75ページ「入学手続金の一部免除の手続方法」

### 博物館学芸員課程受講登録料

3年次編入学で、出願と同時に博物館学芸員課程の受講登録を行う場合、入学金・授業料・学生教育研究災害傷害保険料と博物館学芸員課程受講登録料の合計金額が、学費ローンの対象です。

※博物館学芸員課程受講登録料のみを、ローンではなく一括支払することはできません。

### 入学(受講)選考の結果「入学(受講)不許可」の場合

選考の結果、「入学(受講)不許可」となった場合や、編入学選考の結果、3年次編入学での入学がかなわず入学を辞退する場合は、ローン契約は不成立となります。

### ローン契約成立後の入学辞退や退学

学費ローンは、オリコが本人に代わり、大学に一括で年間の学費を支払う仕組みですので、入学(受講)許可前に入学(受講)辞退をされた場合を除き、ローンの解約はできません。年度途中で退学した場合でもローンの解約はできず返済義務は残ります。

75ページ「入学辞退」

### 2年目以降のローン契約

ローンは自動更新ではありません。2年目の学費についてローンを利用される場合、次年度学籍更新手続時にローン申込が必要です。

### ローン申請金額に誤りがあった場合

ローン申請金額に誤りがあった場合は、オリコへ連絡してください。審査が通っていても、再度申請し審査を通過する必要があることがありますのでご注意ください。

#### 【よくある間違い】

・入学選考料20,000円が含まれている。

(例)芸術教養学科出願 誤 220,000円 → 正 200,000円

・保険料140円が含まれていない

(例)日本画コース出願 誤 357,000円 → 正 357,140円

# 出願手続

- 出願手続の注意事項
- 提出書類
- 入学選考料／入学金免除について
- 学生証・教材等の送付時期
- その他諸注意



出願の方法を  
まとめています!

## 出願日程

|     | 出願受付期間                                | 可否通知日          | 学習開始可能日      |
|-----|---------------------------------------|----------------|--------------|
| 第1期 | 2024年9月17日(火) 10:00 ~ 11月 5日(火) 17:00 | 2024年11月15日(金) | 2025年4月1日(火) |
| 第2期 | 2025年1月14日(火) 10:00 ~ 1月31日(金)        | 2025年2月12日(水)  |              |
| 第3期 | 2025年2月1日(土) ~ 2月14日(金)               | 2025年2月26日(水)  |              |
| 第4期 | 2025年2月15日(土) ~ 2月28日(金)              | 2025年3月12日(水)  |              |
| 第5期 | 2025年3月1日(土) ~ 3月14日(金)               | 2025年3月26日(水)  |              |
| 第6期 | 2025年3月15日(土) ~ 3月25日(火) 17:00        | 2025年4月11日(金)  |              |

**[ 最終書類提出期限 ] 2025年3月31日(月) 必着**

第1期から第6期までのそれぞれの出願期間内に不備なく提出書類を提出された方が、その期の審査対象となります。  
2024年11月6日～2025年1月13日は出願を受け付けておりません。

# 出願手続



## 出願手続の注意事項

### Web出願手続

基本情報の登録、口座振替登録、入学手続き金の支払いなどは出願サイトから手続きしていただきます。最終締切日を過ぎますと、それ以降はいかなる理由でも手続きができませんのでご注意ください。

**最終締切：2025年3月25日(火) 17:00**

### 提出書類

Web出願手続のほか、出願書類を提出していただく必要があります。(詳細は次ページ以降を確認してください) 第1期から第6期までのそれぞれの出願期間内に不備なく提出書類を提出された方が、その期の審査対象となります。(例えば、1月31日までに提出された書類に不備がなければ第2期に審査を行います)

不備・不足がないように十分に確認したうえで提出してください。

例年、不備・不足が多数見受けられますので、期日には余裕をもって準備されることをおすすめします。

**最終締切：2025年3月31日(月) 必着**

### 顔写真データ

学生証および学籍原簿に使用する写真になりますので、証明書に相応しい写真データを登録してください。

※脱帽、正面、背景なし、3ヶ月以内に撮影されたもの



5MB以下の証明写真画像ファイル 縦460px × 横368px 推奨

### 口座振替登録

SMBCのWebによる口座振替登録サービスを利用します。

登録時に次の各事項が必要になることがあります。条件は金融機関によって異なりますので、登録時にエラーとなる場合は各金融機関窓口にお問い合わせください。

- ・当該金融機関のキャッシュカードを持っていること
- ・当該金融機関のネットバンキングを契約していること
- ・Web手続き画面での預金残高の入力
- ・Web手続き画面での各種暗証番号の入力

※各種暗証番号や預金残高はご利用の金融機関が求めるものであり、大学に情報が開示されることはありません。不明な点がある場合は、ご利用の金融機関にお問い合わせください。

#### 海外在住で日本国内の口座をお持ちでない場合

下記の願書受付係にメールでご連絡ください。

#### 口座振替登録の登録時にエラーになる場合

ご利用の金融機関にお問い合わせでもエラーが解消しない場合は、下記の願書受付係にメールでご連絡ください。

### 入学手続き金の支払い

#### 郵便振込を選択された場合

郵便局・ゆうちょ銀行窓口にて振込用紙でお振り込みください。その際、振込名義の後に**必ず振込番号8桁を明記してください。**

振込番号は、支払い方法選択後に表示される「提出書類について」画面に表示されます。

#### 支払い方法の変更を希望される場合

クレジットカード選択後にエラーになるなど、支払い方法を変更したい場合は、下記の願書受付係にメールでご連絡ください。

#### 出願手続に関するお問い合わせ

通信教育部芸術学部 願書受付係 E-mail : question@air-u.kyoto-art.ac.jp

件名に「お問い合わせ内容」、メール本文に「出願番号」「氏名」「出願コース」「生年月日」「住所」を明記してください

## 提出書類

証明書等の準備(発行元への手続き)には時間がかかることが予想されますので、余裕をもって準備をしてください。

### A. 入学資格証明書【全員】

出願者の入学資格に応じて提出いただく証明書が異なります。次ページを確認し、**原則発行6ヶ月以内の正本**を提出してください。(コピー不可、厳封不要)

### B. 編入学基礎資格証明書【該当者のみ】

専修学校専門課程(専門学校)や高等学校専攻科を修了または修了見込で、3年次編入を希望される場合に提出いただく証明書です(本学所定様式81ページ「様式1」または82ページ「様式2」)。

出身校に本証明書の発行を依頼してください。出身校において、本証明書が発行できない場合は、理由の如何にかかわらず編入学資格がないものと判断いたします。

### C. 戸籍抄本等【該当者のみ】

現在の戸籍上の氏名と、A. 入学資格証明書に記載されている氏名が異なる場合に提出いただくものです。

それぞれの氏名が同一人物であることが確認できる公的な書類(戸籍抄本、年金手帳の氏名変更記載ページ、在留カードの両面など)を提出してください。コピーで構いませんが、証明書は発行6ヶ月以内のものに限ります。

### D. パスポートのコピー等【該当者のみ】

外国籍の方に提出いただくものです。

パスポートの写真のあるページのコピーを提出してください。パスポートがない場合は、国籍を確認できる公的な書類のコピーを提出してください。

また、日本在住の場合、在留資格を証明する資料(在留カード、特別永住者証明書など)のコピーを提出してください。

### E. 預金口座振替依頼書【該当者のみ】

Web出願手続で口座振替登録ができなかった場合で、本学事務局の許可を得た方が提出するものです。

該当者には書式をお送りいたします。

#### 提出先

〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116 京都芸術大学通信教育部芸術学部 願書受付係  
窓口受付期間：月～土／9：00～17：00 ※日祝休

#### 提出用封筒

資料請求された方へ出願専用の提出用封筒を同封してお送りしております。

(第1期の出願期間では、出願専用封筒の配布を行いませんので、任意の封筒に「封筒貼付用宛名シート」を貼り付けて提出してください。)

**提出用封筒(青色の定形サイズ封筒)**に必要な事項を記入し、郵送または窓口を持参してください。

※書類の到着に関するお問い合わせには応じられませんので、ご自身で追跡可能な方法(簡易書留や特定記録郵便など)で郵送してください。

※出願専用封筒がお手元にはない場合は、任意の封筒に「封筒貼付用宛名シート」を貼り付けて提出してください。「封筒貼付用宛名シート」は78ページを印字して使用してください。

#### お問い合わせ先

**出願前** ☎ 0120-20-9141 E-mail : tsushin@office.kyoto-art.ac.jp (通信教育課程 入学課)  
月～土／10：00～16：00 ※日祝休

**出願後** TEL : 075-791-9988 E-mail : question@air-u.kyoto-art.ac.jp (通信教育部芸術学部 願書受付係)  
開設期間：第1期 …………… 2024年9月17日～11月15日  
第2期以降 …… 2025年1月14日～4月25日  
月～土／10：00～16：00 ※日祝休

メールの場合、件名に「お問い合わせ内容」、本文に「出願番号」「氏名」「出願コース」「生年月日」「住所」を明記してください

## A. 入学資格証明書【必須(全員)】

出願者ご本人の入学資格を確認いただき、**原則発行6ヶ月以内の証明書の正本(コピー不可、厳封は不要)**を提出してください。

| 入学形態                                  | 入学資格                                 | 必要な証明書(すべて提出)   | 備考  |
|---------------------------------------|--------------------------------------|---|---|
| 1年次入学                                 | 高等学校・中等教育学校                          | ●卒業証明書  | ●卒業見込の場合、調査書で可ですが、卒業確定後に卒業証明書を提出してください。 <sup>※4</sup>   |
|                                       | 大学入学資格が付与される専修学校高等課程                 | ●修了証明書  | ●卒業・修了見込で出願の場合、卒業・修了見込証明書で可ですが、卒業・修了確定後に確定した証明書を提出してください。 <sup>※4</sup>   |
|                                       | 高等専門学校3年次修了                          | ●3年次修了の証明書  | ●看護学校等で、その教育機関の卒業証明書では「高等学校卒業」が確認できない場合は、高等学校の卒業証明書を提出してください。   |
|                                       | 大学・短期大学退学                            | ●在籍期間証明書(または退学証明書)  | ●退学見込で出願の場合、在籍期間(見込)証明書 <sup>※6</sup> で可ですが退学確定後に在籍期間証明書(または退学証明書)を提出してください。 <sup>※4※5</sup>  |
|                                       | 海外において学校教育における12年の課程を修了              | ●成績証明書<br>●修了証明書<br>●国際バカロレア資格証明書のコピー<br>●国際バカロレア最終試験6科目の成績評価書            | ●日本語または英文に限ります。それ以外の場合、①翻訳文、②大使館等公的機関で、翻訳が正しいことの証明を受けた書類(公正証書)、の両方を添付してください。<br><small>※別途資料の提出を求める場合があります。<br/>※審査に時間を要する場合があります。</small>                      |
|                                       | 高等学校卒業程度認定試験(旧大学入学資格検定)              | ●合格証明書  | ●合格見込で出願の場合、合格見込証明書で可ですが、合格後に合格証明書を提出してください。  |
| 大学編入学要件を満たさない、専修学校専門課程(専門学校)・高等学校の専攻科 | ●高等学校の卒業証明書                          | ●看護学校等で、その教育機関の卒業証明書では「高等学校卒業」が確認できない場合は、高等学校の卒業証明書を提出してください。             |   |
| 3年次編入学                                | 大学・短期大学・高等専門学校                       | ●成績証明書 <sup>※2</sup><br>●卒業証明書  | ●成績証明書に入学年月、卒業・修了年月の記載があれば、卒業・修了証明書は不要です。   |
|                                       | 大学編入学要件を満たす、専修学校専門課程(専門学校)・高等学校の専攻科  | ●成績証明書 <sup>※2</sup><br>●修了証明書<br>●編入学基礎資格証明書 <sup>※3</sup> 「様式1」または「様式2」 | ●大学院修了は出願資格とはなりません。大学(学部)の成績証明書と卒業証明書を提出してください。<br>●卒業・修了見込で出願の場合、単位修得見込証明書と卒業・修了見込証明書で可ですが、卒業・修了確定後に確定した証明書を提出してください。 <sup>※4</sup>                            |
|                                       | 大学退学(短期大学退学は不可)                      | ●成績証明書 <sup>※1※2</sup><br>●在籍期間証明書(または退学証明書)                              | ●成績証明書に入学年月、退学年月の記載があれば、在籍期間証明書(または退学証明書)は不要です。<br>●退学見込で出願の場合、単位修得見込証明書と在籍期間(見込)証明書 <sup>※6</sup> で可ですが退学確定後に成績証明書と在籍期間証明書(または退学証明書)を提出してください。 <sup>※4※5</sup> |
|                                       | 海外において学校教育における14年の課程を修了              | ●成績証明書 <sup>※2</sup><br>●学位が確認できる証明書(卒業証明書または学位取得証明書)                     | ●日本語または英文に限ります。それ以外の場合、①翻訳文、②大使館等公的機関で、翻訳が正しいことの証明を受けた書類(公正証書)、の両方を添付してください。<br><small>※別途資料の提出を求める場合があります。<br/>※審査に時間を要する場合があります。</small>                      |
|                                       | 各省庁設置の大学校卒業で、大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与 | ●出身大学校の成績証明書 <sup>※2</sup><br>●出身大学校の卒業証明書<br>●学位授与証明書                    | ●学位授与見込で出願の場合、学位授与申請受理証明書で可ですが、授与後に学位授与証明書を提出してください。  |

※1：通信制大学退学の場合、修得科目の区分(テキスト科目かスクーリング科目か)と単位数が記載された資料を添付してください(成績証明書に記載されている場合は不要)。

※2：3年次編入学での出願には成績証明書の提出が必須です。

※3：編入学基礎資格証明書の入学時の最終学歴欄で大学入学資格が確認できない場合は別途入学資格証明書の提出を求めます。

※4：出願時に卒業・修了見込で出願された方、または退学見込で出願した方は、卒業・修了・退学が確定次第、上記「必要な証明書(すべて提出)」に記載されている証明書を提出してください。締切日：2025年4月25日(金)【必着】

※5：退学見込で出願の方で、在籍期間(見込)証明書が発行できない場合は、退学日の入った退学見込証明書でも可。

※6：在籍期間(見込)証明書は83ページの「様式3」を使用し、在籍している教育機関にて発行してください。

## 出願書類について

- 各種証明書は、原則発行6ヶ月以内の正本(コピー不可)  
卒業証書や合格証書、またそれらのコピーも不可です。
- 証明書発行元(出身校等)が閉校している場合  
運営していた法人または証明書の発行業務を引き継いでいる機関(各都道府県の私学振興課、合併先の法人等)にお問い合わせください。
- 経過年数により証明書が発行できない場合  
出身校等が作成した発行不可証明書(理由書)を提出してください。文面は任意です。
- 電子証明書を提出する場合  
電子証明書として発行されたものを印字して提出する場合、個人の証明内容が確認できるサイトにアクセスできるURL等の記載があるものを提出してください。  
また、発行元が確認できる電子証明書であれば、直接データを提出いただいても構いません。「出願番号」「氏名」「発行元機関名」を明記のうえ下記メールアドレスまで送付してください。  
通信教育部芸術学部 願書受付係 E-mail : question@air-u.kyoto-art.ac.jp
- 出身校等が証明書の再発行を受け付けていない場合  
下記のいずれかの方法をとってください。  
①公証役場で公証した証明書を提出する  
②証明書の発行機関で原本のコピーをとり、コピーに発行機関の公印を押印したものを提出する  
※出身校等の事情により上記の方法が不可能な場合は、事前に通信教育課程 入学課(tsushin@office.kyoto-art.ac.jp)に相談してください。
- 証明書が日本語・英語以外の場合  
大使館などの公的機関や日本語学校等による証明を受けた翻訳文を添付してください(公正証書)。  
原本も提出が必要です。翻訳文のみの提出や、翻訳サービス会社が作成した翻訳文は不可とします。
- 卒業・修了見込また退学見込で出願する場合  
出願時は、見込証明書(卒業見込証明書や単位修得見込証明書など)で書類審査が可能ですが、**卒業・修了・退学が確定したあとに「入学資格証明書」を提出する必要があります。**(前ページ欄外参照)  
**確定後の「入学資格証明書」が提出されない場合は、入学許可が出たあとであっても、入学日に遡って入学許可を取り消すこととなりますので、ご注意ください。その場合、入学手続金の返金はできません。**

### 〈見込証明書と確定後の入学資格証明書の例〉

| 見込証明書           | 確定後の入学資格証明書 |
|-----------------|-------------|
| 調査書             | 卒業証明書       |
| 卒業見込証明書、修了見込証明書 | 卒業証明書、修了証明書 |
| 単位取得見込証明書       | 成績証明書       |
| 退学見込証明書         | 退学証明書       |
| 在籍期間(見込)証明書     | 在籍期間証明書     |

※退学許可証は入学資格証明書として認められません。

#### お問い合わせ先

**出願前** ☎ 0120-20-9141 E-mail : tsushin@office.kyoto-art.ac.jp (通信教育課程 入学課)  
月～土 / 10:00～16:00 ※日祝休

**出願後** TEL : 075-791-9988 E-mail : question@air-u.kyoto-art.ac.jp (通信教育部芸術学部 願書受付係)  
開設期間：第1期 …………… 2024年9月17日～11月15日  
第2期以降 …… 2025年1月14日～4月25日  
月～土 / 10:00～16:00 ※日祝休

メールの場合、件名に「お問い合わせ内容」、本文に「出願番号」「氏名」「出願コース」「生年月日」「住所」を明記してください



## 入学選考料／入学金免除について【該当者のみ】

下記のいずれかに該当する方は入学手続金の一部が免除されます(免除金額は21ページ参照)。

| 免除対象   |   | 提出書類・手続き  |
|--|---|---|
| 京都芸術大学通信教育課程(学部・大学院)<br>京都芸術大学通学課程(学部・大学院)<br>京都芸術短期大学<br>京都芸術デザイン専門学校<br>(旧校名:京都国際文化専門学校)<br>京都芸術大学附属高等学校<br>藤川学園 | 卒業・修了生<br>(卒業・修了見込含む)                     | 本学園以外の学歴を出願資格とされる場合は、入学資格証明書に加えて「本学園の卒業・修了(見込)証明書」 <sup>※1</sup> を提出してください。<br>また、Web出願画面「Step2出願資格の入力」にある本学・併設校学歴の項目に必要事項を入力 <sup>※2</sup> してください。「学費の支払画面」に免除金額が表示されていることを確認してください。   |
| 京都芸術大学通信教育課程(学部・大学院)<br>京都芸術大学通学課程(学部・大学院)<br>京都芸術短期大学<br>京都芸術デザイン専門学校<br>(旧校名:京都国際文化専門学校)<br>京都芸術大学附属高等学校<br>藤川学園 | 卒業・修了生<br>(卒業・修了見込含む)<br>の子女              | 「本学園の卒業・修了(見込)証明書」 <sup>※1</sup> および卒業・修了(見込)者と志願者の関係が確認できる公的書類を提出する必要があります。<br>出願前にまず下記内容をメール <sup>※3</sup> でお送りください。<br>折り返し手続方法をお伝えします。<br>-----<br>件名:入学手続金の一部免除(子女)について<br>本文:志願者の氏名・住所・電話番号・出願希望コース/<br>卒業・修了(見込)者の氏名・卒業学科・コース・在籍時学籍番号を記載 |
| 京都芸術大学通学課程(学部・大学院)<br>京都芸術デザイン専門学校<br>京都芸術大学附属高等学校<br>認可保育園こども芸術大学   | 在学生の保護者<br>または学費支弁者                       | 「本学園の在学証明書」(または入学許可証のコピー) <sup>※1</sup> を提出する必要があります。<br>出願前にまず下記内容をメール <sup>※3</sup> でお送りください。<br>折り返し手続方法をお伝えします。<br>-----<br>件名:入学手続金の一部免除(保護者)について<br>本文:志願者の氏名・住所・電話番号・出願希望コース/<br>在学生の氏名・在籍学科・コース・学年・学籍番号を記載                              |
| 京都造形芸術大学通学部<br>芸術学部デザイン科環境デザインコース<br>1991年4月～1999年4月入学生  | 通信教育部芸術学部<br>環境デザイン学科<br>建築デザインコース<br>へ入学 | 出願前に下記内容をメール <sup>※3</sup> でお送りください。<br>折り返し手続方法をお伝えします。<br>-----<br>件名:入学手続金の一部免除(建築デザイン)について<br>本文:環境デザインコース入学年度・氏名・在籍時の学籍番号を記載   |

※1: 証明書が発行不可の場合は免除対象外となります。

※2: 本学園退学者は免除対象外です。該当者以外の方が免除を選択して出願手続きをされた場合、修正は本学事務局にて実施することになり、入学許可が遅れますので、ご注意ください。

※3: 【メール送信先】通信教育課程 入学課 tsushin@office.kyoto-art.ac.jp

# 学生証・教材等の送付時期

## 学生証・課題提出用教材の発送

学生証や課題提出用教材は、合否通知日によって発送時期が異なりますので、下表でご確認ください。課題提出用教材は、美術科・環境デザイン学科にのみ発送いたします。また、コースガイドは、4月1日以降にWeb「airU学習ガイド」でご確認ください。コースガイドの発送はございません。なお、テキストは別途購入する必要があります。（24～27ページ「テキスト・教材・機材費」参照）。

※一部コースでは初年度にテキストを配本します。ただし、在学中に指定テキストの変更があれば、新しく指定されるテキストは各自購入いただく必要があります。

|     | 11月              | 2月                                  | 3月                | 4月                                 |
|-----|------------------|-------------------------------------|-------------------|------------------------------------|
| 第1期 | 合否通知<br>11/15(金) | 学生証発送<br>2月上旬                       | 課題提出用教材発送<br>3月下旬 |                                    |
| 第2期 |                  | 合否通知<br>2/12(水)                     | 学生証発送<br>2月下旬     | 課題提出用教材発送<br>3月下旬                  |
| 第3期 |                  | 合否通知<br>2/26(水)                     | 学生証発送<br>3月上旬     | 課題提出用教材発送<br>3月下旬                  |
| 第4期 |                  |                                     | 合否通知<br>3/12(水)   | 学生証発送<br>3月下旬<br>課題提出用教材発送<br>3月下旬 |
| 第5期 |                  | 入学式へのご参加は<br>第5期までに<br>合格された方が対象です。 |                   | 合否通知<br>3/26(水)                    |
|     |                  |                                     |                   | 学生証発送<br>4月上旬<br>課題提出用教材発送<br>4月下旬 |
| 第6期 |                  |                                     |                   | 合否通知<br>4/11(金)                    |
|     |                  |                                     |                   | 学生証発送<br>4月下旬<br>課題提出用教材発送<br>4月下旬 |

※提出書類に不備があった場合は手続きが遅れるため、各種送付も遅くなりますのでご注意ください。  
 ※書類の到着確認の問い合わせには応じられませんので、必ずご自身で追跡ができる方法で郵送してください。

## ！ その他諸注意

### 入学選考に関する問い合わせ

選考結果についての問い合わせには回答できません。

### テキスト科目課題提出時期

テキスト科目の課題提出期間は4月から始まります。出願時期が第6期になると、課題提出までに十分な学習時間がとれなくなる可能性があります。余裕をもった学習の開始や4月度の課題提出を目指す場合は、早めの出願をおすすめします。

### 新入生のスクーリング受講開始時期について

新入生のスクーリング受講は5月からです(1年次入学・3年次編入学ともに)。新入生対象の専門教育科目スクーリングは、出願時期にかかわらず追加募集にて受講申込できるよう、スクーリング日程を設定しています。ただし、第6期に出願の方は、一部の選択科目において、スクーリング申込期間との関係で、5月開講の科目を申し込みできない可能性があるため、早めの出願をおすすめします。

- スクーリング科目(対面/遠隔)の申し込みは、先行募集と追加募集があります。先行募集で定員を超える申し込みがあった場合、申込者全員を対象に抽選を行い、後日申込結果を公開します(先着順ではありません)。先行募集の結果、定員に空きがある科目については、追加募集を行います。
- スクーリングの先行募集は第5期までに合格された方が対象です。
- スクーリングの申込方法、その他詳細は「学生証」に同封する書類にてお知らせします。
- なお、文芸コース、アトリエコース、書画コース専門教育スクーリング科目の課題提出期間は4月から始まります。出願時期が第6期になると、課題提出までに十分な学習時間がとれなくなり、夏期以降に学習開始となる可能性がありますのでご注意ください。

### 入学式への出席

第5期までに合格された方が対象です。

- 入学式・対面ガイダンスは、参加予定者数の把握のため事前申込制にて実施を予定しています。詳細は、学生証と一緒に送りする「入学式・新入生ガイダンスのご案内」、またはairUマイページのお知らせにて内容確認のうえお申込ください(airUマイページのお知らせには3月下旬掲載予定)。出願時期により、お申込をお受けできない場合もありますので、出席を希望される場合はお早めにご出願ください。

### 緊急連絡先の指定

万一に備え出願時に緊急連絡先を指定いただきます。緊急連絡先を入力・記入する際は、下記4点に留意してください。

- 緊急連絡先(日本国内に限る)は、必ず志願者本人以外の方を指定してください。緊急連絡先へは、大学から学生本人への緊急連絡が必要な際に連絡がつかない場合や、スクーリング受講中の事故等、就学上支障をきたすと判断される状況において、ご連絡を差上げることがあります。
- 緊急連絡の必要性から、緊急連絡先として指定する方が携帯電話をお持ちであれば、必ず携帯電話の番号を入力・記入してください。
- 緊急連絡先となる方に、あらかじめ上記2点について説明し、了解を得ておいてください。
- 志願者が未成年の場合は保証人を兼ねます。

### 記入または入力不備・書類不備

出願時に入力・記入間違いや漏れ、あるいは提出書類に未提出や発行日が古い等の不備がある場合は、書類審査を開始できず、入学許可が遅くなるだけでなく、入学不許可になることがあります。

不備がある場合は、不備が補完された日が出願書類の受理日となり、書類審査開始となります。

### 旧字体等

お名前、ご住所に旧字体等が含まれている場合は、常用漢字の代替文字にて対応させていただきますので、あらかじめご了承ください(例:高→高、吉→吉など)。また、使用する文字フォントのバージョンは『JIS2004(JIS X 0213:2004)』に統一しています。これにより、一部字体が変更される場合があります(※辻→辻、※芦→芦など)。

## 氏名の通称

氏名は戸籍上のものに限ります。通称は認めません。在留資格「永住」の方はこの限りではありませんが、通称と入学資格証明書記載の氏名、出願時の氏名とが一致する公的な証明書を提出してください。

●障がい等の理由で通称名使用を希望する場合は、必ず出願前に通信教育課程 入学課 (tsushin@office.kyoto-art.ac.jp) へご相談ください。

## 住所等の変更

出願後に、住所や電話番号等に変更が生じた場合は、すみやかに以下へ出願番号、氏名、生年月日、変更内容(変更時期)を明記して連絡してください。また、住所変更の場合は郵便局へ転居届を提出してください。大学からの重要な送付物(学生証等)が届かなくなります。

京都芸術大学 通信教育部芸術学部願書受付係 E-mail : question@air-u.kyoto-art.ac.jp

## 窓口での書類提出

通信教育部願書受付窓口(京都瓜生山キャンパス人間館中2階)で提出することもできます。ただし、入学手続金は窓口では納付できませんので、あらかじめ納入手続を済ませてください。

窓口受付時間：月～土／9：00～17：00 ※日祝休

## 受付通知(メール)

出願後、Web出願を受け付けた旨のメール(件名：Web出願を受け付けました[airU])を送信します。

Web出願登録後、1日経過してもメールが届かない場合は、以下へ氏名、生年月日、住所を明記し、メールが届かない旨を連絡してください。

京都芸術大学 通信教育部芸術学部願書受付係 E-mail : question@air-u.kyoto-art.ac.jp

## 書類到着に関するお問い合わせ

書類到着確認のお問い合わせは原則として受け付けできません。ご自身で追跡番号等により確認してください。

## 提出書類の返却

出願時の提出書類は、理由の如何にかかわらず返却しません。

## 出願内容の変更

出願後にコース・入学形態は変更できません。

## 志望する入学形態での入学が不許可になった場合

入学選考の結果、志望した入学形態とは異なる入学形態と判定された場合(例.3年次編入学で出願したが、1年次入学と判定)は、判定結果を通知します。判定結果の入学形態で入学するか、入学辞退するかを改めて選択してください。入学を辞退する場合は、入学選考料を除く入学手続金を返還します。返還のための振込手数料は、ご本人負担となります。

## 入学が不許可になった場合

入学選考の結果、不許可となった場合(例.入学資格を満たさなかった場合や、提出書類・出願書類の不備・不足が補完されなかった場合等)は、入学選考料を除く入学手続金を返還します。返還のための振込手数料は、ご本人負担です。

## 入学辞退

諸事情により、出願後に辞退する場合（合格となった方は入学許可通知メールの送信日から10日以内）、通信教育部芸術学部願書受付係に連絡してください。入学辞退の手続方法をご案内し入学選考料を除く入学手続金を返還します。返還のための振込手数料は、ご本人負担です。

**【重要】** 合格となった場合、入学許可メールの送信日から10日を過ぎた場合や、期間内であってもすでに受講を開始している場合の入学辞退のお申し出は受け付けられません。この場合、理由の如何にかかわらず入学手続金は返還できません。

**【重要】** 出願後は 出願を受け付けた旨のメール送信時とします。

**京都芸術大学 通信教育部芸術学部願書受付係** E-mail : question@air-u.kyoto-art.ac.jp

## 個人情報の取扱い

本学では、個人情報保護の重要性を認識し、個人情報保護に関する法令を遵守するとともに、適法かつ適正に個人情報を取り扱います。個人情報については、出願手続処理、学籍管理、教学運営、個人を特定しない統計資料作成のみに使用します。

委託業者において業務を行うことがあります。本学が明示する用途のみに使用します。

## 入学手続金の一部免除の手続方法【該当者のみ】

- Web出願のstep2の入力項目に、必要事項を入力してください。
- 本学園卒業・修了以外の学歴を出願資格とする場合は、「本学園の卒業・修了(見込)証明書」の提出が別途必要です。71ページの「入学選考料／入学金免除について【該当者のみ】」を参照してください。
- 「学費の支払い」画面に免除金額(21ページ)が表示されていることを確認のうえ、支払い操作をしてください。
- 学費ローンを利用する場合は、ローン対象外の入学選考料の支払いが必要ですが、免除の内容により係る支払いがない場合があります。「学費の支払い」画面に免除金額(21ページ)が表示されていることを確認のうえ、支払い操作をしてください。
- 該当者以外の方が免除を選択して出願手続をされた場合、修正は本学でしか行えず、入学許可が遅れますので、ご注意ください。

## 1年次入学の既修得単位認定の申請方法【入学後、該当者のみ】

- 出願時には申請できません。入学後にWeb上の「airU学習ガイド」をご確認のうえ申請してください。
- 3年次編入学生は対象外です。



# 書式

この書式をコピーしてお使いください。

# 2025年度出願用封筒(貼付け用宛名シート)

提出書類について長3サイズ封筒(任意のもので可)に  
以下「封筒貼付け用宛名シート」をコピーしてご使用いただけます。

(表面)

郵送の場合  
切手貼付

**6068271**

京都市左京区北白川瓜生山二二一六

**京都芸術大学**

通信教育部芸術学部 願書受付係 行

**簡易書留**

(2025年度提出書類在中)

宛名は上記見本を参考に  
以下に簡易書留で郵送ください。

606-8271  
京都市左京区北白川瓜生山2-116  
京都芸術大学 通信教育部芸術学部  
願書受付係 行

(裏面)

Web出願手続きおよび入学手続き金の支払いを終えてから、  
提出書類を送付してください。

①以下のいずれか一つにチェック☑してください。

|   |       |  |  |     |   |      |  |  |       |
|---|-------|--|--|-----|---|------|--|--|-------|
| <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; border: 1px solid black; text-align: center;">チェック</td> <td style="border: 1px solid black;"></td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black;"></td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">正科生</td> </tr> </table> | チェック  |  |  | 正科生 | <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; border: 1px solid black; text-align: center;">チェック</td> <td style="border: 1px solid black;"></td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black;"></td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">科目等履修</td> </tr> </table> | チェック |  |  | 科目等履修 |
| チェック  |       |  |  |     |   |      |  |  |       |
|   | 正科生   |  |  |     |   |      |  |  |       |
| チェック  |       |  |  |     |   |      |  |  |       |
|   | 科目等履修 |  |  |     |   |      |  |  |       |

②提出する書類にチェック☑してください。

**【正科生用】**

| チェック  |  |                           |
|-------|--|---------------------------|
| 必須    |  | 入学資格証明書<br>(卒業証明書・成績証明書等) |
| 該当者のみ |  | 戸籍抄本等                     |
| 該当者のみ |  | 編入学基礎資格証明書                |
| 該当者のみ |  | パスポートのコピーと在留資格証明書         |
| 該当者のみ |  | 預金口座振替依頼書                 |

**【科目等履修生用】**

| チェック  |  |                           |
|-------|--|---------------------------|
| 必須    |  | 出願資格証明書<br>(卒業証明書・成績証明書等) |
| 必須    |  | 2025年度スクーリング申込書           |
| 該当者のみ |  | 戸籍抄本等                     |
| 該当者のみ |  | パスポートのコピーと在留資格証明書         |

③出願番号や氏名、住所等を記入してください。

|         |            |
|---------|------------|
| 出 願 番 号 |            |
| フリガナ    | -----      |
| 氏 名     | -----      |
| 住 所     | 〒 □□□□□□□□ |
| 電 話 番 号 | — —        |

**【正科生のみ】**  
志願学科・コースを必ずご記入ください。

|  |     |
|--|-----|
|  | 学科  |
|  | コース |

入学形態のいずれか一つにチェック☑してください。

|      |  |        |
|------|--|--------|
| チェック |  | 入学形態   |
|      |  | 1年次入学  |
|      |  | 3年次編入学 |



## 「編入学基礎資格証明書」の発行について

本証明書は、志願者が文部科学省の定める大学編入学のための基準を満たしていることを証明する資料となります。貴校卒業生（または在學生）より本証明書の発行依頼がありましたら発行手続きをお願いいたします。なお、記載にあたっては、すべて専門学校または高等学校においてご記入ください。基準を満たしていない場合は、依頼者に説明のうえ、証明書は発行しないでください。

### 専修学校専門課程（専門学校）修了者の場合

次のすべての基準を満たす場合に編入学が認められます。

(1) 当該学生の在籍期間中、専修学校認可を受けていること

本学通信教育部では、専修学校専門課程（専門学校）からの編入学出願資格を、専修学校設置基準施行1976（昭和51）年1月以降の入学者としております。したがって、当該学生の修了時に専修学校認可を受けている場合でも、専修学校設置基準施行以前の入学者については、編入学出願を認めておりません。

(2) 文部科学省が定める大学編入学のための基準を満たすこと

専修学校の専門課程（修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者（第56条に規定する者に限る。）は、文部科学大臣の定めるところにより、大学に編入学することができる。〔学校教育法第132条〕

<参考>

○学校教育法第132条に規定する文部科学大臣の定める基準は次のとおり。

- ・ 修業年限が2年以上であること
- ・ 総授業時数が1,700時間以上又は62単位以上であること

(3) 大学入学資格を有すること

大学に入学することのできる者は、高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者若しくは通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）又は文部科学大臣の定めるところにより、これと同等以上の学力があると認められた者とする。〔学校教育法第90条〕高等学校卒業生、高等学校卒業程度認定試験（旧大検）合格者はこの要件を満たします。

### 高等学校専攻科修了者の場合

次のすべての基準を満たす場合に編入学が認められます。

(1) 文部科学省が定める大学編入学のための基準を満たすこと

高等学校の専攻科の課程（修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者（第90条第1項に規定する者に限る。）は、文部科学大臣の定めるところにより、大学に編入学することができる。〔学校教育法第58条の2〕

<参考>

○学校教育法第58条の2に規定する文部科学大臣の定める基準は次のとおり。

- ・ 修業年限が2年以上であること
  - ・ 課程の修了に必要な総単位数その他の事項が、別に定める基準を満たすものであること
- 全日制の課程又は定時制の課程の場合、全課程の修了要件は、当該課程に修業年限の年数以上在学し、62単位以上を修得するものであること。通信制の課程の場合、当該課程に修業年限の年数以上在学し、62単位以上を修得することと、120単位時間（1単位時間の標準は50分）に修業年限の年数に相当する数を乗じて得た授業時数以上の面接指導による授業を履修することのいずれにも該当することを要件とすること。〔平成28年文部科学省告示第35号〕

(2) 大学入学資格を有すること

大学に入学することのできる者は、高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者若しくは通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）又は文部科学大臣の定めるところにより、これと同等以上の学力があると認められた者とする。〔学校教育法第90条〕

お気づきの点がございましたら、下記までお問い合わせください。

京都芸術大学通信教育課程入学課

☎ : 0120 - 20 - 9141

# 「編入学基礎資格証明書」の記入例

京都芸術大学通信教育部

(様式1)

## 編入学基礎資格証明書

(専修学校専門課程 <専門学校> 修了者 編入学用)

下記の者は、本校において修業年限が2年以上の専門課程を修了した者である。

|   |                        |          |                             |
|---|------------------------|----------|-----------------------------|
| フリガナ  |                        | 性別       | 生 年 月 日                     |
| 氏 名   |                        | 男・女 (西暦) | 年 月 日                       |
| 学 校 名<br>(修了当時の名称)                                  |                        |          |                             |
| 学 科 ・ コース名<br>(修了当時の名称)                             | 専 門 課 程 名<br>(修了当時の名称) |          |                             |
| 入 学 ・ 修了年月日   | (西暦)                   | (西暦)     | 修了・修了見込<br>(いずれかに○をつけてください) |
| <b>貴校専門課程入学時の最終学歴</b> (下記1・2・3のいずれか該当する欄にご記入ください)   |                        |          |                             |
| 1 高等学校卒業<br>_____ 高等学校 _____ 科 卒業                   |                        |          |                             |
| 2 専修学校卒業<br>_____ 専修学校 (専門学校) _____ 高等課程 修了         |                        |          |                             |
| 3 その他<br>_____<br><small>(高等学校卒業程度認定試験合格など)</small> |                        |          |                             |
| <small>※入学時の最終学歴が不明の場合には右欄の□に✓印を記入してください。</small>   |                        |          |                             |
| <input type="checkbox"/> 不明                         |                        |          |                             |
| <b>専門士の称号の付与について</b> (下記1・2のいずれか該当する方に○印をつけてください)   |                        |          |                             |
| 1 1994年6月21日文部省告示第84号により、専門士の称号が付与された者である           |                        |          |                             |
| 2 専門士の称号は付与されていないが、総授業時数が1,700時間以上または62単位以上修得した者である |                        |          |                             |
| 専 修 学 校 設 置 認 可 年 月 日                               | (西暦)                   | 年 月 日    |                             |
| 上記学生が終了した課程・学科(当時)の<br>専修学校専門課程設置認可年月日              | (西暦)                   | 年 月 日    |                             |
| 備 考 (校 名 変 更 ・ 廃 校 等 )                              |                        |          |                             |

貴校在籍時の氏名をご記入ください

該当する方に○印をつけてください

年月日はすべて  
西暦・アラビア数字でご記入ください

学校名・学科・コース名は  
修了時の名称をご記入ください

大学入学資格の有無を確認しますので、  
貴校専門課程入学時の最終学歴  
(入学基礎資格)を該当欄にご記入ください

- ・高等学校卒業の場合 …………… 1
- ・専修学校高等課程修了の場合 …… 2
- ・その他の場合 …………… 3

貴校が専修学校専門課程として  
認可された年月日をご記入ください  
(専修学校設置基準施行1976  
(昭和51)年1月以降が対象となります)

修了時の課程・学科が専門課程として  
認可された年月日をご記入ください  
上記「専修学校専門課程設置認可年月日」と  
同じか、それ以降の年月日になります

学校名・学科・コース名に変更等  
ある場合はご記入ください  
また、廃校・休校により証明書発行業務が  
事務移管されている場合は、  
廃校・休校となった年月日を必ずご記入ください

京都芸術大学長 殿

上記の者は、本校において法令(学校教育法第132条)に定める大学編入学資格を有する者であることを証明する。

学 校 所 在 地  
学 校 名  
学 校 長 名  
発 行 担 当 者  
( 電 話 番 号 )

公 印

証明書発行ご担当者様へ

本証明書は、専修学校専門課程を修了された方が、本学へ編入学するために必要な書類です。すべて貴校にて記入し、依頼者にお渡しください。  
なお、未記入項目があった場合、再発行いただくことになります。ご記入前に必ず79ページをご確認ください。

ご記入・捺印をお願いします

## 編入学基礎資格証明書

(専修学校専門課程 <専門学校> 修了者 編入学用)

下記の者は、本校において修業年限が2年以上の専門課程を修了した者である。

|   |            |                        |   |
|---|------------|------------------------|---|
| フリガナ  |            | 性別                     | 生 年 月 日   |
| 氏 名   |            | 男 ・ 女                  | (西暦) 年 月 日  |
| 学 校 名<br>(修了当時の名称)                                  |            |                        |   |
| 学科・コース名<br>(修了当時の名称)                                |            | 専 門 課 程 名<br>(修了当時の名称) |   |
| 入学・修了年月日  | (西暦) 年 月 日 | 入学 ~                   | (西暦) 年 月 日 修了・修了見込<br><small>(いずれかに○をつけてください)</small> |
| <b>貴校専門課程入学時の最終学歴</b> (下記1・2・3のいずれか該当する欄にご記入ください)   |            |                        |   |
| 1 高等学校卒業<br>_____ 高等学校 _____ 科 卒業                   |            |                        |   |
| 2 専修学校卒業<br>_____ 専修学校 (専門学校) _____ 高等課程 修了         |            |                        |   |
| 3 その他<br>_____<br><small>(高等学校卒業程度認定試験合格など)</small> |            |                        |   |
| ※入学時の最終学歴が不明の場合には右欄の□に✓印を記入してください。                  |            |                        | <input type="checkbox"/> 不明                           |
| <b>専門士の称号の付与について</b> (下記1・2のいずれか該当する方に○印をつけてください)   |            |                        |   |
| 1 1994年6月21日文部省告示第84号により、専門士の称号が付与された者である           |            |                        |   |
| 2 専門士の称号は付与されていないが、総授業時数が1,700時間以上または62単位以上修得した者である |            |                        |   |
| 専 修 学 校 設 置 認 可 年 月 日                               | (西暦)       | 年                      | 月 日   |
| 上記学生が終了した課程・学科(当時)の<br>専修学校専門課程設置認可年月日              | (西暦)       | 年                      | 月 日   |
| 備 考 (校 名 変 更 ・ 廃 校 等 )                              |            |                        |   |

※黒のボールペンで記入してください。また、熱でインクが消えるペンは使用しないでください。

京都芸術大学長 殿

西暦 年 月 日

上記の者は、本校において法令(学校教育法第132条)に定める大学編入学資格を有する者であることを証明する。

学 校 所 在 地  
学 校 名  
学 校 長 名  
発 行 担 当 者  
( 電 話 番 号 )

公 印

証明書発行ご担当者様へ

本証明書は、専修学校専門課程を修了された方が、本学へ編入学するために必要な書類です。すべて貴校にて記入し、依頼者にお渡しください。なお、未記入項目があった場合、再発行いただくことになります。ご記入前に必ず79ページをご確認ください。

## 編入学基礎資格証明書

(高等学校 専攻科 修了者 編入学用)

下記の者は、本校において修業年限が2年以上の専門課程を修了した者である。

|  |            |       |   |
|--|------------|-------|---|
| フリガナ   |            | 性別    | 生 年 月 日   |
| 氏 名  |            | 男 ・ 女 | (西暦) 年 月 日  |
| 学 校 名<br>(修了当時の名称)                               | 高等学校 科 専攻科 |       |   |
| 現 在 の 学 校 名<br>(校名変更があった場合)                      | 高等学校 科 専攻科 |       |   |
| 入 学 ・ 修 了 年 月 日                                  | (西暦) 年 月 日 | 入 学   | ～ (西暦) 年 月 日 修 了 ・ 修 了 見 込<br><small>(いずれかに○をつけてください)</small> |
| <b>貴校専攻科入学時の最終学歴</b> (下記1・2・3のいずれか該当する欄にご記入ください) |            |       |   |
| 1 高等学校卒業<br>_____ 高等学校 _____ 科 卒業                |            |       |   |
| 2 専修学校卒業<br>_____ 専修学校 (専門学校) _____ 高等課程 修了      |            |       |   |
| 3 その他<br>_____<br>(高等学校卒業程度認定試験合格など)             |            |       |   |
| ※入学時の最終学歴が不明の場合には右欄の□に✓印を記入してください。               |            |       | <input type="checkbox"/> 不明                                   |

※黒のボールペンで記入してください。また、熱でインクが消えるペンは使用しないでください。

|                   |  |
|-------------------|--|
| 備 考<br>(校名変更・廃校等) |  |
|-------------------|--|

京都芸術大学長 殿

西暦 年 月 日

上記の者は、本校において法令(学校教育法第132条)に定める大学編入学資格を有する者であることを証明する。

学 校 所 在 地

学 校 名

学 校 長 名

発 行 担 当 者  
( 電 話 番 号 )

公 印

証明書発行ご担当者様へ

本証明書は、高等学校専攻科を修了された方が、本学へ編入学するために必要な書類です。すべて貴校にて記入し、依頼者にお渡しください。  
 なお、未記入項目があった場合、再発行いただくことになります。ご記入前に必ず79ページをご確認ください。

## 在籍期間(見込)証明書

※この書類は出願者本人が作成するものではありません。出身校に作成を依頼し、証明を得た上で提出してください。

|   |                               |   |                                 |
|---|-------------------------------|---|---------------------------------|
| フリガナ  |                               | 性別  | 生 年 月 日                         |
| 氏 名   |                               | 男 ・ 女   | (西暦) 年 月 日                      |
| 学 校 名<br>(在学時名称)                                      |                               |   |                                 |
| 学 部 ・ 学 科 名   |                               |   |                                 |
| 在 籍 期 間<br><br>※休学期間を含む場合は下記に休学期間を記入してください。           | 自 (西暦) 年 月 日                  | 入学・編入学( 年次編入学)<br><small>(いずれかに○をつけてください)</small> |                                 |
|   | 至 (西暦) 年 月 日                  | 退学・退学見込・除籍<br><small>(いずれかに○をつけてください)</small>     |                                 |
|   | ※上記期間について特記すべきことがあれば記入してください。 |   |                                 |
| 休 学 期 間<br><br>※休学期間がない場合は右欄の□に✓印を記入してください。           | 自 (西暦) 年 月 日                  |   |                                 |
|   | 至 (西暦) 年 月 日                  |   |                                 |
|   | ※上記期間について特記すべきことがあれば記入してください。 |   | <input type="checkbox"/> 休学期間なし |
| 京都芸術大学長 殿 <span style="float: right;">西暦 年 月 日</span> |                               |   |                                 |
| 上記の記載事項に誤りのないことを証明します。                                |                               |   |                                 |
| 学 校 所 在 地   |                               |   |                                 |
| 学 校 名   |                               |   |                                 |
| 学 校 長 名 <span style="float: right;">公 印</span>        |                               |   |                                 |

※黒のボールペンで記入してください。また、熱でインクが消えるペンは使用しないでください。

証明書発行ご担当者様へ

本証明書は、大学を退学または退学予定の方で、本学に入学を希望する場合の所定用紙であり、入学資格要件となる在学年数(在籍期間内で休学期間がある場合は、その期間を除いた年数)を確認するうえで必要なものです。  
 なお、本学は二重学籍を認めておりませんので、退学日が2025年4月1日以降となる場合は入学を認められません。

※本学記入欄

| 在 籍 年 数 | 休 学 年 数 | 在 学 年 数 |
|---------|---------|---------|
|         |         |         |

◇本証明書発行に関する問い合わせ先  
 京都芸術大学通信教育部芸術学部願書受付係 TEL : 075-791-9988



# 博物館学芸員課程

- 学科・コースに所属しながら学ぶ

「資格課程」

入学せずに1年間で資格取得を目指せる  
「科目等履修」の出願については  
12月に通信教育部Webサイトで公開する  
「2025年度 科目等履修 募集要項 (PDF)」  
をご確認ください。



# 博物館学芸員課程

本学通信教育部で博物館学芸員の資格取得をめざす場合、学科・コースに所属しながら学ぶ「資格課程」があります。なお、「資格課程」の場合、以下のとおり所属する学科・コースにより受講料や実習先が異なります。

※文化コンテンツ創造学科は受講登録できません。

- 学科・コースに所属せず1年間で資格取得する「科目等履修」は12月に通信教育部HPで公開する「2025年度 科目等履修 募集要項(PDF)」で詳細をご確認ください。

## 博物館学芸員課程の各特徴

| 項目            | 資格課程   |  | 科目等履修  |
|---------------|--|--|--|
|               | 芸術学科・美術科・環境デザイン学科  | 芸術教養学科   |  |
| 受講料           | 課程登録時 160,000円<br><small>※在籍期間中有効<br/>※スクーリング受講料は別途必要(21、23、24ページ参照)</small>                                 | 課程登録時 250,000円<br><small>※在籍期間中有効<br/>※スクーリング受講料を含む(21、23、24ページ参照)</small>                   | 出願時一括納入<br>460,480円<br><small>※スクーリング受講料を含む</small>  |
| 定員            | なし   |  | 100名   |
| 受講期間          | 標準3年間(最短2年間)   |  | 1年間  |
| 受講(出願)資格      | ・2年次以上の方<br>・インターネット接続環境が整ったパソコンの所有と基本操作能力   |  | ・日本の大学または大学院を卒業・修了した方および2025年3月卒業・修了見込の方<br>・文部科学省の所管である大学改革支援・学位授与機構から学士、修士、博士いずれかの学位を授与された方および2025年3月までに授与見込の方<br>・インターネット接続環境が整ったパソコンの所有と基本操作能力 |
| 在籍年限          | 1年次：9年間  | 3年次：7年間 ※ただし、課程登録は2年次より可能  | 1年間 ※休学は不可   |
| 受講申込(出願)時期    | 1年次入学の場合は2年次以上になる時の学籍更新時、3年次編入学の場合は出願時もしくはその後の学籍更新時。<br><small>※最短で2年かかるカリキュラムのため卒業年次では登録不可。</small>         |  | 2025年1月14日(火)～2月14日(金) 必着  |
| 資格取得に必要な履修単位数 | 合計 29単位以上<br>詳細は87、88ページ   |  | 合計 19～27単位   |
| 「博物館実習2」の実習先  | 京都瓜生山キャンパス芸術館(5日間)<br>または東京外苑キャンパス(2日間)<br>+長野・康耀堂美術館(3日間)<br>または学外の博物館・美術館<br><small>※期間、手続き方法は館による</small> | 京都瓜生山キャンパス芸術館(5日間)<br>または東京外苑キャンパス(2日間)<br>+長野・康耀堂美術館(3日間)<br><small>※学外館での実習はできません。</small> | 京都瓜生山キャンパス芸術館(5日間)<br>または<br>東京外苑キャンパス(2日間)<br>+長野・康耀堂美術館(3日間)   |
| テキスト代         | 約16,000円～24,000円<br><small>※履修する科目、電子版または印刷製本版いずれを選択するかにより価格が異なります。なお、一部の科目のテキストは印刷製本版のみの提供です。</small>       |  | 印刷製本版：合計11,770円(Amazon)<br>電子版：合計7,832円(Kindle)<br><small>※必修科目のみの場合</small>   |
| その他           | 教育訓練給付制度：指定なし<br>学割：利用可  |  | 教育訓練給付制度：指定あり<br>学割：利用不可   |

科目等履修の詳細は通信教育部Webサイトで公開される「2025年度 科目等履修 募集要項(PDF)」(2024年12月公開予定)をご確認ください。





# 資格課程

## 取得できる資格

### ● 学芸員

本学通信教育部では、博物館法第5条第1項第1号の規定に基づき、学芸員の資格を取得できます。文化コンテンツ創造学科以外が対象です(ただし、課程登録は2年次以上)。

## 資格取得に必要な履修単位数

| 履修科目                      | 単位数  |      |
|---------------------------|------|------|
|                           | 必修   | 選択必修 |
| 1. 博物館法施行規則に定める科目(全コース共通) | 19単位 | 0単位  |
| 2. 関連科目(全コース共通)           | 0単位  | 10単位 |
| 履修科目単位数合計                 | 29単位 |      |

※博物館学芸員課程で修得した「博物館法施行規則に定める科目」の単位は、卒業要件の「自由選択」の単位に含めることができます。  
 ※「必修」「選択必修」は本学における学芸員資格取得上の要件です。

## 資格取得に必要な履修科目

### 博物館法施行規則に定める科目<sup>※1</sup> (必修)

| 博物館法施行規則に定める科目 | 本学開講授業科目名    | 科目区分     | 履修形態 <sup>※2</sup> | 単位数 | 必修区分  |
|----------------|--------------|----------|--------------------|-----|-------|
| 博物館概論          | 博物館概論        | 博物館学芸員科目 | TR                 | 2   | すべて必修 |
| 博物館経営論         | 博物館経営論       |          | TR                 | 2   |       |
| 博物館資料論         | 博物館資料論       |          | TR                 | 2   |       |
| 博物館情報・メディア論    | 博物館情報・メディア論  |          | TR                 | 2   |       |
| 生涯学習概論         | 博物館生涯学習概論    |          | TR                 | 2   |       |
| 博物館教育論         | 博物館教育論       |          | TR                 | 2   |       |
| 博物館実習          | 博物館実習1(事前指導) |          | S                  | 1   |       |
|                | 博物館実習2(館園実習) |          | S                  | 1   |       |
|                | 博物館実習3(事後指導) |          | S                  | 1   |       |
| 博物館資料保存論       | 博物館資料保存論     |          | TR                 | 2   |       |
| 博物館展示論         | 博物館展示論       | TR       | 2                  |     |       |
| 必要単位数合計        |              |          |                    | 19  |       |

※1：配当年次(履修可能な最低年次)は、「博物館実習2~3」のみ3年次~、その他の科目は2年次~です。  
 ※2：TR=テキストレポート科目 / S=スクーリング科目

## 関連科目<sup>※1</sup> (選択必修)

| 分野      | 本学開講授業科目名           | 科目区分       | 履修形態 <sup>※2</sup> | 単位数 | 必修区分          |
|---------|---------------------|------------|--------------------|-----|---------------|
| 文化史     | 日本文化論 <sup>※3</sup> | 総合教育科目     | TR                 | 2   | いずれか<br>1科目必修 |
|         | 文化研究 2              |            | TR                 | 2   |               |
| 美術史     | 芸術史講義(日本)1          | 学部共通専門教育科目 | WS                 | 2   | いずれか<br>2科目必修 |
|         | 芸術史講義(日本)2          |            | WS                 | 2   |               |
|         | 芸術史講義(ヨーロッパ)1       |            | WS                 | 2   |               |
|         | 芸術史講義(ヨーロッパ)2       |            | WS                 | 2   |               |
|         | 芸術史講義(アジア)1         |            | WS                 | 2   |               |
|         | 芸術史講義(アジア)2         |            | WS                 | 2   |               |
|         | 芸術史講義(近現代)1         |            | WS                 | 2   |               |
|         | 芸術史講義(近現代)2         |            | WS                 | 2   |               |
| 考古学     | 列島考古学               | 総合教育科目     | TR                 | 2   | 必修            |
| 民俗学     | 文化研究 1              | 総合教育科目     | TR                 | 2   | 必修            |
| 必要単位数合計 |                     |            |                    | 10  |               |

※1：2024年度時点の本学開講授業科目です。2025年度以降、変更となる可能性があります。

※2：WS=Webスクーリング科目／TR=テキストレポート科目

※3：芸術教養学科の方は該当しません。

## 受講登録にあたって

資格取得には、標準で3年以上、最短でも2年間が必要です。よって、編入学で最短の在籍年数で卒業をめざす場合は、出願と同時に博物館学芸員課程の受講登録手続きを行う必要があります。ただし、編入学でも卒業と同時に資格取得するまでに3年以上かかる場合が十分にありえますのでご注意ください。1年次入学の方は2年次以上になる時の学籍更新時に受講登録ができます。

所属学科・コースの卒業要件を満たすと、資格課程の履修が完了してなくても卒業となります。卒業までに資格課程の履修が完了するように計画を立ててください。

なお、本課程では、学習用Webサイト「airUマイページ」を利用しますので、インターネット接続環境が整ったパソコンの所有が必要です。(36ページ「システム要件」参照)

### <芸術教養学科 注意事項>

「博物館実習」を対面授業にて受講する場合、のべ11日間のうち、「博物館実習2(館園実習)」(5日間)は、京都瓜生山キャンパスにある「芸術館」(5日間)、または東京外苑キャンパス(2日間)および本学附属康耀堂美術館(長野県茅野市)(3日間)で受講する必要があります。

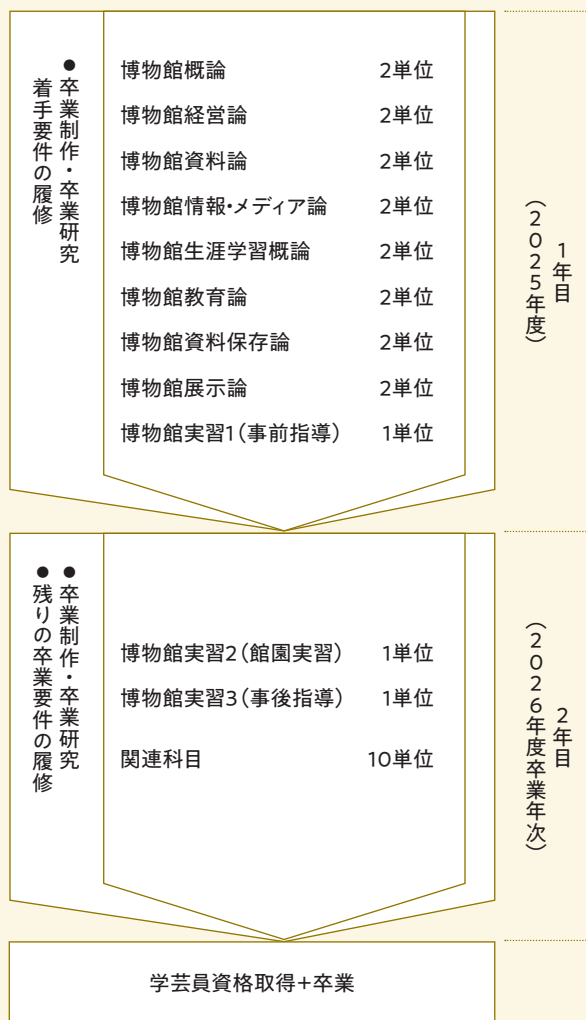
また、「博物館実習2～3」を受講するためには履修の前提条件を満たすことが必須です。第6期に入学手続きを行った方が最短卒業と同時に資格取得を目指す場合、非常に厳しく、かつタイトな履修スケジュールとなりますので履修モデル等をよく確認のうえ、ご登録ください。(89ページ参照)

# 履修モデル

3年間の履修モデル(2025年度時点)



2年間の履修モデル(2025年度時点)



## 博物館実習

本学の博物館実習は人文系博物館、とくに美術館での実務経験を中心にカリキュラムが構成されています。日程の一部で遠隔授業（41ページ「スクーリング開講形態／会場」参照）の実施を予定しています。「博物館実習1・3」では学外館見学を行います。受講地に関わらず近隣の都府県にて実施する可能性があります。

なお、本課程では「博物館実習2～3」を受講するためには、履修の前提条件を定めています。次の条件を満たさない場合、「博物館実習2～3」を履修できません。

| 科目名              | 「博物館実習」を受講するための履修の前提条件   | 開講地   |
|------------------|--|---|
| 博物館実習1<br>(事前指導) | なし   | 京都瓜生山キャンパスまたは東京外苑キャンパス(3日間)   |
| 博物館実習2<br>(館園実習) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「博物館概論」「博物館経営論」「博物館資料論」「博物館情報・メディア論」「博物館生涯学習概論」「博物館教育論」「博物館資料保存論」「博物館展示論」を合格済み</li> <li>・「博物館実習1(事前指導)」合格済み</li> <li>※ただし、学外館実習の場合は前年度までに単位修得済み</li> </ul> | 京都瓜生山キャンパス「芸術館」(5日間)または東京外苑キャンパス(2日間) + 長野・康耀堂美術館(3日間)または学外館<br><small>※学外館での受講を希望する場合は、各自で開拓・交渉する必要があります(一部、大学より一括)。<br/>※芸術教養学科の方は学外の博物館・美術館で実習を行うことはできません。</small> |
| 博物館実習3<br>(事後指導) | ・「博物館実習2(館園実習)」合格済み  | 京都瓜生山キャンパスまたは東京外苑キャンパス(3日間)   |

## 既修得単位の認定

本課程は相互に関連する科目群からカリキュラムが構成されているため、本課程の科目をすべて修得する必要があります。そのため、他大学や高等専門学校、専修学校専門課程(専門学校)で修得された単位を本課程で修得した科目として既修得単位認定することはできません。

一方、以前に本学(通信教育部・通学部・科目等履修)で修得した単位のうち、「博物館法施行規則に定める科目」については既修得単位として認定の対象となります。既修得単位認定を希望する場合は入学後に申請できます。ただし、この認定は資格取得のための単位認定として履修を免除するものであり、卒業に必要な単位数を減免するものではありません。また、「関連科目」は既修得単位認定の対象外です。なお、年限退学時再入学制度を利用して出願される場合の手続きは不要です。

## 履修についての注意事項

学芸員は「博物館資料の収集、保管、展示及び調査研究その他これと関連する事業についての専門的事項をつかさどる(博物館法第4条4項)」専門的職員です。博物館等の運営には学芸員の設置が義務付けられています。学芸員の仕事は、さまざまな雑事に追われることも多々あり、夢のような研究職ではないことを心していただきたいと思います。

昨今、学芸員としての就職は大変厳しく、求人があっても高度な専門的知識を有するものに限定するなどの条件が提示されることが多いです。資格取得が職業に直結するものではないことを認識しておいてください。なお、本学博物館学芸員課程は実地で仕事ができる能力を培うことを目標としているため、履修すれば簡単に資格取得できるわけではありません。しかしこの課程の学びは、博物館に職を求める以外に制作活動発表の際の技術、地域文化振興の知識といった発展的な利用ができます。厳しさはありますが、課程修了後には単なる資格取得にとどまらない実りをお約束します。

〈海外在住者対象〉

本課程は日本の博物館に勤務する専門職としての学芸員資格の取得を目指すカリキュラムとなっています。そのためTR科目のレポート課題では、原則として日本の博物館を調査対象としてください。

# Q&A

---

よくあるご質問を  
まとめました!



# Q&A ～よくある質問～

## 入学全般

### 1 通信教育部は正規の大学ですか？

本学の通信教育部は文部科学省に認可された正規の4年制大学です。卒業すれば学士（芸術）の学位が授与されます。通学部とは学習形態が異なるだけで、教育水準や取得資格は同じです。（4ページ「授与される学位」参照）

### 2 入学の時期はいつですか？

2025年度春入学募集で第5期までにし願し、入学が決定した方は、4月1日から学習をスタートすることができます。第6期にし願された場合は、入学が決定後、学習スタートが5月以降になることがあります。

### 3 年齢制限はありますか？

2025年3月31日までに満18歳に達する方で大学入学資格があれば入学できます。18歳未満の方の場合、文部科学省の定める大学入学資格があれば入学できます。（4ページ「し願資格」参照）

### 4 高校を卒業していませんが、入学できますか？

本学通信教育部独自の特修生制度により入学の門戸を開いています。ただし、2025年3月31日までに満30歳に達する方を対象とします。（6ページ「特修生制度」参照）

### 5 他の学校等に通っていますが、入学できますか？

#### 【し願できない方】

2025年4月1日以降に正科生として大学、短期大学、大学院、高等専門学校、高等学校の専攻科に在籍中の方、本学通信教育部科目等履修生の方。

#### 【し願できる方】

専修学校専門課程（専門学校）、大学校、各種学校等に在籍中の方、他大学等の科目等履修生の方。（7ページ「二重学籍」参照）

### 6 卒業（学士取得）をめざしているわけではありませんが、入学できますか？

自分のペースや目的にあわせて学習できますので、入学できます。ただし、せっかく入学するので、卒業も視野に入れながらがんばってください。

### 7 最長で何年間在籍できますか？

1年次入学は9年間、3年次編入学は7年間です。（13、15ページ「在籍年限」参照）

### 8 芸術分野の経験がないのですが、やっていけるでしょうか？

未経験の方を前提としたカリキュラムですので、心配いりません。実際に毎年多くの未経験の方が入学されています。芸術が好きで、学びたいという気持ちが何よりも大切です。

### 9 志望コースとは異なる分野の大学の出身ですが、1年次入学した方がよいのでしょうか？

編入学資格をお持ちであれば、3年次編入学でごし願ください。3年次編入学の場合も、1年次入学と同様にコースの専門科目はすべて必修で、1年次配当科目から学習を進めていきます。専門科目以外の卒業に必要な総単位数は軽減されるので、編入学の方が専門分野の学習にじっくり取り組みます。（97ページ「学習方法」Q3、4参照）

## 10 いつ出願すればいいのですか？

出願期間内であればいつでも構いませんが、早く出願すれば4月1日から余裕をもって学習を始められます。最少年数での卒業をめざす場合は、できるだけ早く出願することをおすすめします。(72ページ「学生証・教材等の送付時期」参照)

## 11 入学式はありますか？また、いつまでに出席すれば出席できますか？

4月5日(土)に京都瓜生山キャンパスにて開催予定です。出席は任意ですが、第5期までに出席し、合格した方が対象です。

※入学式・対面ガイダンスは、参加予定者数の把握のため事前申込制にて実施を予定しています。詳細は、学生証と一緒に送付する「入学式・新入生ガイダンスのご案内」、またはairUマイページのお知らせにて内容確認のうえお申込ください(airUマイページのお知らせには3月下旬掲載予定)。出願時期により、お申込をお受けできない場合もありますので、出席を希望される場合はお早めにご出願ください。

## 12 入学後、コースを変更することはできますか？

学習の目的や志向が変わった場合は、2年目以降にコース変更を認めています(在籍年限内に1回のみ)。(9ページ参照)

## 13 事情により学習を続けることが難しくなった場合、休学できますか？

1年ごと(4月1日～翌年3月31日)の休学制度があります。年度途中の休学や復学(学習の再開)はできません。(9ページ参照)

## 14 通学部に移ることはできますか？

一定の条件を満たしたうえで試験に合格すれば、本学通学部へ異動できる「転籍」の制度があります。(9ページ参照)

## 15 自分の興味に従った科目を学習できる制度はありますか？

藝術学舎(一般公開講座)は、1講座から受講できます。なお、大学入学資格を持つ方が、本学入学前に藝術学舎の講座を受講し合格した単位は、入学後に単位認定を受けることができます。

藝術学舎 <https://air-u.kyoto-art.ac.jp/gakusha/> Tel: 075-791-9124 (42ページ参照)

## 16 これまでに大学等で取った単位はどれくらい認定されますか？

### 【1年次入学】

入学後に単位認定を希望すれば、大学、短期大学、高等専門学校(専攻科)で修得した単位を、30単位を上限に本学の「総合教育科目」の単位として一括認定します。本学の単位認定は、他大学等での既修得科目と本学の科目とをひとつひとつ照合する個別認定ではありませんので、既修得科目と同じ名称の科目を本学で再度学習することもできます。(12、13ページ参照)

### 【3年次編入学】

3年次編入学の卒業要件は62単位以上(建築デザインは72単位以上)で、1年次入学の卒業要件124単位からそれぞれの卒業要件の単位を差し引いた単位数が免除されています。(14、15ページ参照)

## 17 海外で学習をすることはできますか？

可能です。ただし、本学からのすべての送付物(郵便・宅配物)の宛先は日本国内に限定しています。海外への送付を希望する場合は各自で日本国内の中継先(連絡先)を確保し、出願時に本人現住所として記載してください。なお、スクーリング(Web受講を除く)は日本国内で受けなければなりません。(7ページ参照)

## 学費

### 1 費用は1年間でどれくらいかかりますか？

学科・コースごとに異なります。該当ページをご覧ください。(18～19ページ「学費早見表」参照)

### 2 学費はどのように支払うのですか？

入学後の諸費用(スクーリング受講料、教材費等)は、出願時に登録していただく金融機関の口座から引き落としです。引き落としにあたっては事前に引落明細をお知らせします。

ただし、2年目以降の授業料は、引き落とし以外にクレジット決済・ネットバンキング決済・コンビニ支払い・ローンを選択できます。(22ページ参照)

### 3 学費の分納はできますか？

分納はできませんが、オリエンコーポレーションの学費ローンを利用できます。(60ページ「学費ローン」参照)

### 4 奨学金制度はありますか？

入学後に申請できる奨学金制度があります。ただし、毎月決められた金額の奨学金が貸与される奨学金制度はありません。(58ページ参照)

### 5 卒業が遅れてしまう場合、授業料はどうなりますか？

学習を継続する場合は授業料(年間学費)、休学する場合は休学料が必要です。(9ページ参照)

### 6 学割は使えますか？

スクーリング等に出席する場合、JRの学生割引が利用できます。

その他、学生証の掲示等により美術館・映画館等の料金が学割対象となる場合があります。その都度各自で確認してください。なお、科目等履修で博物館学芸員課程を履修される方は学割の対象外です。(59、86ページ参照)

## 学生生活

### 1 大学の施設は使えるのですか？

京都瓜生山キャンパスでは、スクーリングの時はもちろん、スクーリングがない時でも、図書館、学生食堂、ラウンジが利用できます。また東京外苑キャンパスでは、開館時間内であればいつでも、参考図書等を閲覧できるライブラリーコーナーを利用できます。

※特殊な設備がある実習室は原則として貸出を行っていません。講義室は学習会単位で貸出を行います(要申込)。個人への教室貸出は行っていません。

### 2 就職の相談はできますか？

手続を行えば通学部生と同様、キャリアデザインセンターが利用できます(京都瓜生山キャンパス/平日のみ)。個別相談(オンライン/対面)は要予約です。また、大学専用履歴書のダウンロードや求人票の閲覧、OB/OGの作成したポートフォリオの閲覧が可能です。なお、再就職や転職の相談・あっせんは行っていません。なお、利用対象は新卒に相応する方(卒業見込み時に年齢が27歳までで勤務経験がない方)です。



## 出願

### 1 Web出願での手続きは、すべてWebで完了できますか？

出身学校の各種証明書は原本を郵送または持参いただく必要があります。その他の手続きはすべてWebで完了できます。(66ページ参照)

### 2 出願登録しても、「出願画面のURL」を記した大学からのメールが届きません。

ご使用の端末機器やご利用の通信会社の設定にて迷惑メールと認識された可能性があります。

「@air-u.kyoto-art.ac.jp」が受信できるように設定変更のうえ、通信教育部芸術学部願書受付係 (question@air-u.kyoto-art.ac.jp) にメールでご連絡ください。(74ページ参照)

※初期設定されている場合や、ご利用の通信会社にて予め設定されている場合があります。ご不明な場合は端末機器の購入店またはご契約の通信会社へご確認ください。

### 3 出願時に提出する証明写真はスマホで撮影したものでもよいですか？

スマホでの写真は可ですが、5MB以下の画像のみアップロード可能です。写真は、証明写真に準じ、上半身脱帽、正面、背景なしで3ヶ月以内に撮影したものをアップロードしてください。

### 4 口座振替登録をWebで行う場合、利用条件や事前に用意するものはありますか？

金融機関によって利用条件や必要なものは異なりますが、例えば以下の点が登録時の必要条件となることがあります。

- ・当該金融機関のキャッシュカードを持っていること
- ・当該金融機関のネットバンキングを契約していること
- ・Web手続き画面での預金残高の入力
- ・Web手続き画面での各種暗証番号の入力

条件は金融機関によって異なりますので、金融機関窓口にお問い合わせください。窓口での口座振替登録は行っても、SMBCのWebによる口座振替登録サービスが利用できない金融機関もあります。(67ページ「出願手続の注意事項」参照)

※各種暗証番号や預金残高はご利用の金融機関が求めるものであり、大学に情報が開示されることはありません。

### 5 Webによる口座振替登録を入力してもエラーと表示され、手続を完了できません。

本学へのご出願では使用できても、SMBCのWebによる口座振替登録サービスにて使用できない氏名の漢字が含まれていると思われます。志願者ご自身では修正できませんので、通信教育部芸術学部願書受付係 (question@air-u.kyoto-art.ac.jp) にメールでご連絡ください。氏名の漢字を代替文字に変更いたします。(73ページ参照)

### 6 Webによる口座振替登録で希望する金融機関名が表示されません。いつも口座振替で使用している金融機関ですがなぜ表示されないのですか？

口座振替手続きは店舗受付のみで、SMBCのWebによる口座振替登録サービスが利用できない金融機関もあります。その場合は振替口座を指定される金融機関を変更するか、通信教育部芸術学部願書受付係 (question@air-u.kyoto-art.ac.jp) にメールでご連絡ください。(67ページ参照)

### 7 卒業証明書や成績証明書に記載されている氏名と、現在の氏名が異なります。どうすればいいですか？

戸籍抄本等、氏名変更が確認できる公的な書類を1通提出してください。卒業証明書や成績証明書は卒業時点での氏名が記載されています。その後、氏名が変わった場合は、戸籍抄本で証明書記載の氏名と願書に記載された現在の氏名とを照合し、同一人物であることを確認します。

戸籍抄本は居住地ではなく本籍地の役所でのみの発行です。遠隔地の場合、郵送等での発行申請となれば、書類が届くまでに時間を要するため、早めの手続きが必要です。

なお、戸籍抄本は6ヶ月以内の発行であればコピーによる提出もできます。(68ページ参照)

## 8 出願後に履修内容を変更することはできますか。

出願後に学科やコース、入学形態(1年次入学または3年次編入学)は変更できません。

コースを迷っている場合は、入学説明会等に参加し、学ぶ内容をよくご確認のうえ、ご自身の学習の志向とあわせて、じっくりと検討いただくことをおすすめします。

## 9 1年次入学で出願しましたが、既修得単位認定の申請はどうすればいいでしょうか。

入学後に一定期間を設けて申請を受け付けています。詳細は、学習方法や各種申請手続き等をお知らせしているWeb上の「airU学習ガイド」でご確認ください。

## 10 学生証や教材はいつ届きますか。

入学許可のメール通知後、学生証を約10日間で発送します。

【教材の発送】芸術教養学科・文化コンテンツ創造学科のコースは教材の一斉送付はありません(Webから各自入手。一部の科目は本学に請求)。その他のコースは提出書類の本学到着時期により教材の送付時期が異なります。

なお、書類に不備等があった場合は不備が解消された時点が基準日となります。各種書類や教材の送付の時期も遅くなりますのでご注意ください。(72ページ「学生証・教材等の送付時期」参照)

## 教材・機材等

### 1 テキスト(教科書)代等の教材費はかかりますか？

テキスト・教材費は有料です。コースにより一括で購入する教材や、科目により必要な参考文献、画材・用具等も各自購入です。テキスト代は科目により異なります。総合教育科目、学部共通専門教育科目(必修科目除く)、資格関連科目(博物館学芸員課程)のテキストは有料(1冊数百円から6,000円程度)です。総合教育科目のテキストは電子テキストもありますが、書籍として市販されているものがほとんどです。書店で購入したり、図書館等で借りて学習することも可能です。専門教育科目のテキスト代は学科・コース、また購入形態(電子書籍またはオンデマンドブック)により異なります。(24～27ページ「テキスト・教材・機材費」参照)

例) 卒業まで標準的な履修をした場合のテキスト代(印刷製本版)

【洋画コース1年次入学の場合】

|            |           |          |
|------------|-----------|----------|
| 総合教育科目     | 約 35,000円 | 27科目54単位 |
| 学部共通専門教育科目 | 約 20,000円 | 10科目20単位 |
| コース専門教育科目  | 約 16,000円 | 4科目8単位   |
| 計          | 約 71,000円 |          |

#### 【芸術教養学科】

専門教育科目(一部の選択科目を除く)の電子テキスト代は授業料に含まれています。印刷製本版は有料(各自購入)です。一部選択科目にて指定されている大学オリジナルテキストについては、学習用Webサイト「airUマイページ」上の電子テキスト(PDFビューワー)を使用します。印刷製本版をご入手されたい場合、大学購買部「ADストア」より購入、または学習用Webサイト「airUマイページ」より大学へ請求できます(有料)。

#### 【芸術教養学科以外】

必修科目(コース専門教育科目、学科専門教育科目)の指定テキストは、各自購入です。一部科目では大学へ請求(有料)するものがありますが、基本的に電子版の場合はAmazonが運営している電子書籍ストア「Kindleストア」等で、印刷製本版の場合はオンデマンドブック(POD)をWebで各自購入します。電子書籍やオンデマンドブック(POD)はインターネット上のみで購入可能です。

※イラストレーションコースのコース専門教育科目は、購入が必要なテキストはありませんが、総合教育科目、学部共通専門教育科目のテキストは大学へ請求(有料)、または各自購入となります。

### 2 教材はどのように手元に届きますか？

【芸術教養学科・文化コンテンツ創造学科・芸術学科の各コース】

教材の一斉送付はありません(Webから各自入手)。

※文芸コース、アートライティングコース、書画コース、イラストレーションコースでは一部の科目は本学に請求するものがあります。

## 【美術科・環境デザイン学科】

初年度に、専門教育科目で課題提出に必要なダンボールや封筒等の教材を、「一斉送付教材」としてセットで無料送付します。(72ページ) 必修科目(コース専門教育科目)の指定テキストは、各自購入です(24～27ページ「テキスト・教材・機材費」参照)。また、一部科目のテキスト・教材は学習用Webサイト「airUマイページ」より年間を通じて大学へ請求できます(有料)。(34ページ参照)

※ダンボールや封筒等の送付がないコースもあります。

※学習ガイド・シラバスはWeb版のみです。

※一部コースでは初年度にテキストを配本します。ただし、在学中に指定テキストの変更があれば、新しく指定されるテキストは各自購入いただく必要があります。

### 3 パソコンを用意する必要がありますか？

すべての学科・コース・課程で学習用Webサイト「airUマイページ」を利用して学習しますので、インターネット接続環境が整ったパソコンが必要です。アプリケーションを使用するなど別途要件を指定しているコースもあります。(27～31、36ページ参照)

### 4 パソコン、画材や用具などはいつまでに準備すればよいでしょうか？

パソコンは4月中をめぐにご準備いただければ結構です。心配でしたら、4月の新入生ガイダンスに参加してから購入しても問題ありません。ただし、入学時より学習用Webサイト「airUマイページ」で様々な情報を提供しますのでWeb閲覧ができる環境はできるだけ早めにご準備ください。また、画材や用具などは入学後、シラバスや新入生ガイダンスを通じて詳細を説明しますので、入学前にそろえておく必要はありません。(27～31、36ページ参照)

### 5 パソコンについて、どの程度の操作能力が必要ですか？

文字入力やファイルのアップロード、インターネット閲覧、メールの送受信等、基本的な操作ができれば問題ありません。入学後、新入生ガイダンス等でも本学学習システム利用に関する基本的な操作方法を説明する機会を設けます。

## 学習方法

### 1 いつから学習を始められますか？

2025年度春入学募集で第5期までに申し、入学が決定した方は、4月1日から学習をスタートすることができます。第6期に出願された場合は、入学が決定後、学習スタートが5月以降になることがあります。

### 2 どのように学習を進めていくのですか？

学習の流れは大きく以下の通りです。

- ① 「airU学習ガイド」「シラバス」「コースガイド(文化コンテンツ創造学科はairU学習ガイド内に掲載)」で卒業までに必要な単位数や必修科目、各科目の受講日程や提出締切を確認する。
- ② 1年目の履修計画を立てる。
- ③ 取り組む科目のシラバスをよく読み、学習を始める。(34～35ページ参照)

### 3 カリキュラムはどのような仕組みになっていますか？

カリキュラムは「総合教育科目」(一般教養)と「専門教育科目」からなります。

#### 【1年次入学】

「専門教育科目」と「自由選択(一般教養など)」が約半分ずつで卒業までに合計124単位以上。

|                             |                                   |
|-----------------------------|-----------------------------------|
| 専門教育科目60単位 <sup>*1</sup> 以上 | 自由選択(一般教養など)64単位 <sup>*2</sup> 以上 |
|-----------------------------|-----------------------------------|

#### 【3年次編入学】

「専門教育科目」を60単位以上<sup>\*1</sup>と自由選択2単位以上で卒業までに合計62単位<sup>\*3</sup>以上。

|   |                            |
|---|----------------------------|
| 専門教育科目60単位以上と自由選択(一般教養など)2単位以上 <sup>*4*</sup> | 一般教養の単位が免除されるため、専門教育科目に集中! |
|---|----------------------------|

※1：建築デザインコースは70単位。 ※2：建築デザインコースは54単位(うち総合教育科目「情報」は必修)。 ※3：建築デザインコースは72単位。

※4：美術科は専門教育科目52単位と自由選択10単位以上。 ※5：建築デザインコースは専門教育科目70単位と自由選択2単位以上(自由選択のうち総合教育科目「情報」は必修)。

(12～13、14～15ページ「卒業要件」参照)

#### 4 3年次編入学では、1・2年次の科目を省いて学習するのですか？

学科・コース専門科目の学習は1年次から学習できますか？

3年次編入学の場合も専門教育科目は1年次の基礎にあたる科目からすべて取り組み、学習します。ただし、配当年次が決められている科目はその年次に達しないと履修できません。(44～55ページ「履修科目一覧」参照)

#### 5 卒業するまでにどれくらいのペースで学習すればよいのですか？

「卒業研究」「卒業制作」に着手するために、着手の前年度終了時点(芸術教養学科、文化コンテンツ創造学科は、着手の前の期終了時点)で修得しておくべき単位数等の条件が決められています。1年次入学で4年間での卒業をめざすには、3年間でこの条件を満たす必要があり、1年間につき30単位～40単位が目安です。最短年数での卒業をめざす場合は、一定のペースで持続的に学習しなければなりません。もちろん、在籍年限内に自分のペースでゆっくりと学習することもできます。

参考：専門教育科目学習ペースのイメージ

| 入学形態  | 1年目         |           | 2年目       |                   | 3年目                    | 4年目  |                        |
|---|-------------|-----------|-----------|-------------------|------------------------|------|------------------------|
| 1年次入学   | 1年次専門教育科目   |           | 2年次専門教育科目 |                   | 3年次専門教育科目              | 条件あり | 4年次専門教育科目<br>卒業研究 卒業制作 |
| 3年次編入学<br>芸術教養学科<br>文芸、アートライティング、<br>書画、イラストレーション、<br>映像、食文化デザインコース | 1～3年次専門教育科目 |           |           | 条件あり              | 4年次専門教育科目<br>卒業研究 卒業制作 |      |                        |
| 3年次編入学<br>芸術学科<br>(文芸、アートライティング除く)                                  | 1～3年次専門教育科目 |           | 条件あり      | 4年次専門教育科目<br>卒業研究 |                        |      |                        |
| 3年次編入学<br>美術科、環境デザイン学科<br>(書画、イラストレーション、<br>映像、食文化デザイン除く)           | 1年次専門教育科目   | 2年次専門教育科目 | 条件あり      | 3年次専門教育科目         | 4年次専門教育科目 卒業制作         |      |                        |

※4年次の「卒業研究」「卒業制作」に着手するためには、1～3年次の専門教育科目を修了しなければなりません。

※この図では総合教育科目については、記載していません。

#### 6 最短年数で卒業する人の割合はどのくらいですか？

入学者のおよそ1割から2割です。通学課程とは異なり、通信教育部生は仕事や家庭を持つ社会人が中心ですので、自分のペースでゆっくりと時間をかけて学習を続けている人が多いのが事実です。計画的に履修すれば最短で卒業できるようにカリキュラム編成していますが、すべての方が最短年数での卒業を目指しているわけではありません。それぞれのペースで学べるのは通信教育の特長ともいえます。

#### 7 ふだんの学習量はどれくらい必要ですか？

学習方法や学習計画は人それぞれですので、一概には言えませんが、最短年数での卒業をめざすのであれば、テキストを通勤電車の中で読んだり、就寝前1時間は必ず学習時間にあてたりする等、学習時間を生活の一部にしてしまうことが大切です。

#### 8 入学後、学習方法に関する説明会はありますか？

4月と5月に教員による新入生ガイダンスを開催します。ガイダンスに出席してから学習を始めても構いませんが、最短年数での卒業をめざす場合は、ガイダンスを待たず、自宅学習(テキスト科目、Webスクーリング科目)を始めることをおすすめします。(42、73ページ「テキスト科目課題提出時期」参照)

#### 9 分からないことがある時はどうしたらよいのですか？

学習内容に関する質問は、電子メール、学習用Webサイト「airUマイページ」質問フォーム等で受け付けています。分からないことがあるのは当然のことですので、積極的に質問してください。また、「airUマイページ」にはチャットボット(AIによる自動応答)を設置しています。学科・コースによっては学習相談会を開催したり、SNS上で意見交換をしたりしています。(43ページ参照)

## 10 一度大学を卒業していますが、総合教育科目(一般教養)をまた勉強しなければいけませんか?

総合教育科目から何単位必要、という指定はありませんので、全体で卒業要件を満たすように自由にとり入れてください(ただし、建築デザインコースは総合教育科目「情報」必修)。総合教育科目では、デッサンを基礎から学ぶ科目や、文楽、茶の湯、煎茶等を学習する「伝統芸術基礎」等、本学独自の科目を設けていますので積極的に受講してください。改めて見直してみると、以前は興味がなかった内容でもいまだからこそやってみたいと学習意欲がわいてくる科目がきっと見つかるでしょう。(12～13、14～15ページ「卒業要件」、44～55ページ「履修科目一覧」参照)

## 11 「英語」や「体育」は必ず履修しなければならないのですか?

必修ではありませんが、初心者や不慣れな方も取り組みやすい内容です。

## 12 レポートを書く自信がありません。

まずは総合教育科目のテキストレポート科目(TR)「論述基礎」のテキストを読んでください。レポートの書き方が基礎から解説されています。「論述基礎」はレポートを書くこと自体が課題になっていますので、はじめにこの科目に取り組むことをおすすめします。

## 13 ひとりで学習を続けられるかどうか不安です。

「入学式」や「新入生ガイダンス」に出席することをおすすめします。教員や事務局職員が学習方法について説明を行う場であるだけでなく、仲間を見つける、仲間が見つかる場でもあるからです。同じコースや同じ地域の仲間ができることで刺激にもなり、学習を進めていくうえでも張り合いが出るでしょう。毎年、「入学式」や「新入生ガイダンス」終了後に、メールアドレスや電話番号を交換し合う姿が見られます。もちろん、スクーリング受講時に周りの人たちと会話を交わしていくうちに自然に知り合いができるでしょう。また、各コースでオンラインによる学習相談会等のイベントも行っています。(42～43ページ参照)

## 14 課題や単位修得試験が不合格となることもあるのでしょうか?

課題に的確に解答していなかったり、内容に不備のある場合は、不合格となり、再提出・再受験が必要です。不合格となった際は、年度内の提出・受験期間に再提出・再受験できます。また、所定の締め切りまでに提出できなかった場合は受け付けられませんので、しっかりとした履修計画を立てて学習をすすめてください。(37ページ参照)

## 単位修得試験

### 1 単位修得試験とは何ですか?

テキストレポート科目(TR)は、レポートと試験の両方に合格することで初めて単位を修得できます。この試験を単位修得試験といいます。(38ページ参照)

### 2 試験はどのような内容ですか?

暗記ではなく、自らの考えを述べ、自分なりの結論を導き出していく論述形式の試験が中心です。基本的な事柄を身につけておくことは当然求められますが、テキストやレポート等の教材・資料を参照して解答できます。

### 3 試験がない科目はありますか?

自宅で作品を制作するテキスト作品科目(TW)は、課題に合格することで単位修得となりますので、試験はありません。スクーリング科目(S)は授業中課題や授業後の試験・レポートなどが科目によって課されますので、それらに合格する必要があります。

### 4 試験はどのように受験するのですか?

レポートに合格すれば、所定の期間に学習用Webサイト「airUマイページ」上で受験できます。(38ページ参照)

## スクーリング（芸術学科・美術科・環境デザイン学科 各コース専門教育科目・共通科目）

### 1 スクーリングは1年間にどれくらい受講しなければいけませんか？

最短で卒業する場合、以下の日数となります。卒業までの年数を長くすると1年間のスクーリング日数は少なくなります。文化コンテンツ創造学科のコースについては必修のスクーリング科目はありませんが、希望する場合は履修できます。

#### 【1年次入学】

4年間でスクーリング科目を30単位以上修得する必要があります\*。1年間では7～8単位です。1回のスクーリングが1単位（＝2日間）ですので、1年間につき14～16日間程度です。

#### 【3年次編入学】

2年間でスクーリング科目を24単位以上修得する必要があります\*。4年次の科目（卒業研究・卒業制作）を最短の卒業年度である2年目に受講するためには、1年目、2年目ともに24日間（12単位分）です。

\*動画教材で学習を進めるWebスクーリング科目もスクーリング科目の単位数に算入できます。ただし、卒業に必要なコース専門教育科目スクーリングは対面または遠隔授業です。（12～13、14～15ページ「卒業要件」参照）

### 2 スクーリングはいつごろ開講されますか？

4月～翌年1月末までほぼ通年開講しています。基本的に1科目あたり土日2日間をセットで受講します。

### 3 スクーリングは京都以外でも開講されますか？

スクーリングは遠隔（オンライン）、対面（京都・東京）を中心に行います。コース専門教育科目については「2025年度スクーリング日程（PDF）」（2024年12月下旬公開）にて開講場所や日程を確認してください。

### 4 遠隔（オンライン）で卒業までのすべてのスクーリングを受けることができますか？

芸術学科・美術科・環境デザイン学科の各コースは、卒業に必要な全単位のスクーリングを京都または東京か、遠隔で開講しています。ただし、京都または東京でしか開講されない科目もありますので、科目の選択によってはこの限りではありません。また、受講希望が集中した場合は抽選となることもあります。陶芸コースは、専用の施設・設備が必要ですので、京都での受講が必要です。（40ページ参照）

### 5 1回のスクーリングは何日間ですか？

ほとんどのスクーリングは2日間連続（1単位）です。美術科は4日間（2単位）の科目がありますが週末2日間を2回開講します。一部の総合教育科目や資格関連科目については3日間連続等のパターンがあります。1日の授業時間は、9：30～17：40です（授業により異なるものがあります）。（41ページ参照）

### 6 スクーリングを遅刻・早退・欠席するとどうなるのですか？

遅刻・早退・欠席は、原則として認められません（単位は認定されません）。

### 7 スクーリングはどのようにして受講するのですか？

年度始めにWeb上の「airU学習ガイド」や「コースガイド」でスクーリングの開講日程を確認し、年間の受講計画を立てます。スクーリングの先行申込期間がおおよそ3ヶ月に1回のペースでありますので、受講を希望する科目を「airUマイページ」から申し込みます。受講申込結果公開日になりましたら、受講可否が学習用Webサイト「airUマイページ」で確認できます。

当日は受講票を出力のうえ受講してください。先行申込期間後は、定員に空きのある科目を開講日のおおよそ40～5日前まで追加募集します。詳細はスクーリング申込画面にてご確認ください。先行申込と異なり、申込結果は「airUマイページ」に即時公開されます。（40ページ参照）

### 8 希望するスクーリングは必ず受講できますか？

同一日程の同一科目に受講希望が集中した場合は抽選となり、希望に沿えないことがあります。ただし、受講定員を増やしたり、同一科目を追加開講したりする等の調整を行う場合もあります。

## 9 スクーリングは必ず受講しなければならないのですか？

卒業するためには決められた単位数を受講しなければなりません。1年次入学は30単位以上、3年次編入学は24単位以上です。(12～13、14～15ページ参照)

## 10 大学(短期大学等)を卒業していますが、総合教育科目(一般教養)のスクーリングを受講しなければなりませんか？

1年次入学でスクーリング6単位を認定された方(13ページ「既修得単位の認定(1年次入学の方のみ対象)」を参照)、および3年次編入学の方は、必須ではありません。(15ページ参照)

## 11 仕事の関係でスクーリングに行けるかどうか心配です。

定員に空きのあるスクーリング科目は、開講日のおおよそ40～5日前まで随時申し込みを受け付けています。仕事の都合等により出席が可能となった場合は、こうした制度もご利用ください。実は、スクーリングの単位数は卒業要件全体の約1/4で、残りの約3/4は自宅で取り組むテキスト科目です(1年次入学生の場合)。最短年数で卒業をめざす場合は、自宅学習にこそしっかりと目を向けて学習するように心がけてください。スクーリングだけが進み、テキスト科目がたくさん残って卒業が遅延してしまうことのないようにしてください。

## 12 年間で受講できるスクーリングの単位上限はありますか？

CAP制により、スクーリング科目の年間の履修上限単位は24単位とします(Webスクーリング、藝術学舎、資格関連科目除く)。

## 13 スクーリングを申し込んだ後、キャンセルできますか？

スクーリング開講日前日までなら、キャンセルができます。ただし、受講許可後にキャンセルする場合は、キャンセル申し出日に応じてキャンセル料(スクーリング受講料の10～100%)がかかります。(40ページ参照)

## 14 スクーリングでの宿泊先は斡旋してもらえるのでしょうか？

京都については各自で手配をお願いします。東京については入学後の資料で東京外苑キャンパス周辺のホテル等を紹介しています。慣れてくると、学生同士で宿の情報を交換し合ったり、自分で常宿を見つけて個人で手配する方も多いです。なお、大学に宿泊施設はありません。(41ページ「対面スクーリング時の宿泊施設」参照)

## 15 車やバイクで通学できますか？

京都瓜生山キャンパスには駐車場がありませんので、車やバイクでの通学はできません。公共交通機関や自転車をご利用ください。また、東京外苑キャンパスには、駐車場・駐輪場がありませんので、公共交通機関をご利用ください。(104ページ参照)

## 資格課程(博物館学芸員課程)

### 1 学芸員の資格は、どのコースで取得できますか？

文化コンテンツ創造学科以外の全学科・コースで取得できます。(86ページ参照)

### 2 博物館学芸員課程はいつから受講できますか？

1年次入学生は、2年次から受講できます。編入学生は、入学年度から受講できます。(86ページ参照)

### 3 博物館学芸員課程を受講すると、どれくらいの単位が追加で必要となりますか？

本学の学芸員資格取得要件では、29単位の修得が必要です。ただし、これらの修得単位は「自由選択」「総合教育科目」「学部共通専門教育科目」等に含めることができます。(87、88ページ参照)

#### 4 何年間で学芸員資格を取得することができますか？

卒業と同時に資格を取得するためには、標準的な場合でも3年間以上です。3年次編入学の場合、最短2年間で資格取得が可能ですが、1年目で卒業研究・卒業制作の着手要件(3年次修了相当)と並行して、学芸員資格取得に必要なほとんどの単位の修得が必要です。そのため、編入学でも卒業と同時に資格取得するまでに3年間以上かかる場合が十分にありえます。(88～89ページ参照)

#### 5 以前、他大学で学芸員資格に関する科目を修得しました。単位を認定してもらえますか？

他大学で修得された単位は、既修得単位認定の対象とはなりません。

ただし、以前に本学(通信教育部・通学部・科目等履修)で修得した単位のうち、「博物館法施行規則に定める科目」については、入学後所定の手続きが必要ですが、既修得単位として認定の対象となります。(90ページ参照)

#### 6 「博物館実習」の期間はどれくらいですか？

博物館の実習は、事前指導にあたる「博物館実習1」と、博物館や美術館で実習する「博物館実習2」、事後指導にあたる「博物館実習3」からなります。「博物館実習1(事前指導)」および「博物館実習3(事後指導)」は本学で各3日間受講します。「博物館実習2(館園実習)」は本学の「芸術館」(博物館指定施設)、または東京外苑キャンパスおよび本学附属康耀堂美術館であれば5日間です。学外の博物館や美術館であれば館により異なりますが、1週間程度で実施されるところが多いようです。(90ページ参照)

#### 7 「博物館実習2(館園実習)」はどこで行うのですか？

京都府認可の博物館指定施設である京都瓜生山キャンパス内「芸術館」、または東京外苑キャンパスおよび本学附属康耀堂美術館、ならびに各自が希望する学外の博物館や美術館で行います。ただし、芸術教養学科の方は「芸術館」または東京外苑キャンパス・康耀堂美術館で受講します。学外の博物館や美術館で行うことはできません。(90ページ参照)

#### 8 学芸員資格を取得すれば、学芸員として博物館や美術館で働くことができますか？

実際に博物館や美術館で働くためには、各館の採用試験に合格しなければなりません。求人が非常に少ないため、資格を取得すれば、学芸員として勤務できるというわけではありません。しかし地域の美術館等でボランティアスタッフとして活動する等、この資格を活かして幅広く活動している方もいらっしゃいます。(90ページ参照)

#### 9 入学せずに、博物館学芸員課程の科目だけを受講できますか？

日本の学士、修士、博士いずれかの学位を有する方(見込含む)を対象とした科目等履修制度があります。

#### 10 パソコンの所有が必須とありますが、どの程度の操作能力が必要ですか？

本課程では、学習用Webサイト「airUマイページ」を利用して学習しますのでテキスト入力や作成したファイルのアップロード等基本的な操作ができれば問題ありません。また、36ページ「システム要件」も確認ください。





# アクセス

## 京都瓜生山キャンパス

〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116

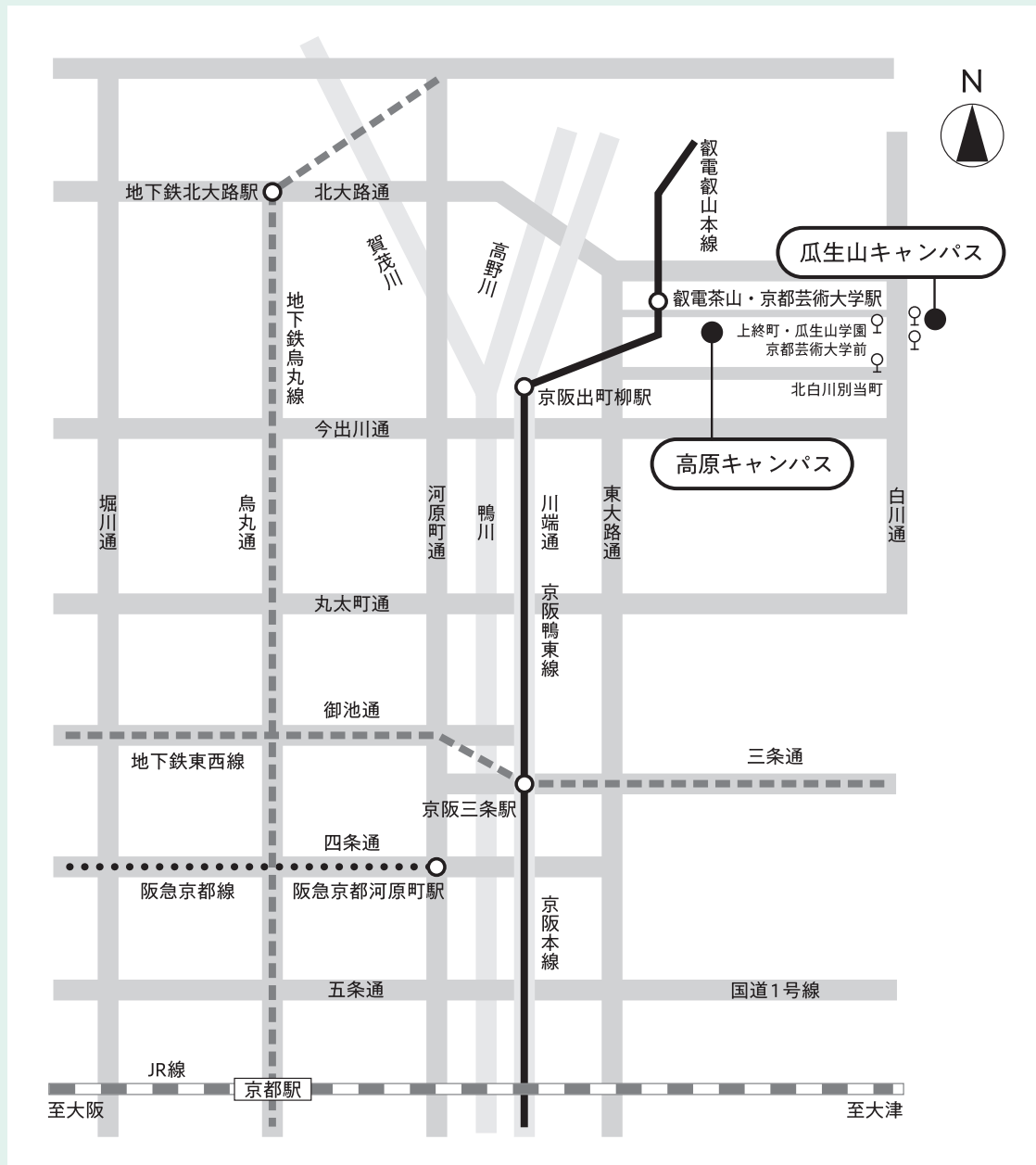
最寄のバス停留所：<sup>かみはてちよう</sup>上終町・瓜生山学園 京都芸術大学前

JR「京都駅」より市バス5系統／岩倉行

「上終町・瓜生山学園 京都芸術大学前」下車(所要時間50分)



◀ 詳細はこちら



※2024年7月現在の交通機関、駅、停留所です。

※所要時間は標準時間です。天候や交通事情により変わりますので、ご注意ください。

※京都瓜生山キャンパスには駐車場がありません。自動車、バイクでの来学はご遠慮ください。





学校法人 瓜生山学園

京都芸術大学 通信教育部

〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山 2-116

【お問い合わせ先】

出願書類を提出する前

通信教育課程入学課 ☎0120-20-9141 E-mail : tsushin@office.kyoto-art.ac.jp  
月～土 / 10:00 ～ 16:00 〈日祝休〉

出願書類を提出した後

通信教育部芸術学部願書受付係 E-mail : question@air-u.kyoto-art.ac.jp  
月～土 / 10:00 ～ 16:00 〈日祝休〉

■芸術教養学科・文化コンテンツ創造学科・芸術学科・美術科・環境デザイン学科: Tel.075-791-9988  
〈開設期間: 2024年9月17日～11月15日 / 2025年1月14日～4月25日〉

■科目等履修: Tel.075-791-8068  
〈開設期間: 2025年1月14日～3月31日〉